



2026-2027 年 度

ク ラ ブ 計 画 書

(2026年 7 月 1 日作成)

CREATE LASTING IMPACT

長野東ロータリークラブ

会長 仁 科 圭 右

NISHINA KEISUKE

幹事 加 藤 久 美 子

KATO KUMIKO

- 事務所 〒380-0838 長野市県町576 ホテル国際21内
TEL : 026-233-5522 FAX : 026-233-5656
E-mail : 3nagano.e-re@dia.janis.or.jp
- 例会場 〒380-0838 長野市県町576 ホテル国際21
TEL : 026-234-1111

2026～2027年度RI会長メッセージ

CREATE LASTING IMPACT

持続可能な
インパクトを
生み出そう



■RI会長

2026-2027年度会長

オンラインカ・ハキーム・ババロラ

トランス・アマディ・ロータリークラブ(ナイジェリア・リバース州)

1988年に大学で工学の学位を取得。シェルPLCで要職を歴任するなど、石油・ガス業界で25年間勤務し、4大陸でプロジェクトを実施。リビエラ・テクニカル・サービス社(石油・ガスインフラ供給会社)とリード・アンド・チェンジ・コンサルティング社(管理職コーチングと組織業績アドバイザーグループ)の2社を設立。

ババロラ氏が所属する専門職団体には、ナイジェリア技術者協会、ナイジェリア安全専門家協会、変革管理専門家協会などがある。経済・社会政策について政府に意見を提供する、故郷イバダン市の組織「ジェリコ・ビジネスメン・クラブ」のメンバーとなっている。

ロータリーアクターとして10年間活動し、1994年からはトランス・アマディ・ロータリークラブの会員。2011-12年度に地区ガバナー、2018-20年度にRI理事、2019-20年度に副会長を務めた。2017-23年度にEnd Polio Now:歴史をつくる カウントダウンキャンペーン委員会(2017-20年度副委員長)、2013年～現在はナイジェリア・ポリオプラス委員会(2016年～現在アドバイザー)での役職を歴任。

妻プレバさんと共にポート・ハーコート市に在住。冠名基金とアーチ・クラフ・ソサエティを通じてロータリー財団を支援。シェルターボックスUKの評議員としてボランティア活動も行っている。ポリオのない世界のための地域奉仕賞、RI超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞。

■ 2026-2027 年度 RI 会長メッセージ

持続可能なインパクトを生み出そう

CREATE LASTING IMPACT

オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏

トランス・アマディ・ロータリークラブ
(ナイジェリア リバース州)

～国際協議会より～

インパクトある活動と「世界をオープンに受け入れる」ことを強調

1月12日、米国フロリダ州オーランドで開催中の国際協議会でオンラインカ H. ババロラ国際ロータリー会長エレクトが講演し、クラブでの歓迎的な環境づくり、意義あるプロジェクトの実施、人生を変えるようなロータリーでの体験を通じて、「持続可能なインパクトを生み出そう」と呼びかけました。

「ロータリーは私たちを変えました。私たちという人間を形づくり、より良い人間にしてくれたのです。私たちは“世界を変える”ことをよく話題にします。ポリオ根絶や平和構築について語ります。しかし、ロータリーが自分自身をどう変えたかについては、あまり考えません」。

ナイジェリアのトランス・アマディ・ロータリークラブの会員であるババロラ氏は、十代のときにローターアクトクラブで活動したことが、恵まれた環境で育ったことによる狭い視野から抜け出し、より広い世界を見るきっかけになったと語りました。その気づきは、地域社会の人びとに読み書きを教える活動など、クラブが生み出したインパクトを目のあたりにしたことでもたらされました。

「ロータリー会員である私たちは、より良い未来というビジョンを共有しています」とババロラ氏。「そのビジョンを現実にするには、自身の内なる変化を意識し、解き放たなければなりません。成果だけでなく、インパクトを重視すべきです」。

変化とインパクトは同じではない、と述べた上で、ババロラ氏はこう続けました。「変化は始まりに過ぎません。インパクトこそが永続するのです」。

インパクトを理解する

ババロラ氏は、南アフリカ・ナイズナでの幼児教育の拡充や、ナイジェリアでの妊産婦ケアの改善など、ロータリー会員がインパクトを生み出していると述べました。ナイズナ・ロータリークラブは、地域の女性たちが幼児教育センターを開設・運営できるよう支援しました。

「このプロジェクトは何千もの子どもと家庭に恩恵をもたらし、今後何世代にもわたって教育を提供し続けるでしょう」とババロラ氏。「このインパクトを世界のほかの地域でも再現できれば、地域社会から信頼と評価を得ることができます。そして、より多くの地域社会がロータリーを信頼すれば、入会したいという人が増えます」。

また、「ナイジェリアにおける健康な家族のための協力」の幅広いインパクトにも触れました。妊産婦と新生児の死亡率を減らすこのイニシアチブは、2022年に200万米ドルの大規模プログラム補助金を受領しました。

ババロラ氏はこう説明します。「ロータリーが介入する前は、多くの女性が妊婦健診を避けていました。しかし、健診は母子ともに安全な出産に欠かせません。ロータリーの支援により、妊婦が健診に通うシステムが整い、地域社会からの協力も得られました。受診率がアップし、死亡率が下がりました。このプロジェクトは今後数十年にわたり、ナイジェリア全土で命を救い続けるでしょう」。

より歓迎的な姿勢を

クラブの新しい入会者に対してよりオープンに歓迎するよう呼びかけたババロラ氏は、ローターアクト時代にロータリークラブに入りたいと思ったものの、クラブ会長から冷たい対応を受けた自身の経験について語りました。

「彼（クラブ会長）はこう言いました。“何という厚かましさだ！ただ入会できるわけがないだろう。招待が必要だ”、と」とババロラ氏は振り返ります。「そこであきらめることもできましたが、私はこう言い返しました。“子どもが親の家に入るのに招待が必要だとは知りませんでした”」。

当時と比べれば良くなったものの、まだ十分ではないとババロラ氏。一部のクラブは世界をオープンに受け入れるどころか、閉ざされたままであり、若い人たちが尊重されず、考えや背景が異なる人が歓迎されないこともあると述べ、人びとをよりよく受け入れるにはどうしたらよいかを考えるよう促しました。

「例会や奉仕プロジェクトでの皆さんの態度ひとつで、誰かのロータリーのストーリーが始まるかもしれないし、終わるかもしれないのです」。

さらに、自身の変化を促すもう一つの方法は、自分のベストを超えることだと述べました。過去の募金活動やプロジェクト、会員増強の成功を振り返り、それを越えるべくさらに挑戦するよう地区リーダーに呼びかけました。

「自分を変えられれば、クラブと地区を変えられます。地区を変えられれば、地域社会を変えられます。そして、地域社会を変えられれば、世界で、地域社会で、自分自身の中で、持続可能なインパクトを生み出すことができるのです」。



■ご挨拶

国際ロータリー第2600地区 2026-2027年度

ガバナー 橋上 信久 (飯田南RC)

国際ロータリー第2600地区会員の皆さん、こんにちは。
日頃は2600地区の活動にご理解ご協力を賜り心より御礼申し上げます。いよいよ私のガバナー年度が始まりますが、皆さん既にご存じのように近年世界的にロータリーでは、会員の減少問題を筆頭に様々な課題を抱えております。その様な中で、この度、伝統ある本地区のガバナーに就任いたしましたことを、大変光栄に存じますと共に、その責任に対する重圧をひしひしと感じつつ、微力ではありますが一年間やり遂げる所存でありますので皆様どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、今年度に於きましても、2026-2027年度RI会長候補者でいらした韓国のユン・サング氏がすい臓がんにより亡くなられたということで二年続きの緊急事態が発生しましたが、ナイジェリアのオンラインカ・ハキーム・ババロラ氏が今年度RI会長に就任されることとなり、国際協議会前には無事に指名されたことで事なきを得ました。そこで本年1月9日からアメリカのオーランドで開催された、その国際協議会では、ババロラ会長エレクトの自らの経験をもとにした講演がおこなわれ、2026-2027年度のRI会長メッセージとして「CREATE LASTING IMPACT」「持続可能なインパクトを生み出そう」と力強く発せられました。ここで多くの皆さんは、おいおい毎年これでは、「3-years Rowling Targets」はどうなっているんだと混乱される方々もいらっしゃると思うのですが、私が思うには前年度のRI会長アレツオ氏のメッセージは「UNITE FOR GOOD」、今年度は「CREATE LASTING IMPACT」表現は違っても、これは別々のメッセージではなく、むしろ「同

じ方向を向いた連続したメッセージ」と捉えるべきだと思います。UNITE（団結）は目的ではなく手段です。力を合わせることで、より大きな「良いこと」を行い、その成果を“未来に残る価値”へと進化させていく。その到達点こそがIMPACTではないでしょうか。つながりが信頼を生み、歓迎の姿勢が参加を生み、行動が変化を生むのです。ロータリーの価値は、そこで生まれる「持続可能なインパクト」にあるのではないのでしょうか。ババロラ会長の発信は、まさにその一点に集約されていると感じました。変化とインパクトは異なるのです。そこで私は、変化は始まりでありインパクトは持続しなければならないものであるということ念頭に置いて、今年度の2600地区の運営テーマとして「COMEBACK TO SHINSHU」を掲げさせていただきます。我々の2600地区において、近年正に日本全国の問題でもある人口減少にスポットを当てて、多くの地元出身の若者を始め、現在県外で生活している地元出身の方々に、是非ともUターンで地元に戻って来てもらう、あるいは、信州に移住してもらうために我々地元ロータリアンの経験やスキルを活かして魅力ある「ふるさと信州」の環境づくりを新たな発想で考え行動しようと思いました。将来的に、「これに伴う具体的な成果を」と問われれば時間はかかるかと思いますが、二年前から白鳥PGがおしゃっていた、3歳から18歳頃までの子供の経験というものは、生涯に渡ってとても重要でその人に対して正に大きなインパクトを与える時期だと言われています。結婚をする若い世代が減少し、少子化の影響もあり、基本的な人口増加は見込めないのが現状です。2600地区の現状を見ますと、多くの

子供たちが県外に出て行ってしまい、特に進学を機にほぼ戻って来ず地元就職する人間が激減しているのが現状です。私たちは、そんな年代の子供達や、その親世代にまであらゆる奉仕活動を通してより多くの方々にロータリーの存在を知らしめ関心興味を持っていただき、やがては地元信州に根差しロータリアンとなって貰える様な、地道であっても正に「持続可能なインパクト」を与えるレガシーを築くためのアクションを起こしましょう。パパロラ会長のニックネームは「ゲームチェンジャー」だそうです。以前彼は、クラブリーダーとの最初の会合で、提案を行う際に何が「ゲームチェンジャー」となるか、つまり、従来のやり方と、それをどのように変えていくかを明らかにするように求めました。それがでなければ提案は却下され、始めから提案をやり直さなければならないと思ったそうです。それで周囲の人々から、この人は本当に変化を求めていると気づき始められ「ゲームチェンジャー」と呼ばれるようになったそうです。ポールハリスも「ロータリーが、その本来の使命を果たすためには、常に進化を続け、時には革命的な変化を起こさなければならない」と言っています。我々の身近な存在であるインターアクターやローターアクターは、近い将来にロータリアンとなり得る原石です、米山奨学金やロータリー財団への寄付行為は、その先でアジアの勤勉な若者たちの日本への関心や感謝を生み、ポリオ撲滅を目指し、世界中の多くの貧困にあえぐ老若男女の命を助けることに寄与しています。このようなロータリーのかげがえのない崇高な活動は、多くのロータリアンの協力のもとに成り立っています。会員が増えれば、退会を防ぐことができれば、もっともっと平和な社会を我々の力で築くことが可能となるはずで。今一度現状を直視して、みんなで知恵を絞り合い小さなことからでも構いません、未来を担う多くの男女が「ふるさと信州」を振り返り戻って来て、いずれロータリアンとなってくれることを期待して、

そのために私たち地元ロータリアンが何をすればよいかを真剣に考える第一歩に、そして一年になる様に、皆様と共に尽力してまいる所存でありますので、ご協力の程くれぐれも宜しくお願い申し上げます。

2026-2027年度 国際ロータリー第2600地区 ガバナー補佐



東信第一グループ
倉本 浩行
(小諸浅間RC)



東信第二グループ
桑原 茂実
(上田RC)



北信第一グループ
安藤 誠
(須坂五岳RC)



北信第二グループ
田中 清一
(長野東RC)



中信第一グループ
竹内 直彦
(大町RC)



中信第二グループ
関 守昌
(松本空港RC)



諏訪グループ
山田 文雄
(諏訪RC)



上伊那グループ
征矢 武平
(辰野RC)



下伊那グループ
片桐 信親
(飯田東RC)

■2026-2027年度 地区運営方針■

COMEBACK TO SHINSHU

次世代に向けて魅力ある「ふるさと信州」の環境づくりを
新たな発想で、考え行動しよう!

■ 地区重点活動目標 ■

1. 未来へ残る価値、持続可能なインパクトを地域に広げる

- ① 未来に向けロータリアン（ローターアクト）が地域や地域以外に在住する地元出身者、更には次世代を担う子供達や、その親世代の人達への広報活動を含めた奉仕活動を積極的に展開し、よりインパクトのある活動を展開しましょう
- ② クラブがロータリーとローターアクトの理念、目的を理解し、それぞれのルールを守った上で、時代に沿って、個性あるビジョンを持ち、多様性と活気にあふれ、地域社会、グローバル社会に良い変化をもたらす活動しましょう
- ③ 今現在地元にいる10代の子供たちは、20年後30代となり、30年後には40代になります、我々ロータリアンの知識、経験を生かし、魅力ある「ふるさと信州」の環境づくりを新たな発想で考えて行動発信することで、より多くの人材が地元根をおろして、そこから日本や世界の中で活躍し、やがてはロータリー（ローターアクト）に興味を抱き、参加してくれるための持続可能なインパクトを広げることを考え、行動しましょう

2. 継続事業と持続可能となり得る事業の実施

- ① 古着でワクチン
- ② 子どもたちの歩行ケア
- ③ 防災・減災
- ④ 県との連携協定を活用した事業
- ⑤ ローターアクトクラブやインターアクトクラブとの新たな連携事業や活性化（新クラブ結成に繋げる）

これらの事業以外にも私達ロータリアンの経験やスキルを活かし地域を巻き込んだ活動を積極的に行うことで持続可能なインパクトを生み COMEBACK TO SHINSHU へ繋げよう

3. 「会員増強と退会防止」 ～後ろ向きにならず前向きに考え行動しよう～

会員が増えれば、おのずと人とお金（資金力）が増しますので、その先の寄付行為も奨励とともに活発化させ多くの奉仕活動に注入することが可能となります。退会防止に努め会員を維持することもソコに繋がります。

ローターアクト・インターアクトとの交流や長期的目線で新設を奨励します。即効的な視点から女性会員、30代、40代の会員増強に努めましょう。（具体的に可能な数値目標を設定）

そして、新会員の孤立を防ぎあらゆる活動への参加を促しクラブ全体で行動計画の四つの優先事項に照らした活動に巻き込むことを奨励します

■ 活動目標（地区ビジョン） ■

- ① 持続可能な良い変化を生むために、多様性を重んじ、あらゆる側面で公平さを促進し、異なる考えや価値観を持つ人々による貢献を大切にし、DEIを実現します
- ② ロータリー原点である親睦と奉仕を根幹とし、世界および地域社会で良い変化を生み出します
- ③ RI会長メッセージを理解し、地域の特性にあった活動を通じてそれぞれが「魅力ある元気ある個性ある」クラブになる事を目指します
- ④ 世界の未来を担う青少年の活動を支援し、若きリーダーの育成に努めます

■ 地区寄付目標 ■

1. ロータリー財団への寄付

年次基金	1人	150ドル（0クラブを無くそう！）
ポリオプラス	1人	30ドル（0クラブを無くそう！）
平和センターへの寄付	1人	200円
恒久基金への寄付	1クラブ	1,000ドル以上
大口寄付者の獲得		

2. 米山記念奨学会への寄付

1人普通寄付金 3,000円と特別寄付金を合わせて 20,000円以上を目指しましょう

ロータリークラブとローターアクトクラブの優秀賞 目標と達成方法に関する説明

クラブ優秀賞は、各年度のクラブの優れた取り組みを表彰するものです。受賞要件である目標に向けた取り組みは、クラブで会員の参加を促し、地域社会におけるクラブの存在意義を保ち、効率的に運営するための一助となります。人びとを温かく迎え、参加を促すクラブは、ロータリーの価値観を反映したクラブであると言えます。クラブが本賞の目標に取り組むことで、ロータリーの力強さを保ち、次世代にとってふさわしい文化を育むことができます。

クラブ優秀賞の受賞資格を満たすには、クラブの会費納入状況が良好である(RI からのクラブ請求書の全額を遅延なく納入している)ことが条件となります。クラブの会費納入状況が良好であることを確認するには、「My ROTARY」のタブにあるクラブ名をクリックしてから、「財務」>「クラブ請求書」の順にクリックしてください。クラブの未納金残高が 0 ドルである必要があります。会費の納入は請求書が閲覧可能となり次第、速やかに行ってください。

クラブのリーダーは、クラブ優秀賞の達成を目指して、ロータリークラブ・セントラルにある目標の中から目標を選ぶことができます。このような柔軟性により、クラブにとって最も重要で達成可能と思われる目標を選ぶことができます。さらに、目標の多くはロータリークラブ・セントラル内で「達成」に印をつける自己報告方式となります。受賞資格を得るには、クラブは少なくとも半分の目標を 6 月 30 日までに達成する必要があります。

クラブ優秀賞を受賞するには、以下を行っていただく必要があります：

1. ロータリークラブ・セントラルを開く
2. 目標の内容を確認する
3. その中から少なくとも半分の目標を選択する
4. 選んだ目標を達成する
5. 6 月 30 日までにロータリークラブ・セントラルで達成を報告する
6. クラブ請求書を受領したら、速やかに請求額の全額を支払う

ロータリークラブ・セントラルを開いたら、ページ左側にある「クラブの目標」をクリックして開き、年度を選んでから「すべて」をクリックしてください。受賞資格は、6 月 30 日現在の目標達成状況に基づいて決定されます。

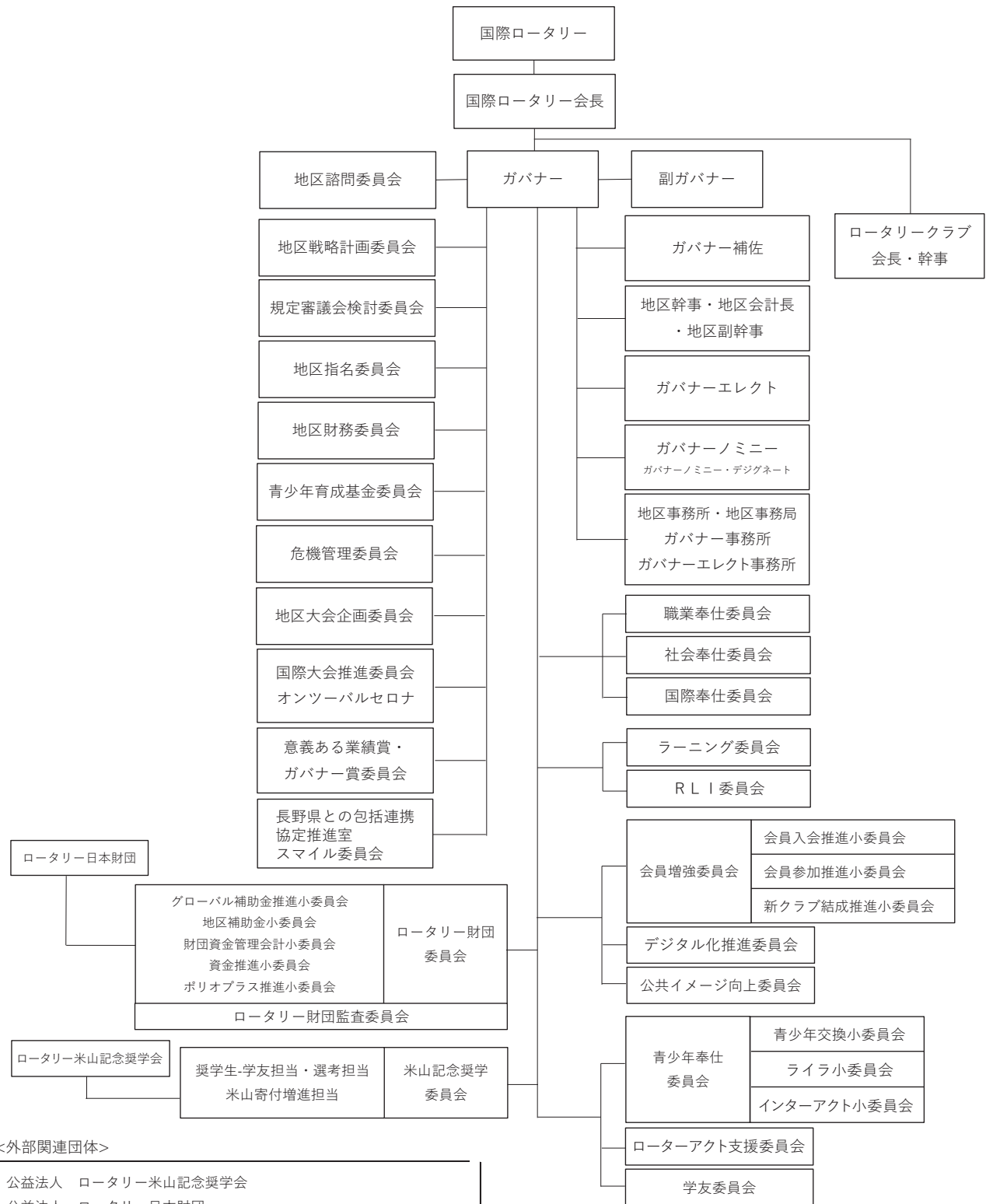
参加者の積極的なかわりを促す	
目標	内容
奉仕活動への参加*	本ロータリー年度にクラブの奉仕活動に参加する会員の数
親睦のための活動	このロータリー年度に、例会以外に親睦を目的としてクラブが実施した活動の回数
ロータリー行動グループへの参加	本ロータリー年度に少なくとも 1 つのロータリー行動グループのメンバーとなっている会員の数

参加者の積極的なかわりを促す	
リーダーシップ育成への参加	本ロータリー年度にリーダーシップ養成プログラム／活動に参加する会員の数
地区大会への参加	地区大会に__名の会員が出席する。
ロータリーの公式推進資料の利用	このロータリー年度に地域社会でロータリーを紹介するために、国際ロータリーから提供される広告と公共奉仕資料(ブランドリソースセンターから入手可能な放送用ビデオ、印刷広告、その他の公式資料)をクラブが使用したかどうか
ロータリー親睦活動グループへの参加	本ロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなっている会員の数
地区研修への参加	役割に備えるためにラーニング行事に出席するクラブリーダーの数

より大きなインパクトをもたらす	
目標	内容
年次基金への寄付*	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団年次基金への寄付総額
ポリオプラス基金への寄付*	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団ポリオプラス基金への寄付総額
ベネファクター*	遺言またはそのほかの遺産計画に財団恒久基金を指定して寄付することをロータリー財団に通知、または恒久基金に 1,000 米ドル以上を寄付して、新たにベネファクターとなる個人・夫婦の数
奉仕プロジェクト	このロータリー年度にクラブが実施する奉仕プロジェクトの数
大口寄付	本ロータリー年度に寄せられる一括 10,000 ドル以上の寄付の件数
遺贈友の会会員	遺産計画を通じてロータリー財団に 10,000 ドル以上の寄付を誓約することを、初めて本ロータリー年度にロータリー財団に通知する個人・夫婦の数
来訪する青少年交換学生	本ロータリー年度にクラブが受け入れる青少年交換学生の数
派遣する青少年交換学生	本ロータリー年度にクラブが派遣する青少年交換学生の数

改訂:2025 年 6 月

地区組織図

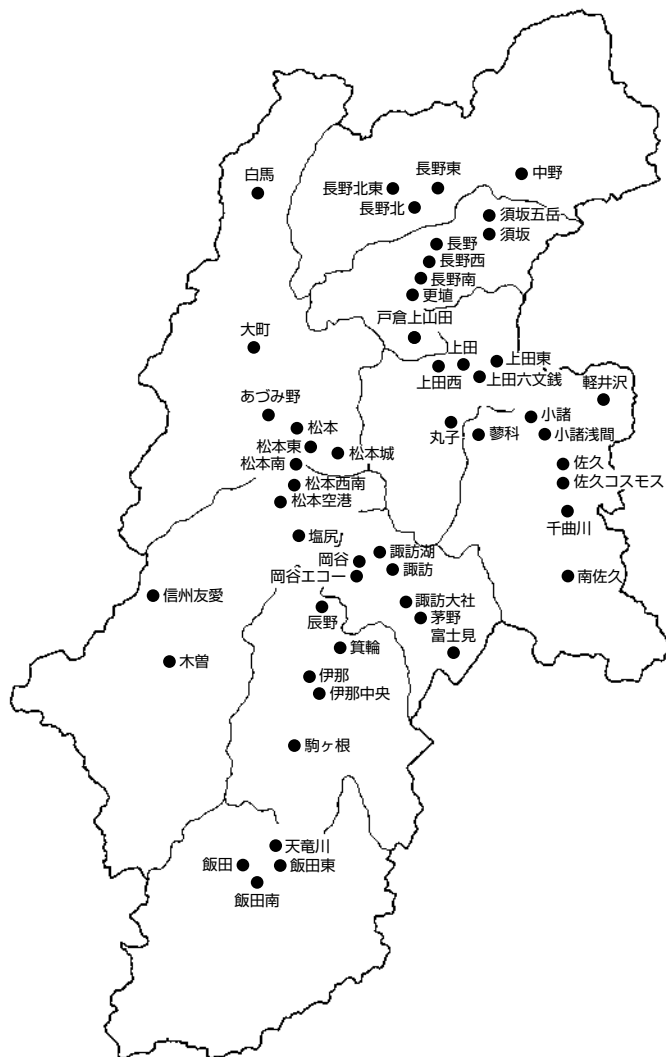


＜外部関連団体＞

公益法人 ロータリー米山記念奨学会
 公益法人 ロータリー日本財団
 一般社団法人 ロータリーの友事務所
 日韓親善委員会
 RL I 日本支部
 一般社団法人 国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構(RIJYEM)

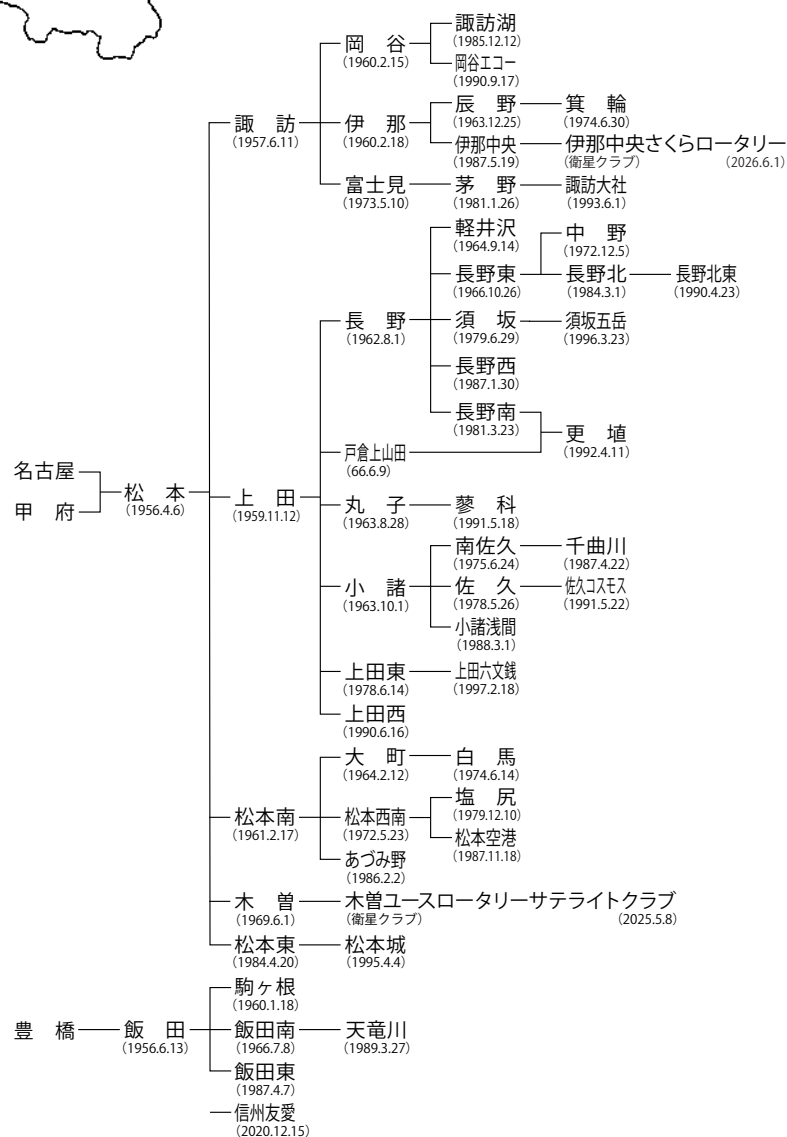
※DEI推進小委員会は「スマイル委員会」に改名いたしました。

ロータリークラブ位置図



国際ロータリー第2600地区 2026-2027年度
ロータリークラブ系統図

2026年7月現在52クラブ(創立年月日)



目 次

クラブ報告（１）～（１０）	12
事業計画	
（１）クラブ会長の基本方針及び重点目標	17
（２）役員・理事・委員会構成表	18
（４）クラブ行事予定表（プログラム）	28
（６）委員会事業計画	31
充填・未充填職業分類一覧表	34
前年度報告	
（１）奉仕活動	39
（２）地区・グループ行事	39
（３）親睦活動行事	39
（４）出席率	39
（５）卓話	40
長野東ロータリークラブ定款	44
長野東ロータリークラブ細則	52
長野東ロータリークラブ内規	56
長野東ロータリークラブ歴代役員・委員名簿	58

ク ラ ブ 報 告

(1) クラブ沿革

創 立	1966年10月26日
国際ロータリー加盟承認	1966年11月21日
認 証 状 伝 達 式	1967年 9 月17日
チャーターメンバー	26名
特 別 代 表	黒澤三郎
スポンサー・クラブ	長野ロータリー・クラブ

(2) 所在地

事務所 長野市県町576 ホテル国際21内 TEL 026 (233) 5522 〒380-0838
E-mail : 3nagano.e-re@dia.janis.or.jp
例会場 長野市県町576 ホテル国際21 TEL 026 (234) 1111 〒380-0838
例会曜日及び時間 毎週水曜日 12時30分～13時30分
取引銀行 八十二長野銀行：県庁内支店 長野信用金庫：石堂支店

(3) 過去 3 年平均出席率 76.13%

(4) 区域限界

長野市全域 (2002.12.31.RI承認)
人口：358,000人 (2026年 6 月 1 日現在)

(5) 会員の状況 (2026年 7 月 1 日現在)

正 会 員 56名

(6) 会員の年齢 (2026年 7 月 1 日現在)

最 年 長 者 92歳
最 年 少 者 39歳
平 均 年 齢 60.89歳

(7) 会員の増強の推移

	創 立 時	1967～68	1968～69	1969～70	1970～71	1971～72	1972～73	1973～74
期 首 入 会 退 者	26名	36名	41名	45名	54名	58名	60名	60名
	10名	8名	5名	11名	5名	7名	4名	7名
	0名	3名	1名	2名	1名	5名	4名	6名
合 計	36名	41名	45名	54名	58名	60名	60名	61名
	1974～75	1975～76	1976～77	1977～78	1978～79	1979～80	1980～81	1981～82
期 首 入 会 退 者	61名	64名	65名	68名	68名	67名	70名	73名
	6名	4名	4名	6名	4名	7名	6名	4名
	3名	3名	1名	6名	5名	4名	3名	5名
合 計	64名	65名	68名	68名	67名	70名	73名	72名
	1982～83	1983～84	1984～85	1985～86	1986～87	1987～88	1988～89	1989～90
期 首 入 会 退 者	72名	71名	76名	78名	80名	82名	83名	83名
	6名	13名	8名	9名	5名	7名	6名	8名
	7名	8名	6名	7名	3名	6名	6名	8名
合 計	71名	76名	78名	80名	82名	83名	83名	83名
	1990～91	1991～92	1992～93	1993～94	1994～95	1995～96	1996～97	1997～98
期 首 入 会 退 者	83名	87名	89名	91名	94名	95名	95名	98名
	11名	9名	11名	5名	10名	8名	11名	6名
	7名	7名	9名	2名	9名	3名	5名	0名
合 計	87名	89名	91名	94名	95名	100名	101名	104名
	1998～99	1999～2000	2000～01	2001～02	2002～03	2003～04	2004～05	2005～06
期 首 入 会 退 者	99名	94名	97名	88名	85名	81名	75名	69名
	10名	9名	4名	5名	7名	3名	5名	11名
	5名	4名	8名	8名	11名	9名	11名	10名
合 計	104名	99名	93名	85名	81名	75名	69名	70名
	2006～07	2007～08	2008～09	2009～10	2010～11	2011～12	2012～13	2013～14
期 首 入 会 退 者	70名	65名	62名	64名	67名	63名	65名	58名
	5名	5名	9名	7名	5名	10名	2名	9名
	10名	8名	7名	4名	9名	8名	9名	5名
合 計	65名	62名	64名	67名	63名	65名	58名	62名
	2014～15	2015～16	2016～17	2017～18	2018～19	2019～20	2020～21	2021～22
期 首 入 会 退 者	62名	58名	56名	51名	54名	57名	55名	57名
	4名	10名	6名	11名	8名	6名	9名	4名
	9名	12名	11名	8名	5名	8名	7名	8名
合 計	57名	56名	51名	54名	57名	55名	57名	53名
	2022～23	2023～24	2024～25	2025～26				
期 首 入 会 退 者	53名	51名	57名	57名				
	6名	15名	5名	9名				
	8名	9名	5名	10名				
合 計	51名	57名	57名	56名				

2025～2026年度 入・退会者

入会者

2025年7月2日 加藤 洋平 2026年1月21日 鈴木 直人
 2025年7月2日 中村 幸司 2026年3月4日 山崎 良人
 2025年7月2日 津川 章久 2026年4月8日 山本 健太
 2025年7月16日 夏目慶太郎 2026年4月15日 東村 智司
 2025年10月1日 緒方 誠

退会者

2025年9月30日 堤 満弘 2025年6月18日 関山 岳大
 2025年12月31日 原田 政和 2026年6月30日 篠原 圭二
 2026年2月28日 山本 博史 2026年6月30日 山鹿 武
 2026年3月31日 岩井 敏 2026年6月30日 中村 志穂
 2025年6月4日 関口 泰久 2026年6月30日 棚橋 裕弥

(8) ロータリー財団 (2023年7月1日現在)

PerCapita (会員一人当たりの寄付金)	150ドル
ポールハリス・フェロー数	135名
マルチプル・フェロー数	24名
ベネファクター数	9名
大口寄付者数	1名
「遺贈友の会」会員数	1名

ロータリー財団学生

山崎岩男	(1984～85年度	イタリア・声楽)
矢崎千恵美	(1985～97年度	アメリカ・ジャーナリズム)
中村哲子	(1987～88年度	イギリス・英文学)
沼田秀美	(1989～90年度	イタリア・声楽)
宮川進悟	(1990～91年度	フランス・フランス文学)
小柳昭喜	(1991～92年度	アメリカ・英語教育)
小松和人	(1992～93年度	アメリカ・泌尿器科学)
麻生直子	(1993～94年度	アメリカ・国際関係学)
山田茂	(1994～95年度	イギリス・応用言語学)
甘利美保	(1995～96年度	イギリス・国際関係学)
神林朋子	(1996～97年度	アメリカ・総合政策学)
勝山祐子	(1997～98年度	フランス・フランス文学)
片井みゆき	(1998～99年度	アメリカ・医学)
平林美樹	(2001～02年度	イギリス・計算物理学)
大森和恵	(2002～03年度	アメリカ・会計学)
横田里砂	(2005～06年度	イギリス・古典)

(9) 米山記念奨学会

米山功労者数	98名
米山功労法人数	13社
特別功労法人数	2社

米山奨学生

氏名	カウンセラー	年度	国	学部
リム・テン・ハツ	藤井裕	1986～88年度	マレーシア	信大 工学部
崔昇浩	矢島一	1988～89年度	韓国	信大 教育学部
游麗方	鹿熊肇	1990～91年度	台湾	信大 経済学部
玉小華	北野吉造	1991～92年度	中国	信大 経済学部
呉枝美	宮本肇	1992～94年度	台湾	信大 人文学研究科
揚宇	小笠原武一	1993～94年度	中国	信大 理学部
張淑華	小笠原武一	1994～96年度	中国	信大 教育学部
尹善美	矢島一	1996～97年度	韓国	信大 教育学部
肖涛	岡宮照行	1997～98年度	中国	信大 教育学部
張美珍	宮崎一治	1997～98年度	台湾	信大 人文学科
林錦明	宮崎一治	1998～00年度	中国	信大 工学科
任明明	丸山庸雄	1999～02年度	中国	信大 教育学部
張健	塩沢堅吉	2000～02年度	中国	信大 工学部
范以丁	高木勇	2002～03年度	中国	信大 教育学部
李秉周	高木勇	2003～04年度	韓国	信大 工学系
ファン・ヴァン・ビン	今井用一	2005～07年度	ベトナム	信大 工学部
韩玫瑰	中澤勝	2007～08年度	中国	信大 教育学部
ツォゴ・デルゲルサイハン・デーギ	篠原寿人	2009～10年度	モンゴル	信大 工学部
グエン・ジャン・ティ・トウ	篠原寿人	2010～11年度	ベトナム	信大 工学部
グエン・ジャン・ティ・トウ	篠原寿人	2011～12年度	ベトナム	信大 工学部
リチ・クルニア・アリフ	和田晶宜	2013～15年度	インドネシア	信大 大学院
韓偉	倉石智典	2017～18年度	中国	信大 大学院
ヴミンクアン	関口浪男	2019～20年度	ベトナム	信大 工学部
ファム・フーミン	仁科圭右	2020～21年度	ベトナム	信大 工学部
伍耀揚	堤満弘	2022～23年度	中国	長野県立大 グローバルマネジメント学科
伍耀揚	倉石智典	2023～24年度	中国	長野県立大 グローバルマネジメント学科
郎晟鈞	鳥井清司	2024～26年度	中国	信大 大学院

(10) 青少年交換留学生

1. 受入学生

受入年度	名 前	国	カウンセラー	第1ホストファミリー	第2ホストファミリー	第3ホストファミリー	第4ホストファミリー
1983～ 1984	Shelley Ann Ruhr シェリー・アン・ルー	カナダ	土屋 磯司	土屋 磯司	小林 幸雄	丸山 庸雄	長谷部 好一
1985～ 1986	Christine Antonia Zorzi クリスティーナ・アントニア・ゾルジ	オーストラリア	土屋 磯司	塩沢 堅吉	鷺澤 正一	岡宮 秀明	橋本 浩
1989～ 1990	Kristen Jane Giliespie クリスティン・ジェーン・ギレスピー	オーストラリア	土屋 磯司	高橋 俊博	岡宮 秀明	小林 俊雄	青木 元吉
1990～ 1991	Dianna Jean Bannink ダイアナ・シェーン・バニング	オーストラリア	山口 輝雄	岡宮 秀明	小林 俊雄	岩井 敏	高橋 俊博
1991～ 1992	Derek Yakiwchuk デレック・ヤクイチェック	カナダ	矢島 一	中村 千春	光延 丈喜夫	小山 健英	丸田 献太郎
1992～ 1993	Didi Skrade Deloris Rosa ディディ・スクレイド・デロリス・ロザ	アメリカ	矢島 一	星野 達夫	小山 健英	青木 元吉	柳澤 幸一
1994～ 1995	Kari Trunnel カリ・トルンネル	アメリカ	土屋 磯司	高橋 俊博	岡宮 秀明	小林 俊雄	青木 元吉
1995～ 1996	Gregoir De Theux グレゴワール・デ・セウ	ベルギー	土屋 磯司	関 一朗	丸山 庸雄	柳澤 一夫	中村 千春
1996～ 1997	Jason Tupeck ジェイソン・ツベック	アメリカ	丸山 庸雄	柳澤 幸一	柳澤 一夫	中村 千春	小山 健英
1997～ 1998	Acosta Melissa アコスタ・メリッサ	アメリカ	岩井 敏	中村 千春	柳澤 幸一	関 一朗	柳澤 一夫
1998～ 1999	Eric Lanz エリック・ランツ	アメリカ	丸山 庸雄	柳澤 幸一	彦坂 慈良	小山 健英	彦坂 慈良
1999～ 2000	Cheistopere Curtis クリストファー・カーティス	カナダ	塩沢 堅吉	彦坂 慈良	森山 厚志	関 一朗	柳澤 一夫
2000～ 2001	Noemi Ruth Arce Sanchz ノエミルス・アルセ・サンチェス	メキシコ	高橋 俊博	彦坂 慈良	森山 厚志	柳澤 幸一	関 一朗
2001～ 2002	Sarah Warren サラ・ウォーレン	アメリカ	中村 千春	柳澤 幸一	森山 厚志	彦坂 慈良	小林 幸雄
2002～ 2003	Shannon Horn シャナン・ホーン	アメリカ	小山 健英	柳澤 幸一	小林 幸雄	森山 厚志	羽田 岩男
2003～ 2004	Abrego Mendez Giovanni アブレゴ・メネンデス・ジョバニ	メキシコ	柳澤 幸一	森山 厚志	羽田 岩男	小林 幸雄	柳澤 幸一
2004～ 2005	Vianney Anely Valle Verduzco ビアンネイ・アネリ・バジェ・ベルドゥースコ	メキシコ	小山 健英	羽田 岩男	滝沢 清	小林 幸雄	塩沢 堅吉
2009～ 2010	Christine Laura Hansen クリスティーヌ・ローラ・ハンセン	アメリカ	関 一朗	土屋 龍一郎	青木 元吉	塚田 芳樹	森山 厚志
2015～ 2016	KRUGER-CHAUNUT.Marie.	フランス	岡宮 照行	土屋 龍一郎	戸谷 秀次	小出 麻衣子	戸谷 秀次
2018～ 2019 (短期)	NAGY Emese	ハンガリー	佐藤 忠幸	花立 宏司			
2019～ 2020	Dorina BOROS	ハンガリー	佐藤 忠幸	佐藤 忠幸			
2022～ 2023	Stella Veronica HATTINGER	スウェーデン	土屋 龍一郎	小林 靖一	足立 修		
2025～ 2026	Eden Marie-France Laurence COURCELLE DODEMAN	フランス	土屋 龍一郎	足立 修	内藤 太郎	高見澤 洋	

2. 派遣学生

名 前	出身高校	派遣年度	受入国
釵持 基子	長野高校	1983～1984	カナダ
土屋 美由紀	長野高校	1985～1986	オーストラリア
高橋 裕子	長野日大高校	1989～1990	オーストラリア
岡宮 千恵	長野吉田高校	1990～1991	オーストラリア
丸山 晴美	長野日大高校	1991～1992	カナダ
神林 朋子	長野高校	1992～1993	アメリカ
小山 順	長野高校	1993～1994	アメリカ
関 香織	長野日大高校	1994～1995	アメリカ
中村 龍	長野東高校	1995～1996	ベルギー
柳澤 攝子	長野清泉女学院高校	1996～1997	アメリカ
柳澤 宏幸	長野日大高校	1997～1998	アメリカ
彦坂 亮伸	長野日大高校	1998～1999	アメリカ
森山 絵里奈	長野西高校	1999～2000	カナダ
森山 友里佳	長野女子高校	2000～2001	メキシコ
柳澤 睦実	長野清泉女学院高校	2001～2002	アメリカ
浦河 舞	長野女子高校	2002～2003	アメリカ
羽田 敏昭	上田西高校	2003～2004	メキシコ
滝沢 清伸	上田西高校	2004～2005	メキシコ
土屋 豪太	長野高校	2009～2010	アメリカ
戸谷 翠	長野清泉女学院高校	2015～2016	フランス
花立 ひなた	文化学園長野中学・高校	2018～2019 (短期)	ハンガリー
田中 彩乃	文化学園長野中学・高校	2019～2020 (短期)	ハンガリー
小林 徳亮	文化学園長野中学・高校	2022～2023	スウェーデン
足立 真依	長野西高校	2025～2026	フランス

事業計画及び会長基本方針

(1) クラブ会長の基本方針及び重点目標

2026－2027年度 会長 仁科 圭右

【1】 クラブ会長の基本方針

国際ロータリー2026－2027年度のRI会長メッセージは「持続可能なインパクトを生み出そう」です。英語では“Create Lasting Impact”と表現され、行動人としてロータリー会員が協力し、地元や海外の地域社会で有意義な変化をもたらしていくことを奨励しています。これは、2025-2026年度のメッセージである「よいことのために手を取りあおう」を実現するために会員が互いに、また地域社会との結びつきを強めてきたことを土台としています。ババロラ会長は、まず私たち一人ひとりが変わることによってクラブと地区が変わり、やがて地域社会にまで良い影響を広げていけると語っています。

私たちのクラブでも、これまで続けてきた奉仕活動をより深め、継続することで、本当に必要とされる支援になっているかを見直していきたいと思います。また、例会や研修を通じて会員自身が学び成長することも、将来のインパクトにつながります。この1年、「持続可能なインパクトを生み出そう」という言葉を心にとめながら、当クラブらしさを共に考え、育てる年としたいと思います。

本年度は我がクラブは創立60周年を迎える記念すべき年度です。さらに、北信第二グループのI.M.も担当いたします。前年度からクラブの皆様には準備に着手頂きました。本年度は前年度の土台の上に各種の周年事業を通じて、今後の我がクラブについて考え、さらなる発展につながる1年といたします。

2600地区橋上ガバナーは「COMEBACK TO SHINSHU」のスローガンのもと、「また戻りたい」「住み続けたい」と思えるまちづくりを進める方針を掲げられました。各クラブでは歴史、環境、経験を活かした交流、事業を通じて、地域の元気と誇りを取り戻すことで信州の魅力再確認も目指してまいります。

【2】 テーマ

設立60周年を祝い、伝統の当クラブを皆でさらに磨く第一歩を踏み出そう

- ・当クラブの歴史を再認識し、メンバー交流をより活発にする
- ・当クラブのこれからの10年を考える

【重点目標】

1. 60周年関連事業を成功させる、メンバー皆で祝福する機会とする
2. I.M.開催を成功させ北信第二グループに貢献する
3. 会員の増強を実現し、基盤を充実させる

(2) 2026～2027年度 長野東ロータリークラブ 役員・理事・委員会構成表 ※敬称略
2026年7月1日現在

北信第二グループ補佐	田中清一
会長	仁科圭右
直前会長	袖山榮輝
会長エレクト	岡田義彦
副会長	神田昭夫 (会員増強担当)
理事	吉田秀樹 (会員サービス担当)
理事	中山晴男 (奉仕プロジェクト担当)
理事	塩沢豪 (財団担当)
幹事	久保田一臣 (青少年奉仕担当)
副幹事	加藤久美子
副会幹	高見澤洋
S A	岡田義彦
S A	内藤太郎
副監	千場明秀 (ニコニコボックス担当)
	倉石智典

名誉会員 土屋磯司

米山記念奨学生 小林宣範

青少年交換留学生 内藤太郎

〈会員増強委員会〉

委員長 神田昭夫
委員 千野貴文 岩本 弘 鷲澤幸一 篠田 諭 横田一尊

〈会員サービス委員会〉

委員長 吉田秀樹
出席担当：加藤洋平 親睦担当：夏目慶太郎 プログラム担当：吉田武史
委員 倉田英彦 川浦俊樹 若林順平 緒方 誠 津川章久 小林宣範
池田明弘 中村幸司 谷 拓也 坪井敬二 鈴木直人 山崎良人
山本健太 東村智司 小山 聡

〈奉仕プロジェクト委員会〉

委員長 中山晴男
委員 仁科恵敏 岡宮照行 夏目 潔 中澤 勝 宮澤与一
竹村國彦 永井真介 北野敬造 中山 潔

〈財 団 委 員 会〉

委員長 塩沢 豪
委員 春日英廣 渡辺敬六 山田康裕 塚田哲郎

〈青少年奉仕委員会〉

委員長 久保田一臣
インターアクト担当：鳥井清司
委員 土屋龍一郎 奥山 哲 荻原 勝 神津富治男 鹿熊 聡
吉澤 茜

〈戦 略 計 画 委 員 会〉

委員長 仁科圭右
副委員長 袖山榮輝 岡田義彦
委員 神田昭夫 篠原圭二 加藤久美子

〈ガバナー補佐事務局〉

ガバナー補佐幹事 千野貴文
ガバナー補佐副幹事 倉石智典 鹿熊 聡 塩沢 豪

2026～2027年度 第2600地区役員・委員会出向者名簿

北信第二グループ ガバナー補佐	田 中 清 一
青少年奉仕委員会 インターアクト小委員会 委員	久保田 一 臣
デジタル化推進委員会 委員	津 川 章 久
ロータリー財団委員会 地区補助金委員会 委員	吉 田 武 史
青少年交換小委員会 委員	岡 田 義 彦
ローターアクト支援委員会 委員	倉 石 智 典

(4) 2026～2027年度 長野東ロータリークラブ クラブ行事予定表(プログラム)

2026年7月～2027年6月

例会回数	月	日	クラブ行事	内容	地区及びRI行事
2706	6	17	☆2025～2026年度最終例会	ホテルメトロポリタン長野	
1	2707	1	新年度方針・誕生祝		11日(土)第1回地区チーム会議
2	2708	8	理事会・クラブ年次総会	事業決算報告 予算審議	11日(土)第6回派遣学生オリエンテーション・受入れクラブオリエンテーション
3	2709	15	卓話	配布物	26日(日)地区補助金説明会
		22	祝日のある週のため休会		
4	2710	29	☆納涼会		9月末に創立60周年記念式典があるため観月会ではなく納涼会选择
5	2711	5	クラブ年次総会・理事会・誕生祝	クラブフォーラム	(会員増強・新クラブ結成推進月間)
		12	祝日のある週のため休会		8日(土)インターアクト夏合宿
6	2712	19	卓話		21日(金)～23日(日)第2回受入学生オリエンテーション
7	2713	26	ガバナー補佐事前訪問	クラブ協議会	29日(土)米山及び財団地区セミナー
8	2714	2	クラブ年次総会・理事会・誕生祝	次期役員決定	(基本的教育と識字率向上月間)
9	2715	9	ガバナー公式訪問		(ロータリーの友月間)
10	2716	16	創立60周年実行委員会		12日(土)第37回RAYLA(佐久グランドホテル/佐久コスモスRC)
		23	祝日のため休会		26日(土)長野東RC創立60周年記念式典(ホテル国際21)
		30	創立60周年記念式典に振替休会		27日(日)RLI part I
11	2717	7	誕生祝・理事会	クラブフォーラム	(米山月間)(経済と地域社会の発展月間)
		14	祝日のある週のため休会		3日(土)第1回会長エレクト・次期幹事研修
		21	地区大会に振替休会		17日(土)～18日(日)2026～2027年度地区大会(飯田文化会館・下伊那G)
12	2718	28	卓話		
		4	祝日のある週のため休会		(ロータリー財団月間)
13	2719	11	クラブ年次総会・理事会・誕生祝	クラブフォーラム	
14	2720	18	IM実行委員会		28日(土)北信第二グループ会員セミナー・IM(ホテル国際21/長野東RC)
		25	祝日のある週のため休会		29日(日)RLI part II
		2	IMに振替休会		(疾病予防と治療月間)
15	2721	9	クラブ年次総会・誕生祝・理事会	次期理事役員決定	19日(土)第2回受入学生クリスマスオリエンテーション
16	2722	16	☆忘年家族例会		
		23	休会①		
		30	祝日のある週のため休会		
		6	休会②		(職業奉仕月間)
		13	祝日のある週のため休会		16日(土)～17日(日)第3回受入学生オリエンテーション
17	2723	20	新年初例会・誕生祝・理事会	クラブフォーラム	23日(土)第2回地区チーム会議
18	2724	27	☆新年会		31日(日)RLI part III

	例会回数	月	日	クラブ行事	内容	地区及びRI行事
19	2725	2	3	理事会・誕生祝	クラブフォーラム	(平和と紛争予防/紛争解決月間)
			10	祝日のある週のため休会		(2/23ロータリー設立記念日)
20	2726		17	卓話		6日(土)新会員の集い
			24	祝日のある週のため休会		27日(土)次期地区チーム研・ラーニングセミナー 28日(日)RLI補修コース
21	2727	3	3	理事会・誕生祝	クラブフォーラム	(水と衛生月間)
22	2728		10	卓話		
23	2729		17	卓話		20日(土)PELS(会長エレクトラーニングセミナー)
			24	祝日のある週のため休会		27日(土)RLI卒業コース
			31	休会③		
24	2730	4	7	理事会・誕生祝	クラブフォーラム	(母子の健康月間)
25	2731		14	☆観桜会		創立60周年記念事業(雅楽演奏会)(日程未定4月～5月)
26	2732		21	卓話		3日(土)クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー(旧地区研修・協議会)
			28	祝日のある週のため休会		18日(日)第34回インターアクト地区協議会
		5	5	祝日のため休会		(青少年奉仕月間)
27	2733		12	理事会・誕生祝	クラブフォーラム	市内6RC合同親睦ゴルフコンペ(長野西RC)
28	2734		19	卓話		ローターアクト地区年次大会
29	2735		26	卓話		
30	2736	6	2	理事会・誕生祝	クラブフォーラム	(ロータリー親睦活動月間)
31	2737		9	インターアクト地区大会実行委員会		13日(日)第34回インターアクト地区大会(文化学園長野中・高等学校/長野東RC)
32	2738		16	☆2026～2027年度最終例会	ホテル国際21	19日(土)新旧合同地区チーム会議
			23	インターアクト地区大会に振替休会		20日(日)受入学生さよならオリエンテーション
			30	休会④		26日(土)～30日(水)2027年国際大会(スペイン/バルセロナ)

☆ 親睦夜間例会

通常例会 12:30～13:30 27回

夜間例会(親睦) 5回

計 32回

(6) 委員会事業計画

1. 会場監督 (SAA : Sergeant At Arms)

内 藤 太 郎

秩序と品格のある効率的な例会・会合に努め、楽しい雰囲気づくりに取り組む。

- 1 参加する会員相互の親睦と理解をより深められるよう座席の入れ替えや会場づくりに努める。
- 2 来賓、ビジター（他クラブ来訪者）、卓話者を格式高く出迎え、席への誘導をスムーズに行う。会員のバッジ着用、ドレスコード（ネクタイ着用等）の確認と指導を徹底する。
- 3 定刻1分前の着席を促し、定刻点鐘を完全にサポートする。例会中の私語、携帯電話の使用、不必要な離席を抑止し、厳粛な雰囲気を維持する。
- 4 食事の無駄が出ないように「欠席連絡」等の周知を徹底する。
- 5 ニコニコボックスの一層の理解と、善意と奉仕の寄付が進むよう周知に努める。
- 6 ロータリーソングや「県歌 信濃の国」の斉唱によりクラブ一体感の醸成に努める。

2. 副SAA(ニコニコボックス担当)

干 場 明 秀

ニコニコボックスを通じたご寄付は、ロータリークラブの奉仕活動に役立てられます。設立60周年という記念すべき年度におけるメンバー交流を盛り上げるべく、積極的にニコニコボックスをご活用ください。皆様の善意・奉仕の心をしっかりと発信してまいります。

3. 会員増強委員会

委員長 神 田 昭 夫

会員の増強には、入会した会員がロータリークラブの活動を知っていただき、ロータリークラブの事をよく理解していただくことが大切です。

そして、入会してよかったと感じてもらわなければ、会員増強にはなかなか進みません。ロータリークラブの活動を通じて、会員の満足度向上と会員自らが楽しめるように、各委員会と連携して進めてまいります。

また、会員に推薦状の提出をお願いしていくとともに、必要に応じて、候補者には例会にビジターとしての参加を進めます。

4. 会員サービス委員会

委員長 吉 田 秀 樹

本年度も当クラブのフレンドリーな雰囲気を大事にしつつ、会員相互の親睦と情報交換を活発に進めていくために、出席担当、親睦担当、プログラム担当の皆さんと連携を図り、会長基本方針のもとで充実したクラブの運営を目指します。

5. 会員サービス委員会 出席担当

責任者 加 藤 洋 平

本年度は、会長基本方針に基づき

「今日も会えてよかった」

と感じていただける例会づくりを大切にしながら、会員の皆様が自然と足を運びたくなる環境を

整え、出席率の向上につなげてまいります。

また、人と人との出会いを何よりの価値と捉え、「あなたと私が出会う例会運営」を軸に、会員一人ひとりの充実とクラブ全体の発展に寄与できるよう努めてまいります。

担当として責任と誇りを持ち、一年間取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

6. 会員サービス委員会 親睦担当

責任者 夏 目 慶太郎

会員同士が同じ体験を共有することで強固な絆を育み親睦を深めます。更には新たなクラブ組織の価値が創造出来るような企画運営に努めます。

1. 夜間例会の企画運営

2025-2026年度最終例会	6月17日（水）
納涼会	7月29日（水）
忘年家族例会	12月16日（水）
新年会	1月27日（水）
観桜会	4月14日（水）

2. 会員及び家族の親睦を図る事業の企画運営

3. 来賓、ゲストスピーカー、ビジターへの歓迎と親睦

4. 長野市内6RC合同親睦ゴルフコンペのホストクラブとの連絡調整

7. 会員サービス委員会 プログラム担当

責任者 吉 田 武 史

1. クラブの年間方針に基づき、会員相互の親睦と交流を深める事業運営に努めます。

2. 多くの会員が参加しやすい例会・事業を企画し、会員満足度の向上と活気あるクラブづくりを推進します。

3. ゲスト卓話や研修会では、時代や地域性を踏まえた講師・テーマを選定し、知識や教養を高める機会の充実に努めます。

4. 新入会員との交流機会を積極的に設け、会員同士の理解と連携を深められる環境づくりを行います。

5. 会員サービス活動を通じて、地域社会とのつながりを大切にし、魅力あるクラブ運営に努めます。

8. 奉仕プロジェクト委員会

委員長 中 山 晴 男

そもそも「奉仕」とは何でしょうか。一般的には報酬や見返りを求めることなく活動することを示す言葉とされているようですが、持続的に意欲をもって奉仕活動を行っていくためには、私は活動を行う者にとっても価値のあるものでなければならないと考えます。その活動をすることによって自分も新たな知識を得られる、自分も成長できる、新しい仲間ができる等、「奉仕」活動に参加することで自ずと価値を創出できるものでありたいものです。

長野東RCにおける奉仕活動もそうあるべきとの考えから、本年度ではクラブ内の仲間を知ることと共に、クラブ外の仲間も良く知ることに努めたいと思います。それによって奉仕の輪を広げ、そこにいる人々全員に新たな価値を創出することができればうれしく思います。

9. 財団委員会

委員長 塩 沢 豪

ロータリー財団と公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の事業や活動に対して、会員の自主性を尊重しつつ、資金的寄付とプログラムへの参加を通じて継続的に支援していきます。また、日々変わる国際情勢・社会情勢を鑑みつつ、事業の意義について引き続き理解を深めていただくよう、支出効果についても可能なかぎり情報開示に努めます。また、資金的支援のため会員に対してニコニコBOXへの能動的な参加を促します。

10. 青少年奉仕委員会

委員長 久保田 一 臣

青少年奉仕はロータリークラブの第5の奉仕部門であり、若い世代のリーダーシップの育成と、国際奉仕や社会奉仕を通じた行動を通し奉仕の価値観を学ぶことを目的としています。特に今年度はインターアクト地区大会のスポンサークラブとして、クラブ内においても青少年奉仕の重要性の認識を高め、若い世代のリーダー育成と支援を行ってまいります。

- ① 第34回インターアクト地区大会の開催及びその支援
- ② インターアクトクラブとの連携強化
- ③ 「HELLO NAGANO」の開催と次年度以降のプロジェクト立案
- ④ 青少年交換留学生及び米山奨学生の支援
- ⑤ 青少年奉仕に係る各プログラム（インターアクト、RYLA、青少年交換留学生、ローターアクト、グローバル奨学生及び米山奨学生）の理解を深め、クラブに活かしていく。

11. 青少年奉仕委員会 インターアクト担当

責任者 鳥 井 清 司

RI及び地区ガバナー方針に沿った事業を実施し、ロータリーの青少年保護方針が守られるよう研修と支援を行う。またインターアクトクラブの活動を指導・支援し、地域のリーダーとなれる青少年の育成を図る。

当クラブにおいては下記の点について重点的に活動を進めていく。（今年度の計画・重点事業）

1. 一人ひとりのインターアクトが、世代を超えた交流により、DEIの実践と人間力向上を図れるよう、研修会や合同行事にて指導・支援を行う。
2. インターアクト&学生によるインバウンドへのガイドMAP配布“HELLO NAGANO”活動に積極的に参加する。
3. IA独自研修の企画及び実施支援を行う。
4. 6月13日に行われるインターアクト地区大会は文化学園長野中・高等学校がホスト校、当クラブがスポンサークラブとなる。地区大会の設営・運営及びホスト校への指導・支援を行う。

充填・未充填職業分類一覧表

2026.7.1 現在

正会員

グループ名		職業分類・細分類	会 員 名		事 業 名
2	医 師	内 科 医 外 科 医 消 化 器 外 科 医 脳 神 経 外 科 医 婦 人 科 医 歯 科 医	北 野 敬 造 山 田 康 裕		北野病院 院長 山田記念朝日病院 理事長・院長
5	印 刷 及 び 出 版	印 刷 製 本 印 刷 材 料 卸 書 籍 出 版 新 聞 販 売	倉 田 英 彦 奥 山 哲	未充填 未充填 未充填 未充填 未充填	中外印刷(株) 代表取締役 カシヨ(株) 代表取締役社長
6	運 輸	貨 物 自 動 車 輸 送 タ ク シ ー 業 旅 行 幹 旋	山 崎 良 人	未充填 未充填 未充填	(株)JTB長野支店 支店長
7	化 学 工 業	薬 品 卸	中 澤 勝		生機化学(株) 相談役
9	菓 子	菓 子		未充填	
10	果 樹 及 び 園 芸	造 園		未充填	
11	金 物	金 物 製 造		未充填	
13	ガ ス 工 業	都 市 ガ ス 供 給	中 山 潔		長野都市ガス(株) 代表取締役社長
15	教 育	語 学 教 育	土 屋 龍 一 郎		(株)ナーガ 代表取締役
16	機 械 及 び 装 置	バ ル ブ 製 造	竹 村 國 彦		(株)竹村製作所 代表取締役会長
18	金 属 加 工	金 属 製 錬		未充填	
20	金 融	普 通 銀 行 信 用 金 庫 証 券 業	吉 田 秀 樹 岡 宮 照 行 干 場 明 秀	未充填 未充填	(株)八十二長野銀行 常務執行役員 長野証券(株) 代表取締役会長 野村証券(株) 長野支店 支店長
21	行 政	行 政 投 資 信 託	山 本 健 太	未充填	SMBC日興証券(株)長野支店 支店長
26	建 設 業	建 設 業 建 築 設 計	篠 田 諭	未充填	(株)宮本忠長建築設計事務所 顧問

グループ名		職業分類・細分類	会 員 名		事 業 名
27	建 築 材 料	総 合 建 設 業	鳥 井 清 司	未充填	(株)三友ファシリティーズデザイン 取締役社長
			小 林 宣 範		(株)エーシーエ設計 取締役社長
			塩 沢 豪		北野建設(株) 執行役員
			鹿 熊 聡		(株)鹿熊組 代表取締役社長
			通 信 建 設		
			電 気 工 事		(株)旭電気商会 代表取締役会長
			総 合 設 備		(株)トーエネック 執行役員長野支店長
			電 気 通 信 工 事		
			電 気・機 械 設 備		(株)マナテック 代表取締役社長
			土 木 工 事		川浦土建(株) 代表取締役
32	シール及び絶縁材料	保 温 断 熱 材 製 造	加 藤 洋 平	未充填	(株)本久ホールディングス 取締役レジャー事業部部長
			春 日 英 廣		Nikki Fron(株) 代表取締役会長
			宮 澤 与 一		昭和自動車(株) 会長
			塚 田 哲 郎		長野ヤナセ(株) 代表取締役社長
			袖 山 榮 輝		(宗)十念寺 住職
			仏 教		
			清 酒 製 造		
			粉 類 卸		
			果 物 卸		
			糖 類 卸		
36	車 両 (2)	普 通 自 動 車 小 売	豆 類 調 整 品 製 造	未充填	
			加 工 紙		
			上 下 水 道 工 事		
			情 報 サ ー ビ ス		(株)メディア通商 代表取締役社長
			情 報 文 化		クリエイティブ ラボ チーム・未来 のMikata 代表
			地 域 観 光 開 発、PR		
			情 報 広 告 全 般		(株)ビー・クス 執行役員
			広 告 業		
			事 務 用 品		
			事 務 用 紙 製 品 卸		(株)夏目 代表取締役社長
37	宗 教	仏 教	夏 目 潔	未充填	
38	酒 精 飲 料	清 酒 製 造		未充填	
39	食 品 (植物性食品)	粉 類 卸		未充填	
42	食 品 (その他の食料品)	豆 類 調 整 品 製 造		未充填	
43	紙 工 業	加 工 紙		未充填	
45	上下水道及び灌漑	上 下 水 道 工 事		未充填	
46	情報・調査及び広告業	情 報 サ ー ビ ス		未充填	
47	事務用品	情 報 文 化		未充填	
49	スポーツ及び遊技用品	地 域 観 光 開 発、PR		未充填	

グループ名		職業分類・細分類	会 員 名		事 業 名
53	セメント工業	セメント卸	鷺澤 幸一		炭平コーポレーション(株)代表取締役
59	繊維（衣服）	紳士服小売	中山 晴男		(株)明治屋 代表取締役
		婦人服小売		未充填	
		作業服卸		未充填	
		呉服小売		未充填	
60	繊維（衣料）	衣料小売	夏目慶太郎		信濃衣料(株) 取締役副社長
65	倉庫	倉庫業		未充填	
66	葬祭	葬祭業	鈴木 直人		(株)信州さがみ典礼 アドバイザー
69	台所及び食卓用品	食器	横田 一尊		(株)横文本店 代表取締役会長
		業務用食器	内藤 太郎		(有)内藤陶器店 代表取締役社長
70	団体及び組合	経済団体		未充填	
73	通信事業	電話事業			NTT東日本(株) 長野支店
		情報通信			
76	電気工業	電気事業	池田 明弘		中部電力パワーグリッド(株) 長野副支店長
		電気器具卸	高見澤 洋		昭和電機産業(株) 取締役執行役員 業務統括部長
		電気情報サービス	若林 順平		デンセンホールディングス(株) 代表取締役社長
77	電子工業	通信装置卸		未充填	
		コンピューター・ソフトウェア	神津富治男		炭平コンピューターシステム(株) 顧問
81	日用品雑貨	日用品雑貨卸		未充填	
83	農機具工業	農機具小売	渡辺 敬六		ミツワヤンマー(株) 会長
85	履物	靴小売		未充填	
86	百貨店・スーパーマーケット ・及び市場	食品卸	仁科 恵敏 仁科 圭右		(株)マルイチ産商 名誉会長 (株)マルイチ産商 取締役常務執行役員社長補佐
		土産物	久保田一臣		(株)タカチホ 代表取締役社長
		青果市場		未充填	
89	ビジネスサービス 及び自由業	税理士 (税務代理)		未充填	
		人材派遣業	緒方 誠		(株)グレート長野 代表取締役社長
90	美容・理容 及び化粧品	化粧品小売		未充填	

グループ名		職業分類・細分類	会 員 名		事 業 名
91	不 動 産	不 動 産 業 ア パ ー ト	倉 石 智 典		(株)MY ROOM 代表取締役
95	放 送	不 動 産 賃 貸 民 間 放 送	田 中 清 一 中 村 幸 司		田中産業(株) 代表取締役社長 信越放送(株) 取締役
96	法 律	民 間 テ レ ビ ジ ョ ン 司 法 書 士	津 川 章 久	未充填	長野朝日放送(株) 取締役
97	保 険	弁 護 士 一 般 保 険	永 井 真 介	未充填	永井法律事務所 所長
		生 命 保 険	谷 拓 也		第一生命保険(株) 長野総合支社 支社長
		損 害 保 険	東 村 智 司		東京海上日動火災保険(株) 理事 長野支店長
98	ホテル・旅館及び 飲 食 店	保 険 代 理 業 ホ テ ル	加 藤 久 美 子	未充填	ホテル国際21(株) 常務取締役総支配人
			小 山 聡		(株)ホテルメトロポリタン長野 取締役 管理本部長
101	窯 業	日 本 料 理 陶 磁 器 小 売	吉 田 武 史	未充填	(株)うなぎの宿 住吉 取締役
103	冷 暖 房	冷 暖 房	萩 原 勝		(株)三京 代表取締役
105	レクリエーション	イベント施設提供業		未充填	

充 填 分 類 50

未充填分類 46

会 員 57名

前 年 度 報 告

クラブ会長報告

2025－2026年度 会長 袖山 榮輝

2025－2026年度は「よいことのために手を取り合おう」と邦訳されたRI会長のメッセージ“UNITE FOR GOOD”を念頭に、活動の軸足を私たちの地元長野をより深く知り、より愛着を抱くことに置き、「この街のロータリアン この街にロータリアン」というテーマを掲げました。

例会での会長報告では長野の街の歴史や文化の面を深掘りすることに努め、またそうした視点に沿ってゲストスピーカーをお招きました。夜間例会などの懇親会においては会員同士の交流がより一層深まるよう工夫を凝らし、さらに職場例会では東京豊洲の東京ガスの関連施設と芝の増上寺まで足を延ばし、豊洲における新たな街づくりや修理中の増上寺三門の内部を見学させていただき大いに知見を深めることができました。また次年度の当クラブ創立60周年を控え、記念事業の企画、準備を進め、5月には記念事業の第一弾として京都旅行を実施しました。

当会活動の伝統でもある青少年奉仕活動も以下のとおり継続的に、かつ積極的に展開しました。

1. 文化学園長野中・高校インターアクトクラブの支援

インバウンドの外国人との接触と交流を目的とし、2024－2025年度にスタートした「HELLO NAGANOプロジェクト」を引き続き支援し、活動の現場を積極的に見守った。また情報誌『食旅』に関連ページを掲載していただいた。

2. 青少年交換留学生の受け入れ

8月にフランスからエデンさんが来日し、長野西高校が受け入れてくださり、当クラブでは3つのご家庭がホストファミリーを務めました。

3. 米山記念留学生の受け入れ

信州大学大学院生で中国からの留学生、郎君の世話クラブを務め、国内の有名自動車メーカーへの就職を見届け、引き続き同じく信州大学大学院生、マレーシア出身のチン・ワン・ジーさんの世話クラブとなりました。

年度当初に掲げた4つの重点項目のうち、1.「交換留学生の送り出し・受け入れをよい機会と捉えD.E.I.について理解を深める」、2.「HELLO NAGANOプロジェクトをさらに充実させる」、3.「次年度大事業の準備を遅滞なく進める」については一定の成果が得られたと考えます。4.「会員増強に努める」については、現状維持の状態ながら、若い世代の会員の力強い活動に今後の希望が見出せました。

(1) 奉仕活動

2025年7月8日	「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用防止運動支援金寄付	28,500円
2025年7月8日	善光寺の世界遺産登録をすすめる会	20,000円
2026年5月15日	ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク賛助金	5,000円

(2) 地区・グループ行事

2025年10月25日	北信第二グループI.M.・会員セミナー	18名
11月15・16日	第2600地区地区大会	8名
2025年3月21日	会長エレクトラニングセミナー（PELS）	1名
4月5日	クラブリーダーシップラーニングセミナー（オンライン）	9名
6月9日	第33回インターアクト地区大会	6名

(3) 親睦活動行事

例会

2025年6月18日	2024～2025年度最終例会 ホテル国際21「芙蓉の間」
7月30日	納涼会 ホテル国際21「ドーノ・ドーノ」
10月22日	創立記念例会 ホテルメトロポリタン長野「浅間」
12月17日	忘年家族例会 ホテル国際21「千歳の間」
2026年1月21日	新年例会 ホテルメトロポリタン長野「浅間」
4月8日	観桜会 ホテル国際21「ブーランジェ」
5月9日	市内6RC親睦ゴルフコンペ 長野カントリークラブ
6月17日	2025～2026年度最終例会 ホテルメトロポリタン長野「浅間」

同好会

イーストワンゴルフ	2025年10月15日（水）	2026年4月26日（日）
-----------	----------------	---------------

(4) 出席率（％）

2025～2026年度

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
70.50	69.53	70.68	81.60	84.74	77.96	88.13	66.10	75.70	84.31	80.50	84.74

(5) 卓話

〈ゲスト卓話〉

月 日	演 題	講 演 者
2025		
7.9	平成の武井神社大絵馬奉納プロジェクト ～自分たちの手でつくる歴史と未来～	株式会社シーンデザイン建築設計事務所 代表取締役 宮本 圭様
8.20	高倉健と五代前のおばあさま	堀井 正子様
12.24	私の研究について	米山記念奨学生 郎 晟鈞さん
2026		
3.11	如是姫まつりについて	協同組合ナガノ駅前センター 理事 北村 泰邦様
4.22	絵解き 荊萱道心と石童丸御親子御絵伝	刈萱山寂照院 西光寺 竹澤 環江様
5.27	往生寺参らずは善光寺片参り？	安楽山菩提院 往生寺 住職 水野 善文様

〈会員卓話〉

月 日	演 題	講 演 者
2025		
7.16	最近の電力事情について	池田 明弘君
8.27	第一生命と社会貢献活動について	谷 拓也君
9.10	ブラタモリ好きの土建屋が思う 長野での災害への備え	鹿熊 聡君
12.10	あなたの知らないユニフォームの世界	夏目慶太郎君
2026		
3.25	地域とつながるテレビでつながる	津川 章久君

長野東ロータリークラブ定款

第1条 定義

1. 理事会： 本クラブの理事会
2. 細則： 本クラブの細則
3. 理事： 本クラブ理事会の理事
4. 会員： 名誉会員以外の本クラブ会員
5. RI： 国際ロータリー
6. 衛星クラブ： 潜在的クラブ。その会員はいずれかのクラブの会員でもある
7. 書面： 文書化が可能なコミュニケーション。通信手段は問わない。
8. 年度： 7月1日に始まる12カ月間

第2条 名称

本会は、長野東ロータリークラブとする。(国際ロータリー加盟会員)

第3条 クラブの目的

本クラブの目的は、次の通りである。

- (a) 「ロータリーの目的」の達成を目指すこと
- (b) 五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施すること
- (c) 会員増強を通じてロータリーの発展に寄与すること
- (d) ロータリー財団を支援すること
- (e) クラブレベルを超えたリーダーを育成すること

第4条 クラブの所在地域

本クラブの所在地域は、次の通りである：長野市全域
(2002年12月31日 国際ロータリー承認)

第5条 目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

第6条 五大奉仕部門

ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実質的な規準である。

1. 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。
2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道德的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。
3. 奉仕の第三部門である社会奉仕は、地域社会における積極的平和を目指すことにより、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。
4. 奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその

文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、積極的平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。

5. 奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、積極的世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

第7条 会合

第1節 例会。

- (a) 日および時間。本クラブは、細則に定められた日および時間に、定期の週の会合を開くものとする。
- (b) 会合の方法。例会は、直接顔を合わせるか、電話で、オンラインで、またはオンラインの参加型の活動を通じて開催することができる。参加型の会合は、参加型の活動が掲載される日に開かれるとみなされるものとする。
- (c) 会合の変更。正当な理由がある場合、理事会は、例会を、前回から次回の例会の間のいずれかの日、定例日の他の時間、または他の場所に変更することができる。
- (d) 取消。例会日が以下にあたる場合、理事会は、例会を取りやめることができる。
 - (1) 祝日にあたる場合、またはその週に祝日が含まれる場合
 - (2) 会員の葬儀の場合
 - (3) 全地域社会にわたる流行病もしくは災害が発生した場合、または
 - (4) 地域社会での武力紛争がある場合理事会は、ここに列記されていない理由であっても、1年に4回まで例会を取りやめることができるが、3回を超えて続けて例会を取りやめてはならない。
- (e) 衛星クラブの例会（該当する場合）細則により定められている場合、衛星クラブは、会員により定められた場所と日時において、毎週1回、定期の会合を開くものとする。例会の日、時間、場所は、本条第1節(c)と同様の方法で変更できる。衛星クラブの各会合は、本条第1節(d)の理由によって取りやめることができる。投票手続は細則の規定通りである。
- (f) 例外。細則には、本節に従わない規定を含めることができる。ただし、クラブは少なくとも月に2回、例会を行わなければならない。

第2節 年次総会。

- (a) 役員を選挙するため、現年度の収入と支出を含む中間報告および前年度の財務報告を発表するための年次総会は、細則の定めるところに従い、毎年12月31日までに開催されるものとする。
- (b) 衛星クラブは、衛星クラブのための役員を選挙するため、12月31日の前に年次総会を開催するものとする。

第3節 理事会の会合。

理事会のすべての会合後30日以内に、書面による議事録を全会員が入手できるようにすべきである。

第8条 会員身分

第1節 全般的資格条件。

本クラブは、善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、事業、専門職務、および／または地域社会でよい評判を受けており、地域社会および／または世界において奉仕する意欲のある成人によって構成されるものとする。

第2節 種類。

本クラブの会員の種類は正会員および名誉会員の2種類とする。本条第7節に従って、クラブは他の会員の種類を設けることができる。これらの会員は正会員または名誉会員としてRIに報告される。

第3節 正会員。

RI定款第4条第2節(a)の資格条件を有する者は、クラブの正会員に選ぶことができる。

第4節 衛星クラブの会員。

本クラブの衛星クラブの会員はいずれかのクラブの会員でもあり、これは衛星クラブがロータリークラブとしてRIから加盟が認められるまで続く。

第5節 二重会員の禁止。

いかなる会員も、同時に、

- (a) 本クラブと、いずれかのクラブの衛星クラブ以外の別のクラブに所属することはできない、または
- (b) 本クラブにおいて、名誉会員になることはできない。

第6節 名誉会員。

本クラブは、理事会が決定した存続期間で名誉会員を選ぶことができる。名誉会員は以下の資格を満たすもの

とする。

- (a) 会費の納入を免除される
- (b) 投票権を持たない
- (c) クラブのいかなる役職にも就かないものとする。
- (d) 職業分類を持たないものとする。
- (e) 本クラブのあらゆる会合に出席することができ、その他クラブのあらゆる特典を享受することができるが、他のクラブにおいてはいかなる権利または特典も持たないものとする。ただし、ロータリアンの来賓としてではなく訪問することはできる。

第7節—例外。

細則には、第8条第2節および第4～6節に従わない規定を含めることができる。

第9条 クラブの会員構成

第1節—一般規定。

各会員は、その事業、専門職務、職業、または社会奉仕に従って分類されるものとする。職業分類は会員の会社、企業、団体の主要かつ一般世間が認めている事業活動を示すものか、本人の主要かつまた一般世間が認めている事業または専門職務を示すものか、本人の社会奉仕活動の種類を示すものとする。理事会は、会員が役職、専門職務、または職業を変更する場合、会員の職業分類を修正することができる。

第2節—多様なクラブ会員基盤。

本クラブの会員基盤は、年齢、性別、および民族的多様性を含め、地域社会の事業、専門職務、職業、および市民組織の多様性を表すものであるべきである。

第10条 出席

第1節—一般規定。

各会員は本クラブの例会、あるいは衛星クラブの例会に出席し、本クラブの奉仕プロジェクト、行事、およびその他の活動に参加するべきである。会員が、ある例会に出席したものとみなされるには、

- (a) その例会時間の少なくとも60パーセントに直接、電話で、またはオンラインで出席する。
- (b) 会合出席中に不意にその場を去らなければならなくなり、その後退席が妥当であると示す十分な理由をクラブ理事会に提示する。
- (c) クラブのウェブサイトにて例会が掲載されてから1週間以内に定例のオンラインの会合または参加型活動に参加する、または
- (d) 次のような方法で同じ年度に欠席をメイクアップする：
 - (1) 他のロータリークラブ、仮クラブ、または他のロータリークラブの衛星クラブのいずれかの例会の少なくとも60パーセントに出席すること。
 - (2) 他クラブまたは他クラブの衛星クラブの例会に出席の目的をもって定刻に会場に赴いたとき、当該クラブが、定例の時間または場所において例会を開いていなかった場合。
 - (3) 理事会承認のクラブの奉仕プロジェクトまたはクラブが提唱した地域社会の行事や会合に出席すること。
 - (4) 理事会の会合、または理事会が承認した場合、選任された奉仕委員会の会合に出席すること。
 - (5) クラブのウェブサイトを通じて、オンラインの会合または参加型活動に参加すること。
 - (6) ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、ロータリー地域社会共同隊、ロータリー親睦活動、あるいは仮ローターアクトクラブ、仮インターアクトクラブ、仮ロータリー地域社会共同隊、仮ロータリー親睦活動の例会に出席すること。または
 - (7) RI国際大会、規定審議会、国際協議会、ロータリー研究会、RI理事会またはRI会長の承認を得て招集された会合、合同ゾーン大会、RI委員会会合、地区大会、地区研修・協議会、RI理事会の指示の下に開催された地区会合、ガバナーの指示の下に開催された地区委員会、または正式に公表されたクラブの都市連合会に出席すること。

第2節—遠方での勤務中の長期の欠席。

会員が長期にわたって遠方で業務に従事している場合、会員の所属クラブと転勤先の指定クラブが合意していれば、会員は、転勤先における指定クラブの例会への出席が所属クラブの出席の代わりとなる。

第3節—その他のロータリー活動による欠席。

欠席のメイクアップが必要とされないのは、会合のときに、会員が

- (a) 第1節(d)(7)に挙げた会合の一つに出席するため、適切な直行日程による往復の途次にある場合。
- (b) 役員またはRI委員会の委員、TRF管理委員として、ロータリーの職務に携わっている場合。
- (c) ガバナーの特別代表として、新クラブ結成中、ロータリーの職務に携わっている場合。

- (d) RIに雇用されている者が、ロータリーの職務に携わっている場合。
- (e) メークアップすることができないような僻遠の地で、地区、RI、またはTRFの提唱する奉仕プロジェクトに直接かつ積極的に従事している場合。または
- (f) 理事会が正当に承認したロータリー職務に従事していて、例会に出席できない場合。

第4節—RI役員の欠席。

会員が現役のRI役員または現役のRI役員の配偶者／パートナーである場合、出席規定の適用は免除されるものとする。

第5節—出席規定の免除。

次のような場合、出席規定の適用は免除されるものとする。

- (a) 理事会は、正当かつ十分な理由、条件、および状況によるものを承認する。このような出席規定の適用の免除は、最長12カ月間までとする。ただし、健康上の理由、子どもの誕生または養子縁組の後、または里親期間中に欠席となる場合は、理事会が当初の12カ月を超えて延長することができる。
- (b) 一つまたは複数のロータリークラブのロータリー歴と会員の年齢の合計が85年以上であり、少なくとも20年のロータリアン歴があり、出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもって、クラブ幹事に通告し、これらの要件が満たされているかのみが考慮に入れられた場合。

第6節—出席の記録。

本条第5節(a)の下に出席規定の適用を免除された会員がクラブ例会を欠席した場合、その会員と会員の欠席は、出席記録に含まれないものとする。本条第4節または第5節(b)の下に出席規定の適用を免除された会員がクラブ例会に出席した場合、その会員と会員の出席は、本クラブの出席率の算出に使う会員数と出席者数に含まれるものとする。

第7節—例外。

細則は、第10条に従わない規定を含めることができる。

第11条 理事および役員および委員会

第1節—管理主体。

本クラブの管理主体は、細則に規定される理事会である。

第2節—権限。

理事会は全役員および全委員会に対して総括的管理権を持ち、正当な理由がある場合は、そのいずれをも罷免することができる。

第3節—理事会による最終決定。

クラブのあらゆる事項に関して、理事会の決定は最終的なものであって、クラブに対して提訴する以外にはこれを覆す余地はない。しかしながら、理事会が会員身分の終結の決定をした場合、会員は第13条第6節の規定に従って、クラブに提訴するか、調停または仲裁に訴えることができる。理事会の決定を覆すための提訴は、理事会が指定した例会において、定足数の出席を得て、その出席会員の3分の2の投票を必要とする。そして、当該例会の少なくとも5日前に、幹事が当該提訴の予告を各会員に対して与えていなければならない。提訴に対するクラブの決定が最終決定である。

第4節—役員。

クラブの役員は、会長、直前会長、会長エレクト、幹事、会計とし、1名または数名の副会長も役員に含めることができ、これら全員を理事会メンバーとする。また、会場監督もクラブ役員であるが、細則が定める場合、理事会のメンバーとすることができる。各役員と理事は、本クラブの瑕疵なき会員であるものとする。クラブ役員は定期的に衛星クラブの例会に出席するものとする。

第5節—役員の選挙。

- (a) 会長を除く役員の任期。各役員はクラブ細則の定めるところに従って選挙されるものとする。会長を除き、各役員は選挙された直後の7月1日に就任し、選挙された任期中または後任者が選挙されかつ適格となるまで在任する。
- (b) 会長の任期。会長ノミニーは、細則の定めるところに従って、会長として就任する日の直前18カ月以上2年以内に選挙されるものとする。会長ノミニーは、会長として就任する前の年度の7月1日に、会長エレクトになる。会長は、7月1日に就任し、1年間、その職務に当たる。後任者が選挙されない場合、現会長の任期は最長1年間延長される。
- (c) 会長の資格要件。クラブ会長の候補者は、ガバナーが1年未満であってもこの要件を満たしていると判断しない限り、指名に先立つ少なくとも1年間、本クラブの会員でなければならない。会長エレクトは、ガバナーエレクトから特に免除されない限り、会長エレクト研修セミナーと地区研修・協議会に出席するものとする。免除された場合は、会長エレクトがクラブから代理の者を派遣するものとする。会長エレクトが、ガバナーエレクトからの免除を受けずに、会長エレクト研修セミナーおよび研修・協議会に

出席しない場合、あるいは、免除されてもクラブの代理をこれらの会合に派遣しなかった場合、かかる会長エレクトはクラブ会長に就任しないものとする。その場合、会長エレクト研修セミナーおよび研修・協議会、もしくはガバナーエレクトが十分であるとみなした研修に出席した後任者が選挙されるまで、現会長が継続してクラブ会長を務めるものとする。

第6節 本クラブの衛星クラブの組織運営。

- (a) 衛星クラブの監督。本クラブは、理事会が適切とみなす一般的な監督と支援を、衛星クラブに提供するものとする。
- (b) 衛星クラブの理事会。日々の運営のため、衛星クラブの理事会を毎年選出するものとする。この理事会は会員から選ばれ、細則の定めるところに従って、衛星クラブの役員および4～6名のその他の会員により構成される。衛星クラブの最高役員は議長（chair）であり、その他の役員は、直前議長、議長エレクト、幹事、会計とする。衛星クラブ理事会は、本クラブの指導の下、ロータリーの規定、要件、方針、目標、目的に従って、衛星クラブの日々の運営とクラブ活動の管理を担うものとする。本クラブ内または本クラブに対して、いかなる権限も持たない。
- (c) 衛星クラブの報告手続。衛星クラブは、毎年、クラブ会員と、クラブの活動およびプログラムに関する報告書を本クラブの会長と理事会に提出するものとする。この報告書には、財務諸表と監査または審査済みの会計報告を添付するものとし、これらは、本クラブの年次総会に向けた報告書に含まれる。また、本クラブからの要請に応じて、その他の報告書を随時提出する。

第7節 委員会。

本クラブは次の委員会を有すべきである。

- (a) クラブ管理運営
- (b) 会員増強
- (c) 公共イメージ
- (d) ロータリー財団、および
- (e) 奉仕プロジェクト

理事会または会長は、必要に応じて追加の委員会を任命できる。

第12条 会費

すべての会員は、細則の定める年会費を納入するものとする。

第13条 会員身分の存続

第1節 期間。

会員身分は、以下に定めるところによって終結しない限り、本クラブの存する間存続するものとする。

第2節 自動的終結。

会員が、会員資格条件に欠けるようになったとき、会員身分は自動的に終結するものとする。

- (a) 再入会。瑕疵なき会員の会員身分が終結した場合、その人物は同じ職業分類または別の事業、専門職務、職業、社会奉仕、その他の職業分類の下に再度新たに入会申込をすることができる。
- (b) 名誉会員の会員身分の終結。名誉会員の会員身分は、延長されない限り、理事会が決定した期間の終了をもって自動的に終結する。理事会はいつでも名誉会員身分を取り消すことができる。

第3節 終結 会費不払。

- (a) 手続。期日後30日以内に会費を納入しない会員に対しては、幹事が、書面をもって催告するものとする。催告後10日以内に会費が納入されなければ、理事会はその裁量によって会員身分を終結することができる。
- (b) 復帰。理事会は、元会員が要請し、クラブに対するすべての負債を支払った場合、元会員を会員身分に復帰させることができる。

第4節 終結 欠席。

- (a) 出席率。会員は、
 - (1) メークアップを含むクラブ例会または衛星クラブ例会の出席率が少なくとも50パーセントに達しているか、年度の各半期間にクラブのプロジェクト、行事、その他の活動に少なくとも12時間参加しているか、または、バランスの取れた割合でその両方を満たしていなければならない。および
 - (2) 年度の各半期間に、本クラブまたは衛星クラブの例会総数のうち少なくとも30パーセントに出席、またはクラブのプロジェクト、行事、その他の活動に参加しなければならない（RI理事会によって定義されたガバナー補佐は、この義務を免除されるものとする）。規定通り出席できない会員は、理事会が正当かつ十分な理由があると認めない限り、会員身分を終結されることがある。

- (b) 連続欠席。理事会が正当かつ十分な理由があると認めない限り、または第10条第4節もしくは第5節に従う場合を除き、連続4回例会に出席せず、またメイクアップもしていない場合、その欠席がクラブ会員身分の終結を要請していると考えることができる。理事会が会員に通知した後、理事会は、過半数によって、会員の会員身分を終結することができる。
- (c) 例外。細則は、第13条第4節に従わない規定を含めることができる。

第5節—終結—その他の理由。

- (a) 正当な理由。理事会は、いずれの会員も、クラブの会員としての資格条件に欠けるようになった場合、もしくは他に十分と認められる根拠があれば、特にその目的のために招集された理事会の会合において、出席し投票した全理事の3分の2以上の賛成投票によって、その会員身分を終結することができる。本会合の指針となる原則は、第8条の第1節、「四つのテスト」、およびロータリアンの高い倫理基準とする。
- (b) 通知。理事会が本節(a)項の下に決定する前に、当該会員は、少なくとも10日間の予告を書面によって与えられ、理事会に対して書面にて回答する機会を与えられるものとする。かかる予告の通達は、配達証明便または書留郵便によって、分かっている最新の宛先に送付されるものとする。会員は、理事会に出頭して、自分の立場を釈明する権利を持つ。

第6節—会員身分の終結に提訴、調停または仲裁を求める権利。

- (a) 通知。幹事は、理事会決定後7日以内に、その理事会の会員身分を終結または保留させる決定を、書面で会員に通知するものとする。その会員は通告後14日以内に、幹事に対する書面をもって、クラブに提訴するか、または調停もしくは仲裁に訴えるかを通告することができる。調停または仲裁の手続は第17条に規定されている。
- (b) 提訴。提訴する場合は、提訴を通告する書面を受理してから21日以内に行われるクラブの例会において、当該聴聞を行うために、理事会はその日取りを決定するものとする。例会およびその例会で行う特別案件について、少なくとも5日間の予告が、書面をもって、全会員宛に与えられるものとする。提訴が聴聞される場合には、会員のみが出席するものとする。クラブの決定が最終決定であり、当事者すべてに拘束力のあるものとなり、仲裁を要求することはできない。

第7節—理事会による最終決定。

もしクラブに対する提訴も行われず、仲裁も要求されなかった場合、理事会の決定は最終決定となるものとする。

第8節—退会。

会員の本クラブからの退会の申出は会長または幹事宛に書面をもって行うものとする。理事会がその申出を受理するものとする。ただし、当該会員が本クラブに負債がある場合を除く。

第9節—資産関与権の喪失。

いかなる理由にせよ、本クラブの会員身分を終結された者は、本クラブに入会した時点で地元の法律の下でその会員が何らかの権利を得ていた場合、本クラブのいかなる資金またはその他の財産に対しても、あらゆる関与権を喪失するものとする。

第10節—一時保留。

本定款のいかなる規定にもかかわらず、理事会の見解において、

- (a) 会員が、本定款に従うことを拒否または怠った、あるいは会員としてふさわしくない振舞い、またはクラブに害をもたらすような振舞いをしたという信憑性のある告発がある場合、および、
- (b) これらの告発が立証された場合、当該会員の会員身分を終結するのに正当な理由となる場合、および、
- (c) 当該会員の会員身分に関していかなる措置も取るべきではなく、その結果を待つ間、または理事会が適切と考える措置が最初に取りられるべきである場合、および、
- (d) 当該会員の会員身分に対する票決を取ることなく、当該会員の会員身分を一時保留とし、当該会員が例会やその他のクラブの活動への出席や、いかなる役職や任務からも除外することがクラブの最善の利益となる場合、

理事会は、その3分の2以上の賛成票によって、理事会の決定する妥当な期間（ただし最大90日間）と理事会が定めたその他の条件に従い、会員の会員身分を一時保留とすることができる。一時保留とされた会員は、本条第6節に定められる通り、一時保留について提訴する、または調停や仲裁を求めることができる。一時保留期間中、当該会員は出席要件を免除されるものとする。理事会は、一時保留期間が終了する前に、一時保留となっているロータリアンの会員身分を終結する手続きを取るか、通常の会員身分に復帰させなければならない。

第14条 地域社会、国家、および国際問題

第1節—適切な主題。

地域社会、国家および世界の福祉にかかわる公共問題は、クラブ会合における公正かつ理解を深める討議の対

象として適切な主題である。しかしながら、クラブは、いかなる係争中の公共問題についても意見を表明しないものとする。

第2節－支持の禁止。

本クラブは、公職に対するいかなる候補者も支持または推薦しないものとする。またいかなるクラブ会合においても、かかる候補者の長所または短所を討議しないものとする。

第3節－政治的主題の禁止。

- (a) 決議および見解。本クラブは、政治的性質をもった世界問題または国際政策に関して、決議ないし見解を採択したり配布したりしないものとする。またこれに関して行動を起こさないものとする。
- (b) 嘆願。本クラブは、政治的性質をもった特定の国際問題の解決のために、クラブ、国民、政府に対して嘆願しないものとする。また書状、演説、提案を配布しないものとする。

第4節－ロータリーの発祥を記念して。

ロータリーの創立記念日、2月23日の週は、世界理解と平和週間である。この1週間、本クラブはロータリーの奉仕を祝い、これまでの業績を振り返り、地域社会と世界中で平和、理解、親善のためのプログラムに重点を置く。

第15条 ロータリーの雑誌

第1節－購読義務。

本クラブがRI理事会によって免除されていない限り、各会員は、機関雑誌を購読するものとする。同じ住所に住む二名のロータリアンは、機関雑誌を合同で購読することができる。購読は本クラブの会員となっている限り継続し、購読料は理事会が決定した人頭分担金の支払日に支払われるものとする。

第2節－購読料。

購読料は、クラブが各会員から事前に徴収し、RIまたはRI理事会が決定した通り、購読する地域雑誌の事務所に送金するものとする。

第16条 ロータリーの目的の受諾と定款・細則の順守

会員は、会費を支払うことによって、ロータリーの目的の中に示されたロータリーの原則を受諾し、クラブ定款・細則を順守し、これに拘束されることを受諾する。これらの条件の下においてのみ、会員は、本クラブの特典を受けることができる。各会員は、クラブ定款・細則の文書を受け取ったかどうかにかかわらず、定款・細則の条項に従うものとする。

第17条 仲裁および調停

第1節－意見の相反。

現会員または元会員と本クラブ、クラブ役員、または理事会との間の意見の食い違いは、理事会の決定を除き、論争当事者のいずれかが幹事に要請し、調停または仲裁によって解決を図るものとする。

第2節－調停または仲裁の期限。

要請を受理してから21日以内に、理事会は論争当事者と協議して、調停または仲裁の日取りを決定するものとする。

第3節－調停。

調停の手続きは、

- (a) 国もしくは州に対し管轄権を有する関係当局によって認められたもの、または
- (b) 代替の争議の解決方法を含む専門知識に定評のある優れた専門職団体によって推薦されたもの、または
- (c) RI理事会もしくはTRF管理委員会が定めた指針文書において勧められるものとする。

ロータリアンのみが調停人となることができる。クラブは、適切な調停技能と経験を有する調停人を任命するようガバナーもしくはガバナーの代理人に依頼することができる。

- (a) 調停の結果。調停後に論争当事者が合意に達した結果もしくは決定は、記録されるものとし、各当事者、調停人、および理事会に記録を1部ずつ提出するものとする。クラブへの情報提供のために、当事者が承諾できる要約文を作成するものとする。論争当事者の一者が調停内容を十分に履行しなかった場合、いずれの論争当事者も会長または幹事を通じて、さらに調停を要請することができる。
- (b) 調停の失敗。調停を要求したが、調停が失敗した場合、論争当事者は本条の第1節に定める仲裁に訴えることができる。

第4節－仲裁。

仲裁が要求された場合、両論争当事者はそれぞれ1名のロータリアンを仲裁人として指定し、両仲裁人は1名のロータリアンを裁定人として指定するものとする。

第5節―仲裁人または裁定人の決定。

仲裁人によって下された決定もしくは両仲裁人が合意に達し得なかった場合、裁定人による決定が最終であって、当事者すべてに拘束力のあるものとなり、提訴することはできない。

第18条 細則

本クラブは、RI定款・細則、RIによって管理上の地域単位が認められている場合には、その手続規則、および本定款と合致する細則を採用するものとし、細則は、本クラブの管理のために、さらに追加規定を設けるものとする。細則は、その規定に従い、改正することができる。

第19条 改正

第1節―改正の方法。

本条第2節に規定されている場合を除き、本定款は、規定審議会における投票者の過半数の賛成票によってのみ改正できる。

第2節―第2条と第4条の改正。

第2条（名称）および第4条（クラブの所在地域）は、定足数を満たした数の会員が出席したクラブの例会においていつでも、全投票会員の最低3分の2の賛成投票によって、改正することができる。改正案の通告は、その例会の少なくとも21日前に、各会員およびガバナーに郵送されるものとする。改正は、RI理事会に提出するものとし、承認された時に初めてその改正は効力を発する。ガバナーは、提出された改正案に関してRI理事会に意見を提供することができる。

附則 施行期日

- 1 標準ロータリークラブ定款の改正（2022年6月）により、国際ロータリー細則2.030.に基づき本定款を改正し、2023年1月18日から施行する。

2023年1月18日 全面改正

長野東ロータリークラブ細則

第1条 定義

1. 理事会： 本クラブの理事会
2. 理事： 本クラブの理事
3. 会員： 名誉会員以外の本クラブ会員
4. 定足数： 投票時に出席していなければならない会員の最低人数。クラブの決定の場合は本クラブ会員総数の3分の1、クラブ理事会の決定の場合は理事の過半数。
5. R I： 国際ロータリー
6. 年度： 7月1日に始まる12カ月間

第2条 役員および組織

第1節 役員の種類

定款第11条第4節に定める会長、直前会長、会長エレクト、副会長、幹事、会計の他、会場監督（S A A）、常設委員会の委員長、監事を役員とする。また、理事会の決定により本クラブに必要な役員を置くことができる。

第2節 理事および理事会

第1項 定款第11条第4節に定める会長、直前会長、会長エレクト、副会長、幹事、会計の他、会場監督（S A A）および常設委員会の委員長を理事とする。

第2項 理事会は、理事をもって構成される。尚、会長ノミニー、監事、本クラブに所属する地区役員、その他理事会に招請された者は、理事会に出席し意見を述べることができる。

第3節 役員の任務

1. 会長はクラブを代表し、運営を総理する。また、会合において議長を務める。
2. 直前会長は運営等に関する諮問に応じる。
3. 会長エレクトは必要な研修を履修し、会長就任に向けて準備を整える。
4. 副会長は、会長の職務を代理する。また、会長不在の場合は会合において議長を務める。
5. 幹事は、会長を補佐し、運営を管理する。また、会合において必要な報告と記録を行う。
6. 会計は、資金を監督し、財務を管理する。また、会合において必要な報告を行う。
7. 監事は、資金および財務を監査する。
8. 会場監督（S A A）は、例会を司り、秩序を維持する。
9. 常設委員会の委員長は、委員会を管理する。また、活動を分掌し会合において必要な報告を行う。

第4節 役員の任期

第1項 役員の任期は1年間とする。尚、再任を妨げない。ただし、会長の再任は1年間に限るものとする。

第2項 役員が辞任した場合、または次期役員が欠員した場合、理事会により後任者を選任する。尚、任期は前任者の残任期間とする。

第5節 役員の選挙および選出

第1項 会長ノミニーは11月の第4回年次総会において立候補を求める。立候補者が複数の場合に会長は12月の第5回年次総会において選挙を実施し、会長ノミニーを選出する。

第2項 会長ノミニーの立候補者が1人または立候補者が無い場合、会長は次期役員候補指名委員会を招集し、立候補者または会員より推薦された者の審査および指名を求める。

第3項 次期副会長、次期幹事、次期会計は、8月の第2回年次総会において立候補を求める。立候補者が複数の場合に会長は9月の第3回年次総会において選挙を実施し、次期副会長、次期幹事、次期会計を選出する。

第4項 次期副会長、次期幹事、次期会計の立候補者がそれぞれ1人または立候補者が無い場合、会長は次期役員候補指名委員会を招集し、立候補者または会員より推薦された者の審査および指名を求める。

第5項 その他の次期役員は、会長、会長エレクト、幹事、次期幹事の協議により原案を作成し、12月の第5回年次総会に諮り決定する。

第6節 常設委員会

定款第11条第7節に基づき、クラブに常設委員会を置く。尚、理事会または会長は、定款に定められた常設委員会の一部を置かないことができる。その場合、その常設委員会が分掌すべき活動を理事会が担うものとする。

第3条 会合

第1節 年次総会

第1項 開催時期と議事

1. 第1回年次総会は、7月に開催されるものとする。この年次総会では前年度の収支決算の報告および当該年度の収支予算を発表し承認を求める。
2. 第2回年次総会は、8月に開催されるものとする。この年次総会では次期副会長、次期幹事、次期会計について立候補を求める。また、次期役員候補指名委員会の人選について承認を求める。
3. 第3回年次総会は、9月に開催されるものとする。この年次総会では次期副会長、次期幹事、次期会計について選挙または選出し、承認を求める。
4. 第4回年次総会は、11月に開催されるものとする。この年次総会では会長ノミニーについて立候補を求める。また、次期役員候補指名委員会の人選について承認を求める。
5. 第5回年次総会は、12月に開催されるものとする。この年次総会では会長ノミニーについて選挙または選出し、承認を求める。また、すべての次期役員を選出し、次年度組織を決定する。

第2項 開催時期の変更

相当の理由がある場合、理事会の決定により年次総会の時期を変更することができる。ただし、定款第7条第2節(a)に定める日より遅らせて開催することはできない。

第2節 臨時総会

理事会の決定により、臨時総会を開催することができる。

第3節 定例理事会

定例理事会は、毎月第1例会に併せて開催されるものとする。

第4節 臨時理事会

会長または2名以上の理事から請求があるとき、臨時理事会を開催することができる。この場合、すべての理事に然るべく通知されなければならない。

第5節 例会

本クラブの毎週の例会は水曜日12時30分に開催するものとする。ただし、理事会の決定により日時の変更および開催を取り消すことができる。この場合、すべての会員に然るべく通知されなければならない。

第6節 次期役員候補指名委員会

役員の選挙において、立候補者が1人あるいは無い場合、会長は次の通り次期役員候補指名委員会を招集しなければならない。

- ・次期役員候補指名委員会 ※次期副会長、次期幹事、次期会計の選出（開催期限8月末日）
- ・次期役員候補指名委員会 ※会長ノミニーの選出（開催期限11月末日）

次期役員候補指名委員会において審査を経て指名された者は、選挙することなく役員に選出される。

第7節 常設委員会、その他委員会

委員長は、活動の企画立案等を協議するため委員会を招集し開催する。

第4条 会費および入会金

第1節 会費

本クラブの会費は、年額280,000円とする。会費は、毎年7月1日および1月1日までに半額ずつ納入すべきものとする。尚、会費にはR I 人頭分担金、機関雑誌の購読料、地区賦課金、その他の賦課金が含まれる。

第2節 特別会費

本クラブの特別会費は、年額20,000円とする。特別会費は、毎年7月1日および1月1日までに半額ずつ納入すべきものとする。また、理事会の決定により、減額または徴収しないことができる。尚、特別会費は寄付金、義捐金等に充てることを目的とする。

第3節 入会金

本クラブの入会金は、50,000円とする。入会金は入会承認の通知を受けてから入会の日までに月割り計算された年会費と半年分の特別会費とともに納入すべきものとする。

第4節 既納会費の取り扱いと優遇措置

第1項 会員が退会する場合、理由の如何を問わず、既納の会費等は返還しない。

第2項 会員が所属する会社等の人事異動等により前任者が退会し、同一の会社等に所属する後任者の入会を理事会が認めた場合は、後任者は入会金を免除され、前任者が納入を済ませた会費およびその権利を引き継ぐことができる。但し、前任者の退会と後任者の入会までの期間は6ヶ月を限度とする。

第5条 採決の方法および決議

第1項 本クラブの議事は、口頭または挙手、拍手により採決を行う。ただし、選挙はその例外となり、投票

により行われる。理事会は、特定の決議を投票で採決するよう決定することができる。

第2項 本クラブの決議は、別に定めのある議事を除き、出席者の過半数の賛成をもって決定する。尚、議長は可否同数のときのみ表決権を行使する。

第3項 相当の理由がある場合、理事会の決定により、書面またはオンラインによる採決への参加および表決権の行使を認めることができる。

第6条 財務

第1項 理事会は、会計年度の開始に先立ち収支予算書を作成する。

第2項 会計は、理事会によって指定された一つまたは複数の金融機関にクラブ資金を預金する。また、クラブ資金は、クラブ運営用、寄付資金用、奉仕プロジェクト用に区別し、それぞれ口座を分けて預金する。

第3項 勘定書は、会計もしくは権限を持つ役員の承認を得たのち、事務局より金員を支出する。

第4項 監事は、すべての資金および財務処理について徹底した監査を行う。

第5項 前年度収支決算および当該年度の収支予算は、第1回年次総会で承認されたのち、年次財務報告書としてクラブ会員に配布される。

第6項 会計年度は、毎年7月1日から6月30日までとする。

第7条 入会審査の方法

第1項 入会を希望する者（以下、入会候補者という。）は、会員または名誉会員による推薦を付した入会申込書を事務局に提出する。推薦者は、入会候補者へロータリーの目的および会員の特典と義務について説明しなければならない。

第2項 幹事は、事務局が受理した入会申込書により、理事会に入会の可否を諮るものとする。理事会は、入会候補者の職業分類および定款第8条第1節に基づく資格条件等を満たしていることを確認するものとする。

第3項 理事会により資格条件を満たされていることを確認された入会候補者は、会員に発表され、発表から7日以内に、会員の誰からも理由を付記した書面による異議の申し立てがなかった場合は、入会を承認されたものとする。異議申し立てがあった場合は、直近の定例理事会において、票決を行い入会の承認または拒否を決定する。

第4項 理事会は、会員が所属する会社等の人事異動等により退会し、同一の会社等に所属する後任者の入会を求めた場合は、本条第3項の手続きを省き、入会を承認することができる。

第5項 理事会は、入会申込書を受理した日から60日以内に申し込みのあった入会候補者へ入会の承認または拒否を決定し、通知しなければならない。

第6項 入会を承認された入会候補者は例会に招かれ、第4条第3節に定める入会金等の納入をもって会員となる。

第7項 理事会は、新会員をいずれかの常設委員会に配属する。また、会長は、例会において新会員の入会式を行い、新会員に会員章および基本資料を提供する。幹事は、新会員に関する情報をR Iに報告する。

第8項 理事および理事会出席者は、入会審査で知り得た個人情報および審査経過を漏えいしてはならない。

第8条 名誉会員の推戴

第1項 理事会は、会長または2名以上の理事から名誉会員の推薦がある場合、定款第8条第6節により理事会が定める存続期間（在籍年数）および年齢、R Iと地区の役職歴、ロータリー財団または公益財団法人ロータリー米山記念奨学会等への貢献度などを総合的に勘案して、名誉会員への推戴を決定するものとする。

第2項 理事および理事会出席者は、名誉会員への推戴が否決された場合、名誉会員に推薦のあったことを含め、すべての情報を漏えいしてはならない。

第9条 記念事業および記念寄付

第1項 10月26日を創立記念日と定め、毎年10月に記念事業を行う。

第2項 創立から10周年毎に記念事業を行う。また、創立から5周年毎に公益財団法人ロータリー日本財団、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会等へ記念寄付を行う。

第10条 細則の改正

第1項 この細則の改正は、年次総会または臨時総会において決定する。尚、決定には出席会員の3分の2以上の賛成を必要とする。

第2項 細則の改正を提案する場合は、決議の10日前までに全ての会員へ改正案の書面もしくは電磁的データ

を提供しなければならない。

附則 施行期日

本細則は、2023年1月18日から施行する。

2023年1月18日 全部改正

長野東ロータリークラブ内規

(例会内規)

第1条 通常例会の進行順序は次の通りとする。但し、適宜変更できるものとする。

1. 開会宣言
 2. 点鐘
 3. ロータリーソング斉唱（毎月第1例会は国歌等を併せて斉唱）
 4. 来訪者（卓話スピーカー、ゲスト、ビジター）の紹介
 5. 食事
 6. 会長報告
 7. 表彰、地区委嘱等
（毎月第1例会は会員の誕生祝い、配偶者の誕生祝い、在籍賞表彰を実施）
 8. 幹事報告
 9. 出席報告
 10. ニコニコボックスの報告
 11. 委員会報告
 12. 新入会員、退会者、ゲスト、ビジター等のスピーチ
 13. プログラム（卓話、年次総会、その他のプログラム）
 14. 閉会宣言
 15. 点鐘
- 2 夜間例会および職場例会の進行順序は、担当委員会の企画によるものとする。
- 3 夜間例会の開催は理事会において決定し、行事予定表にて予告する。尚、通常は年間6回とし、慣例的に実施する夜間例会は次の通りとする。
- 納涼会 または 観月会（7月～9月）、創立記念例会（10月）、クリスマス忘年家族例会（12月）、新年会（1月）、観桜会（4月）、最終例会（6月）
- 4 職場例会は、年度に1回以上行うものとする。
- 5 クラブ外より招聘した卓話スピーカーには、10,000円の金券を謝礼として贈る。
- 6 クラブ外より著名講師、演奏者等を招聘する場合は、理事会で決定した謝礼を贈る。
- 7 クラブ外より招聘する者へ旅費の実費を支給する。尚、5,000円を超える場合は、理事会の承認を得るものとする。
- 8 年間出席率優秀者（メーキャップを含む）を表彰し、3,000円相当の記念品を贈る。
- 9 その他、例会におけるマナーは次の通りとする。
1. 例会を欠席する場合は開催日前日の15時までに事務局へ連絡しなければならない。
 2. 所定時間より早い集合を心がけ、開会前に会員相互の親睦を楽しむ。
 3. プログラムの時間を30分間確保できるよう進行に協力する。
 4. 閉会の点鐘は、予告された終了時刻を厳守する。（通常例会13時30分）

(贈呈内規)

第2条 会員とその家族の慶事等に次の記念品を贈呈し、祝意と感謝を示す。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 会員の誕生日 | 記念品（3,000～4,000円相当） |
| 2. 会員の配偶者の誕生日 | 花束もしくはそれに類する品 |
| 3. 会員の在籍表彰 | 在籍年数バッジ |
| 4. 退会者 | 記念品（5,000円相当） |
| 5. 会長および幹事の任を全うした者 | 役職経験者バッジおよび記念品 |
| 6. 特に理事会が必要と認める者 | 理事会が決定した記念品 |

(ニコニコボックス内規)

第3条 次の各号に従い、ニコニコボックスへの寄付を行う。

- | | |
|-----------|--------|
| 1. 無届欠席 | 2,000円 |
| 2. 当日届出欠席 | 1,000円 |
| 3. 無バッジ | 500円 |
| 4. 遅刻、早退 | 1,000円 |

- 5. 本人誕生祝 3,000円 以上
 - 6. 配偶者誕生祝 2,000円 以上
 - 7. 叙勲、褒章等の授与 任意の金額
 - 8. 子、孫の結婚 任意の金額
 - 9. 子、孫、ひ孫の誕生 任意の金額
 - 10. 社屋、住居の新改築 任意の金額
- 2 前項の他、会員および所属会社の出来事やPRに際し、祝意や謝意等の気持ちを込めて、ニコニコボックスへの寄付を行う。尚、金額はポケットと相談するものとする。

(慶弔、見舞い内規)

第4条 会員またはその家族等の弔事に際し、次の通り弔意を示す。

- 1. 会員が死亡したとき、葬儀において生花および香典を贈り供える。また、ガバナーに弔電を請求する。
尚、遺族の要望がある場合は弔辞を呈する。
 - 2. 会員の配偶者、親、子が死亡したとき、葬儀において生花および香典を贈り供える。
 - 3. その他、理事会が必要と認める弔事には、生花、香典、弔電を贈ることができる。
- 2 前項各号の生花は18,000円程度とし、香典は10,000円とする。また、弔電は3,000円程度とする。
- 3 弔事に際し、特に勘案すべき事情があるとき、理事会の決定により前項の内容を変更することができる。
- 第5条 会員が1ヶ月以上の入院、または住居等が被災した場合は、見舞金を贈る。金額は、理事会において決定するものとする。

(旅費交通費等内規)

第6条 義務づけられた会合に出席する場合、次の費用を支給する。

- 1. 旅費交通費の実費
- 2. 宿泊費の実費
- 3. 登録料

(会費等の特例内規)

第7条 会員および入会候補者に特段の理由がある場合、理事会の決定により、入会金および会費の減額を認めることができる。

(内規の変更および廃止)

第8条 内規の変更と廃止

本内規の変更と廃止は理事会において決定する。

附則 本内規は、2023年1月18日から発効する。

2023年1月18日 全部変更

長野東RC歴代役員・委員名簿

○印は委員長

1966～1968年

会		長	石 原 俊 輝
副	会	長	青 木 功 男
理		事	小 林 秀 樹 (会務奉仕担当)
	〃		春 日 栄太郎 (社会奉仕委員長)
	〃		高 波 兼 雄 (国際奉仕委員長)
	〃		小 出 弘 (職業奉仕委員長)
幹		事	夏 目 幸一郎
会		計	木 村 恕
会場監督(S・A・A)			井 田 義 幸
社会奉仕委員			佐治木友三郎、佐藤昌平、米田幸男
国際奉仕委員			榎本 寛、高橋茂民
職業奉仕委員			伊藤桂介、南沢一夫
出席委員			○宮本三郎、長坂国治、大久保六郎
親睦委員			笠井邦夫、久保田丈平、○小笠原武一
雑誌委員			○塚田和男、小出昭三、草薙雄進
(広報・クラブ会報委員兼)			
会員選考委員			原 甲一、小松 栄、○守谷寿彦
プログラム委員			○山本昌平、田中一雄
職業分類委員			北野善造 (1年任期)、○西沢正栄 (2年任期)、今井千仞 (3年任期)
ロータリー情報委員			原総一郎 (1年任期)、藤縄 靖 (2年任期)、○塩入治右衛門 (3年任期)

○印は委員長

1968～1969年

会		長	青 木 功 男
副	会	長	夏 目 幸一郎
理		事	小 出 弘 (会務奉仕委員長)
	〃		小 林 秀 樹 (社会奉仕委員長)
	〃		大久保 六 郎 (国際奉仕委員長)
	〃		春 日 栄太郎 (職業奉仕委員長)
	〃		高 波 兼 雄
幹		事	井 田 義 幸
会		計	山 本 昌 平
会場監督(S・A・A)			木 村 恕
社会奉仕委員			南沢一夫、宮本三郎、小出昭三
国際奉仕委員			石原俊輝、長坂国治、竹花 誠
職業奉仕委員			久保田丈平、黒沢浩一、藤縄 靖
出席委員			佐治木友三郎、榎本 寛、草薙雄進、米田幸男
親睦委員			○塚田和男、宮崎 萬、北野善造、林 昂
広報委員			○原 総一郎、竹内茂雄、藤井基成
(雑誌・クラブ会報)			
会員選考委員			○高橋芳民、伊藤桂介、宇都宮 元
プログラム委員			○守谷寿彦、小笠原武一、藤井 裕、原 甲一
職業分類委員			○西沢正栄 (1年任期)、今井千仞 (2年任期)、小松 栄 (3年任期)
ロータリー情報委員			○笠井邦夫 (1年任期)、塩入治右衛門 (2年任期)、依田佳主朗 (3年任期)

1969～1970年

○印は委員長

会 副 会 長
副 直 前 会 長
理 事

〃
〃
〃
〃

幹 事
会 計
S ・ A ・ A
社 会 奉 仕 委 員 会
国 際 奉 仕 委 員 会
職 業 奉 仕 委 員 会
出 席 委 員 会
親 睦 委 員 会

広 報 委 員 会
(雑誌・クラブ会報)
会 員 選 考 委 員 会
プ ロ グ ラ ム 委 員 会
職 業 分 類 委 員 会
ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会

夏 目 幸一郎
原 甲 一
青 木 功 男
長 坂 国 治 (会務担当委員長)
山 本 昌 平 (社会奉仕委員長)
宮 本 三 郎 (職業奉仕委員長)
小 出 弘 (国際奉仕委員長)
高 波 兼 雄
木 村 恕
塚 田 和 男
榎 本 寛
西沢正栄, 伊藤桂介, 南沢一夫
石原俊輝, 北野善造, 小松巻男
高橋芳民, 久保田丈平, 宇都宮 元, 竹花 誠
○草薙雄進, 笠井邦夫, 原 総一郎, 岸木新三
○守谷寿彦, 宮崎 萬, 小出昭三, 藤井 裕, 池田栄一, 唐沢鹿男, 北野吉造
北沢君重, 玉井市次
○竹内茂雄, 林 昂, 藤井基成
○佐治木友三郎, 藤縄 靖, 池田正治
○井田善幸, 小笠原武一, 大久保六郎, 宮本忠長
○今井千仞 (1年), 小松 栄 (2年), 春日栄太郎 (3年)
○塩入治右衛門 (1年), 依田佳主朗 (2年), 小林秀樹 (3年)

1970～1971年

○印は委員長

会 副 会 長
副 直 前 会 長
理 事

〃
〃
〃

幹 事
会 計
S ・ A ・ A
社 会 奉 仕 委 員 会
国 際 奉 仕 委 員 会
職 業 奉 仕 委 員 会
出 席 委 員 会
親 睦 委 員 会
広 報 委 員 会
会 員 選 考 委 員 会
プ ロ グ ラ ム 委 員 会
職 業 分 類 委 員 会
ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会

高 波 兼 雄
宮 本 三 郎
夏 目 幸一郎
塩 入 治右衛門 (社会奉仕担当)
高 橋 芳 民 (職業奉仕担当)
今 井 千 仞 (国際奉仕担当)
井 田 義 幸 (会務担当)
塚 田 和 男
小笠原 武 一
守 谷 寿 彦
○塩入治右衛門, 竹花 誠, 大久保六郎, 小林春男, 林 利広
○今井千仞, 伊藤桂介, 宇都宮 元, 池田正治, 唐沢鹿男
○高橋芳民, 西沢正栄, 南沢一夫, 林 昂, 玉井市次
○木村 恕, 北野善造, 小出昭三, 宮本忠長, 北沢君重
○宮崎 萬, 原 総一郎, 竹内茂雄, 佐治木友三郎, 北野吉造, 池田栄一
○藤井基成, 山本昌平, 草薙雄進, 土肥 哲, 小野由隆
○小松巻男, 石原俊輝, 青木功男, 小出 弘, 長坂国治
○藤井 裕, 久保田丈平, 笠井邦夫, 藤縄 靖, 中沢 敬, 宮本 肇
○小松 栄 (1年), 春日栄太郎 (2年), 原 甲一 (3年)
○依田佳主朗 (1年), 小林秀樹 (2年), 榎本 弘 (3年)

○印は委員長

1971～1972年

会 長
副 会 長
直 前 会 長
理 事
〃
〃
〃
幹 事
会 計
S ・ A ・ A
社 会 奉 仕 委 員 会
国 際 奉 仕 委 員 会
職 業 奉 仕 委 員 会
出 席 委 員 会
親 睦 活 動 委 員 会
広 報 委 員 会
会 員 選 考 委 員 会
会 員 増 強 委 員 会
ロータリー財団委員会
プログラム委員会
職 業 分 類 委 員 会
ロータリー情報委員会

原 甲 一
今 井 千 仞
高 波 兼 雄
小 松 卷 男 (国際奉仕担当)
小 松 栄 (社会奉仕担当)
藤 縄 靖 (職業奉仕担当)
木 村 恕 (クラブ奉仕担当)

小笠原 武 一
竹 内 茂 雄
宮 崎 萬

○小松 栄, 宇都宮 元, 長坂国治, 玉井市次, 穴戸利春, 笠原吉三
○小松卷男, 伊藤桂介, 原 総一郎, 北沢君重, 北野善造, 小林春男
菊地泰一郎

○藤縄 靖, 竹花 誠, 西沢正栄, 林 昂, 唐沢鹿男, 宮下 東
○塚田和男, 依田佳主朗, 笠井邦夫, 土肥 哲, 草薙雄進, 市川 温, 小林俊雄
○北野吉造, 井田義幸, 矢島 一, 宮本 肇, 高橋芳民, 久保田丈平, 小林幸雄
○南沢一夫, 小野由隆, 藤井 裕, 小出昭三, 池田栄一, 守谷寿彦
○夏目幸一郎, 石原俊輝, 青木功男, 大久保六郎
○佐治木友三郎, 塩入治右衛門, 宮本三郎
○竹内茂雄, 宮崎 萬, 小松卷男, 春日栄太郎
○中沢 敬, 藤井基成, 宮本忠長, 池田正治
○佐治木友三郎 (1年), 塩入治右衛門 (2年), 宮本三郎 (3年)
○榎本 寛 (1年), 小出 弘 (2年), 石井 直 (3年)

○印は委員長

1972～1973年

会 長
副 会 長
直 前 会 長
理 事
〃
〃
〃
幹 事
会 計
S ・ A ・ A
社 会 奉 仕 委 員 会
国 際 奉 仕 委 員 会
職 業 奉 仕 委 員 会
出 席 委 員 会
親 睦 活 動 委 員 会
広 報 委 員 会
会 員 選 考 委 員 会
会 員 増 強 委 員 会
ロータリー財団委員会
プログラム委員会
職 業 分 類 委 員 会
ロータリー情報委員会

宮 本 三 郎
大久保 六 郎 (クラブ奉仕担当)
原 甲 一
北 野 善 造 (国際奉仕担当)
小笠原 武 一 (社会奉仕担当)
宮 本 忠 長 (職業奉仕担当)
小 松 卷 男
藤 縄 靖
塩 入 治右衛門
竹 内 茂 雄

○小笠原武一, 高橋芳民, 原総一郎, 藤井 裕, 依田佳主朗
○北野善造, 南沢一夫, 中沢 敬, 守谷寿彦, 笠原吉三
○宮本忠長, 春日栄太郎, 笠井邦夫, 小出昭三, 穴戸利春
○久保田丈平, 今井千仞, 小林春男, 小松 栄, 池田栄一, 菊地泰一郎
○藤井基成, 長坂国治, 玉井市次, 北沢君重, 酒井 淳, 榎本 寛, 中林虎雄
小林俊雄, 長谷部好一
○西沢正栄, 林 昂, 唐沢鹿男, 北野吉造, 小林幸雄
○夏目幸一郎, 石原俊輝, 青木功男, 高波兼雄
○塚田和男, 竹花 誠, 宮崎 萬, 井田義幸
○塩入治右衛門, 竹内茂雄, 北野善造, 佐治木友三郎
○宮本 肇, 宮下 東, 市川 温, 矢島 一, 小野由隆
○木村 恕 (1年), 小松卷男 (2年), 草薙雄進 (3年)
○小出 弘 (1年), 石井 直 (2年), 宇都宮 元 (3年)

1973～1974年

○印は委員長

会 長
副 会 長
直 前 会 長
理 事
〃
〃
〃
幹 事
会 計
S ・ A ・ A
社 会 奉 仕 委 員 会
国 際 奉 仕 委 員 会
職 業 奉 仕 委 員 会
出 席 委 員 会
親 睦 活 動 委 員 会
雑 誌 委 員 会
会 員 選 考 委 員 会
会 員 増 強 委 員 会
プ ロ グ ラ ム 委 員 会
広 報 委 員 会
ロ ー タ リ ー 財 団 委 員 会
職 業 分 類 委 員 会
ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会

大久保 六 郎
今 井 千 仞 (クラブ奉仕担当)
宮 本 三 郎
榎 本 寛 (国際奉仕担当)
草 薙 雄 進 (社会奉仕担当)
西 沢 正 栄 (職業奉仕担当)
佐治木 友三郎
久保田 丈 平
北 野 吉 造
藤 井 裕
○草薙雄進, 宮崎 萬, 林 昂, 中沢 敬, 菊地泰一郎
○榎本 寛, 藤井基成, 竹内茂雄, 玉井市次, 宮下 東
○西沢正栄, 塩入治右衛門, 原総一郎, 小林春男, 矢島 一
○笠井邦夫, 藤縄 靖, 唐沢鹿男, 笠原吉三, 木内吉弘, 星野達雄
○小林幸雄, 宮本忠長, 宮本 肇, 市川 温, 和田守也, 若麻績信雄
長谷部好一, 伴 善雄, 川村幸太郎, 仁科恵敏, 久保田晴達, 鹿熊 肇
○北野善造, 依田佳主朗, 小野由隆
○夏目幸一郎, 石原俊輝, 青木功男, 高波兼雄, 原 甲一
○木村 恕, 井田義幸, 小笠原武一
○小林俊雄, 塚田和男, 小出昭三, 池田栄一, 沢 亨, 仁科恵敏
○高橋芳民, 春日栄太郎, 佐治木友三郎, 北沢君重
○北野吉造, 小出 弘, 藤井 裕
○小松卷男 (1年), 長坂国治 (2年)
○石井 直 (1年), 宇都宮 元 (2年), 小松 栄 (3年)

1974～1975年

○印は委員長

会 長
副 会 長
直 前 会 長
理 事
〃
〃
〃
幹 事
会 計
会 場 監 督 (S A A)
国 際 奉 仕 委 員 会
社 会 奉 仕 委 員 会
職 業 奉 仕 委 員 会
出 席 委 員 会
親 睦 活 動 委 員 会
雑 誌 委 員 会
会 員 選 考 委 員 会
会 員 増 強 委 員 会
プ ロ グ ラ ム 委 員 会
広 報 委 員 会
財 団 委 員 会
職 業 分 類 委 員 会
ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会

今 井 千 仞
高 橋 芳 民 (クラブ奉仕担当)
大久保 六 郎
小 林 春 男 (国際奉仕委員長)
塩 入 治右衛門 (社会奉仕委員長)
唐 沢 鹿 男 (職業奉仕委員長)
久保田 丈 平
竹 内 茂 雄
池 田 栄 一
北 野 吉 造
○小林春男, 石井 直, 榎本 寛, 春日栄太郎, 藤縄 靖
○塩入治右衛門, 小出 弘, 西沢正栄, 小松卷男
○唐沢鹿男, 北野善造, 佐治木友三郎, 藤井基成, 小出昭三
○宮本 肇, 小林俊雄, 小林幸雄, 宮崎 萬, 矢島 一, 川村幸太郎
○笠井邦夫, 木内吉弘, 伴 善雄, 星野達夫, 仁科恵敏, 鹿熊 肇, 久保田晴達
村沢好郎, 橋本 浩, 内藤武男, 塚田喜幸, 後藤 功, 加藤 鴻
○沢 亨, 長谷部好一, 原総一郎
○夏目幸一郎, 石原俊輝, 青木功男, 高波兼雄, 原 甲一, 宮本三郎
大久保六郎
○小笠原武一, 井田義幸, 木村 恕, 塚田和男
○宮本忠長, 市川 温, 菊地泰一郎, 若麻績信雄, 和田守也
○北沢君重, 宮下 東, 依田佳主朗
○池田栄一, 藤井 裕
○長坂国治 (1年), 林 昂 (2年), 草薙雄進 (3年)
○宇都宮 元 (1年), 小野由隆 (2年), 笠原吉三 (3年)

○印は委員長

1975～1976年

東北信分区代理
会 長
副 会 長
直 前 会 長
理 事
〃
〃
〃
幹 事
会 計
S ・ A ・ A
国 際 奉 仕 委 員 会
社 会 奉 仕 委 員 会
職 業 奉 仕 委 員 会
出 席 委 員 会
親 睦 活 動 委 員 会
雑 誌 委 員 会
会 員 選 考 委 員 会
会 員 増 強 委 員 会
プ ロ グ ラ ム 委 員 会
広 報 委 員 会
財 団 委 員 会
職 業 分 類 委 員 会
ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会

夏 目 幸 一 郎
高 橋 芳 民
木 村 恕 (クラブ奉仕担当)
今 井 千 仞
小 出 昭 三 (国際奉仕委員長)
石 井 直 (社会奉仕委員長)
宮 崎 萬 (職業奉仕委員長)
竹 内 茂 雄 (会 務 担 当)
北 野 吉 造
草 薙 雄 進
藤 井 基 成

○小出昭三, 塩入治右衛門, 池田栄一, 小出 弘
○石井 直, 藤縄 靖, 唐沢鹿男, 佐治木友三郎
○宮崎 萬, 小林春男, 西沢正栄, 市川 温
○北沢君重, 藤井 裕, 宇都宮 元, 和田守也
○仁科恵敏, 宮本 肇, 長谷部好一, 橋本 浩, 小林俊雄, 矢島 一, 村沢好郎
内藤武男, 塚田喜幸, 後藤 功, 加藤 鴻, 神農杲記, 外池正実
○沢 亨, 木内吉弘, 春日栄太郎
○夏日幸一郎, 石原俊輝, 青木功男, 高波兼雄, 原 甲一, 宮本三郎
大久保六郎
○塚田和男, 井田義幸, 笠井邦夫, 久保田丈平
○小笠原武一, 星野達夫, 川村幸太郎, 久保田晴達, 鹿熊 肇, 福沢千明
松本真吾
○若麻績信雄, 原総一郎, 宮下 東, 長坂国治
○草薙雄進, 北野善造
○林 昂 (1年), 小林幸雄 (2年), 小野由隆 (3年)
○榎本 寛 (1年), 笠原吉三 (2年), 宮本忠長 (3年)

○印は委員長

1976～1977年

会 長
直 前 会 長
副 会 長
理 事
〃
〃
〃
幹 事
会 計
S ・ A ・ A
監 事
国 際 奉 仕 委 員 会
社 会 奉 仕 委 員 会
職 業 奉 仕 委 員 会
出 席 委 員 会
親 睦 活 動 委 員 会
雑 誌 委 員 会
会 員 選 考 委 員 会
会 員 増 強 委 員 会
プ ロ グ ラ ム 委 員 会

木 村 恕
高 橋 芳 民
長 坂 国 治 (クラブ奉仕担当)
塚 田 和 男 (社会奉仕委員長)
佐治木 友三郎 (国際奉仕委員長)
北 沢 君 重 (職業奉仕委員長)
北 野 吉 造 (青少年奉仕委員長)
藤 井 裕
笠 井 邦 夫
宮 本 肇
小 出 弘

○佐治木友三郎, 小林春男, 川村幸太郎, 仁科恵敏
○塚田和男, 北野善造, 若麻績信雄, 久保田晴達
○北沢君重, 石井 直, 小出昭三, 小笠原武一
○矢島 一, 宮崎 萬, 藤井基成, 村沢好郎
○小林俊雄, 草薙雄進, 星野達夫, 鹿熊 肇, 橋本 浩, 塚田喜幸, 後藤 功
加藤 鴻, 福沢千明, 松本真吾, 神農杲記, 小谷雅夫, 青木恵太郎
春日善治郎, 小賀坂広治
○池田栄一, 唐沢鹿男, 西沢正栄
○夏日幸一郎, 石原俊輝, 青木功男, 高波兼雄, 原 甲一, 宮本三郎
大久保六郎
○井田義幸, 塩入治右衛門, 久保田丈平
○竹内茂雄, 榎本 寛, 宇都宮 元, 沢 亨, 長谷部好一, 内藤武男, 外池正実

広報委員会
財団委員会
職業分類委員会
ロータリー情報委員会

○藤縄 清, 林 昂
○笠井邦夫, 宮下 東, 原総一郎
○小林幸雄 (1年), 和田守也 (2年), 小野由隆 (3年)
○笠原吉三 (1年), 宮本忠長 (2年), 今井千仞 (3年)

1977～1978年

○印は委員長

会長 前会長 長
直前会 長
副理 会 長
事
幹事
計
S・A・A
監事
国際奉仕委員会
社会奉仕委員会
職業奉仕委員会
会員選考委員会
会員増強委員会
親睦活動委員会
プログラム委員会
出席委員会
雑誌委員会
広報委員会
財団委員会
職業分類委員会
ロータリー情報委員会

長坂国治
木村 恕
小林春男 (クラブ奉仕担当)
林 昂 (国際奉仕担当)
笠井邦夫 (社会奉仕担当)
池田栄一 (職業奉仕担当)
藤井 裕 (青少年奉仕担当)
宮本 肇
藤井基成
小林俊雄
小出 弘
○林 昂, 藤縄 靖, 唐沢鹿男, 西沢正栄
○笠井邦夫, 榎本 寛, 久保田丈平, 佐治木友三郎
○池田栄一, 石井 直, 北野吉造, 仁科恵敏
○夏目幸一郎, 青木功男, 原甲一, 石原俊輝, 宮本三郎, 大久保六郎, 高波兼雄
○塚田和男, 竹内茂雄
○村沢好郎, 青木恵太郎, 福沢千明, 後藤 功, 長谷部好一, 春日善治郎
加藤 鴻, 小林幸雄, 小谷雅夫, 真木茂雄, 松木眞吾, 宮崎 萬, 小賀坂広治
神農杲記, 若麻績信雄
○久保田晴達, 橋本 浩, 北沢君重, 草薙雄進, 沢 亨, 塩入治右衛門
外池正実
○鹿熊 肇, 川村幸太郎, 小笠原武一, 塚田喜幸
○内藤武男, 笠原吉三, 宇都宮 元
○星野達夫, 北野善造, 矢島 一
○藤井基成, 原総一郎, 宮下 東
○和田守也 (1年), 小野由隆 (2年), 小出昭三 (3年)
○宮本忠長 (1年), 今井千仞 (2年), 高橋芳民 (3年)

1978～1979年

○印は委員長

会長 前会長 長
直前会 長
副理 会 長
事
幹事
計
S・A・A
監事
国際奉仕委員会
社会奉仕委員会
職業奉仕委員会
会員選考委員会
会員増強委員会

小林春男
長坂国治
塚田和男 (クラブ奉仕担当)
小林俊雄 (国際奉仕担当)
矢島 一 (社会奉仕担当)
内藤武男 (職業奉仕担当)
宮本 肇 (青少年奉仕担当)
藤井基成
鹿熊 肇
久保田晴達
唐沢鹿男
○小林俊雄, 藤井 裕, 石井 直, 宮本忠長, 塚田喜幸
○矢島 一, 榎本 寛, 橋本 浩, 小林幸雄, 宮崎 萬
○内藤武男, 藤縄 靖, 草薙雄進, 大日方忠夫, 竹内茂雄
○夏目幸一郎, 青木功男, 原 甲一, 石原俊輝, 宮本三郎, 大久保六郎
高波兼雄
○木村恕, 小笠原武一

親睦活動委員会
プログラム委員会
出席委員会
雑誌委員会
広報委員会
財団委員会
職業分類委員会
ロータリー情報委員会

○星野達夫, 青木恵太郎, 林 克巳, 池田栄一, 川村幸太郎, 北沢君重
国末英夫, 小賀坂広治, 塩沢堅吉, 土屋磯司, 宇於崎博正
○和田守也, 福沢千明, 後藤 功, 真木茂雄, 松木眞吾, 神農杲記
○長谷部好一, 林 昂, 春日善治郎, 塩入治右衛門
○若麻績信雄, 笠原吉三, 北野善造
○仁科恵敏, 久保田丈平, 西沢正栄
○鹿熊 肇, 原総一郎, 北野吉造, 宮下東, 小野由隆
○笠井邦夫, 小出昭三, 宇都宮 元
○今井千仞, 高橋芳民

1979～1980年

○印は委員長

会 長
直 前 会 長
副 会 長
理 事
〃
〃
〃
幹 事
副 幹 事
会 計
S ・ A ・ A
副 S ・ A ・ A
監 事
職業奉仕委員会
社会奉仕委員会
国際奉仕委員会
会員選考委員会
会員増強委員会
親睦活動委員会

塚 田 和 男
小 林 春 男
塩 入 治右衛門 (クラブ奉仕担当)
長谷部 好 一 (職業奉仕担当)
若麻績 信 雄 (社会奉仕担当)
和 田 守 也 (国際奉仕担当)
藤 井 基 成 (青少年奉仕担当)
久保田 晴 達
小 林 俊 雄
矢 島 一
鹿 熊 肇
仁 科 恵 敏
唐 沢 鹿 男
○長谷部好一, 星野達夫, 笠原吉三, 春日善治郎, 草薨雄進
○若麻績信雄, 後藤 功, 川村幸太郎, 北野善造, 宮本 肇
○和田守也, 笠井邦夫, 北野吉造, 小林幸雄, 宮崎 萬
○夏日幸一郎, 青木功男, 原 甲一, 今井千仞, 石原俊輝, 宮本三郎
大久保六郎, 高波兼雄
○木村 恕, 小笠原武一
○塚田喜幸, 富士原信夫, 林 克巳, 真木茂雄, 宮本忠長, 宮崎一治
小賀坂広治, 岡宮照行, 塩沢堅吉, 高木 勇, 土屋磯司, 宇於崎博正
山下直尔
○池田栄一, 青木恵太郎, 榎本 寛, 藤井 裕, 大日方忠夫
○松木眞吾, 橋本 浩, 久保田丈平, 内藤武男
○藤縄 靖, 原総一郎, 宮下 東
○北沢君重, 小野由隆, 竹内茂雄
○矢島 一, 林 昂
○小出昭三, 佐治木友三郎, 宇都宮 元
○長坂国治, 黒沢浩一, 西沢正栄

プログラム委員会
出席委員会
雑誌委員会
広報委員会
財団委員会
職業分類委員会
ロータリー情報委員会

1980～1981年

○印は委員長

会 長
直 前 会 長
副 会 長
理 事
〃
〃
〃
幹 事
会 計
S ・ A ・ A

塩 入 治右衛門
塚 田 和 男
藤 縄 靖 (クラブ奉仕担当)
小笠原 武 一 (職業奉仕担当)
宮 本 肇 (社会奉仕担当)
鹿 熊 肇 (国際奉仕担当)
久保田 甫 (青少年奉仕担当)
小 林 俊 雄
星 野 達 夫
仁 科 恵 敏

監 事
職業奉仕委員会
社会奉仕委員会
国際奉仕委員会
会員選考委員会

会員増強委員会
親睦活動委員会

プログラム委員会
出席委員会
雑誌委員会
広報委員会
財団委員会
職業分類委員会
ロータリー情報委員会

唐 沢 鹿 男

- 小笠原武一, 青木恵太郎, 川村幸太郎, 久保田丈平, 真木茂雄
- 宮本 肇, 長谷部好一, 小出昭三, 宮本忠長, 和田守也
- 鹿熊 肇, 藤井基成, 林 克巳, 池田栄一, 松木眞吾
- 夏目幸一郎, 原 甲一, 今井千仞, 石原俊輝, 小林春男, 宮本三郎, 長坂国治
大久保六郎, 高波兼雄
- 木村 恕, 北野吉造
- 橋本 浩, 富士原信夫, 長谷 武, 廣岡男也, 堀場信雄, 笠井邦夫, 正立一郎
光延丈喜夫, 宮崎一治, 小田原亮一, 岡宮照行, 坂本文夫, 塩沢堅吉
高木 勇, 土屋磯司, 山下直尔
- 内藤武男, 藤井 裕, 小林幸雄, 草薙雄進, 大日方忠夫, 塚田喜幸
- 春日善治郎, 北野善造, 林 昂
- 榎本 寛, 原総一郎, 宮下 東
- 竹内茂雄, 北沢君重, 小野由隆, 若麻績信雄, 矢島 一
- 星野達夫
- 佐治木友三郎 (1年), 宇都宮 元 (2年), 小賀坂広治 (3年)
- 黒沢浩一 (1年), 西沢正栄 (2年), 笠原吉三 (3年)

1981~1982年

○印は委員長

会 長
直 前 会 長
副 会 長
理 事

藤 縄 靖
塩 入 治右衛門
笠 井 邦 夫 (クラブ奉仕担当)
和 田 守 也 (職業奉仕担当)
北 沢 君 重 (社会奉仕担当)
草 薙 雄 進 (国際奉仕担当)
小 林 俊 雄 (青少年奉仕担当)
仁 科 恵 敏
塚 田 喜 幸
長谷部 好 一
唐 沢 鹿 男

幹 事
会 計
S ・ A ・ A
監 事
職業奉仕委員会
社会奉仕委員会
国際奉仕委員会
会員選考委員会

- 和田守也, 藤井基成, 久保田甫, 宮本忠長, 土屋磯司
- 北沢君重, 藤井 裕, 星野達夫, 久保田丈平, 小笠原武一
- 草薙雄進, 橋本 浩, 宮本 肇, 内藤武男, 佐治木友三郎
- 夏目幸一郎, 原 甲一, 今井千仞, 石原俊輝, 小林春男, 宮本三郎, 長坂国治
大久保六郎, 高波兼雄

会員増強委員会
親睦活動委員会

- 木村 恕, 塚田和男
- 青木恵太郎, 浅倉貞雄, 長谷 武, 廣岡男也, 堀場信雄, 正立一郎
光延丈喜夫, 宮下 東, 宮崎一治, 小田原亮一, 岡宮照行, 坂本文夫
高木 勇, 鷺澤正一, 山口信行

プログラム委員会
出席委員会
雑誌委員会
広報委員会
財団委員会
職業分類委員会
ロータリー情報委員会

- 真木茂雄, 榎本 寛, 林 昂, 北野吉造, 小出昭三, 竹内茂雄
- 小野由隆, 富士原信夫, 川村幸太郎, 小林幸雄, 大日方忠夫
- 北野善造, 黒沢浩一
- 矢島 一, 鹿熊 肇, 春日善治郎, 塩沢堅吉, 山下直尔
- 塚田喜幸
- 宇都宮 元 (1年), 小賀坂広治 (2年), 松木眞吾 (3年)
- 笠原吉三 (1年), 池田栄一 (2年), 若麻績信雄 (3年)

○印は委員長

1982～1983年

会 長
直 前 会 長
副 会 長
理 事
〃
〃
〃
幹 事
会 計
S ・ A ・ A
監 事
職 業 奉 仕 委 員 会
社 会 奉 仕 委 員 会
国 際 奉 仕 委 員 会
会 員 選 考 委 員 会
会 員 増 強 委 員 会
親 睦 活 動 委 員 会
プ ロ グ ラ ム 委 員 会
出 席 委 員 会
雑 誌 委 員 会
広 報 委 員 会
財 団 委 員 会
職 業 分 類 委 員 会
ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会

笠 井 邦 夫
藤 縄 靖
小笠原 武 一 (クラブ奉仕担当)
春 日 善治郎 (職業奉仕担当)
竹 内 茂 雄 (社会奉仕担当)
宮 本 忠 長 (国際奉仕担当)
仁 科 恵 敏 (青少年奉仕担当)
鹿 熊 肇
小 野 由 隆
橋 本 浩
塩 入 治右衛門

○春日善治郎, 宇都宮 元, 光延丈喜夫, 富士原信夫, 真木茂雄
○竹内茂雄, 川村幸太郎, 唐沢鹿男, 青木恵太郎, 大日方忠夫
○宮本忠長, 久保田丈平, 笠原吉三, 矢島 一, 和田守也
○夏目幸一郎, 原 甲一, 今井千仞, 石原俊輝, 小林春男, 宮本三郎, 長坂国治
大久保六郎, 高波兼雄
○木村 恕, 塚田和男, 北野吉造
○塩沢堅吉, 藤井 裕, 小出昭三, 草薙雄進, 宮本 肇, 宮下 東, 小林俊雄
小林幸雄, 黒沢浩一, 山崎喜男, 浅倉貞雄, 鷺澤正一, 山口信行, 百瀬文彦
尾崎理夫, 片岡俊郎, 倉石邦男, 丸山庸雄, 岡宮秀明
○土屋磯司, 塚田喜幸, 高木 勇, 倉田 剛, 竹内伸光
○北野善造, 北沢君重, 宮崎一治, 岡宮照行, 廣岡男也
○榎本 寛, 藤井基成
○長谷部好一, 佐治木友三郎, 内藤武男, 久保田甫, 小田原亮一
○小野由隆
○小賀坂広治 (1年), 松木真吾 (2年), 星野達夫 (3年)
○池田栄一 (1年), 若麻績信雄 (2年), 林 昂 (3年)

○印は委員長

1983～1984年

東 北 信 分 区 代 理
会 長
直 前 会 長
副 会 長
理 事
〃
〃
〃
幹 事
会 計
S ・ A ・ A
監 事
職 業 奉 仕 委 員 会
社 会 奉 仕 委 員 会
国 際 奉 仕 委 員 会
会 員 選 考 委 員 会
会 員 増 強 委 員 会
親 睦 活 動 委 員 会
プ ロ グ ラ ム 委 員 会
出 席 委 員 会

塚 田 和 男
小笠原 武 一
笠 井 邦 夫
榎 本 寛 (クラブ奉仕担当)
黒 沢 浩 一 (職業奉仕担当)
真 木 茂 雄 (社会奉仕担当)
内 藤 武 雄 (国際奉仕担当)
鹿 熊 肇 (青少年奉仕担当)
橋 本 浩
宮 本 忠 長
青 木 恵太郎
塩 入 治右衛門

○黒沢浩一, 浅倉貞雄, 藤井 裕, 北野善造, 仁科恵敏, 塚田喜幸
○真木茂雄, 春日善治郎, 小林俊雄, 光延丈喜夫, 小賀坂広治, 土屋磯司
○内藤武雄, 長谷部好一, 久保田甫, 佐治木友三郎, 宇都宮 元, 宮本 肇
○夏目幸一郎, 原 甲一, 今井千仞, 石原俊輝, 小林春男, 宮本三郎
大久保六郎
○木村 恕, 北野吉造
○高木 勇, 片岡俊郎, 倉石邦男, 倉田 剛, 小森谷忠, 丸山庸雄, 宮下 東
岩原良次, 岡宮秀明, 尾崎理夫, 竹内伸光, 竹内茂雄, 鷺澤正一, 山口信行
山崎喜男, 春日英廣, 水島英明, 高橋俊博, 佃 英哉, 北山文敏
○岡宮照行, 廣岡男也, 北沢君重, 宮崎一治, 塩沢堅吉
○富士原信夫, 草薙雄進, 和田守也, 矢島 一

雑誌委員会
広報委員会
財団委員会
職業分類委員会
ロータリー情報委員会

○川村幸太郎, 笠原吉三
○小林幸雄, 小出昭三, 久保田丈平, 大日方忠夫, 小野由隆
○宮本忠長
○松木眞吾 (1年), 星野達夫 (2年), 藤井基成 (3年)
○若麻績信雄 (1年), 林 昂 (2年)

1984～1985年

○印は委員長

会 長
直 前 会 長
会 長 エ レ ク ト
副 会 長
理 事
〃
〃
〃
幹 事
会 計
S ・ A ・ A
監 事
職業奉仕委員会
社会奉仕委員会
国際奉仕委員会
会員選考委員会
会員増強委員会
親睦活動委員会
プログラム委員会
出席委員会
雑誌委員会
広報委員会
財団委員会
職業分類委員会
ロータリー情報委員会

榎 本 寛
小笠原 武 一
草 薙 雄 進
宮 本 忠 長 (クラブ奉仕担当)
小 林 幸 雄 (職業奉仕担当)
若麻績 信 雄 (社会奉仕担当)
小 野 由 隆 (国際奉仕担当)
橋 本 浩 (青少年奉仕担当)
青 木 恵太郎
光 延 丈喜夫
土 屋 磯 司
笠 井 邦 夫
○小林幸雄, 久保田丈平, 北野吉造, 和田守也, 岡宮照行, 尾崎理夫
○若麻績信雄, 北野善造, 宮本 肇, 鹿熊 肇, 久保田甫, 松木眞吾
○小野由隆, 竹内茂雄, 小林俊雄, 仁科恵敏, 黒沢浩一, 廣岡男也
○夏目幸一郎, 原 甲一, 石原俊輝, 大久保六郎, 宮本三郎, 今井千切
小林春男
○木村 恕, 塚田和男, 塩入治右衛門
○宮崎一治, 富士原信夫, 倉石邦夫, 倉田 剛, 小松章人, 高波謙二, 丸山庸雄
岡宮秀明, 竹内伸光, 小森谷忠, 岩原良次, 春日英廣, 水島英明, 高橋俊博
佃 英哉, 吉池利夫, 浜崎 明, 足立隆夫, 篠原寿人, 丸山永樹, 伊藤正夫
○春日善治郎, 矢島 一, 川村幸太郎, 鷺澤正一
○塩沢堅吉, 北沢君重, 塚田喜幸, 小賀坂広治
○大日方忠夫, 宮下 東
○藤井 裕, 高木 勇, 山口信行
○光延丈喜夫
○星野達夫 (1年), 藤井基成 (2年), 佐治木友三郎 (3年)
○林 昂 (1年), 小出昭三 (2年), 宇都宮 元 (3年)

1985～1986年

ガバナー・ノミニー候補 塚田和男

○印は委員長

会 長
直 前 会 長
会 長 エ レ ク ト
副 会 長
理 事
理 事
理 事
理 事
理 事
幹 事
会 計
S ・ A ・ A
監 事
職業奉仕委員会
社会奉仕委員会

草 薙 雄 進
榎 本 寛
宮 本 忠 長
竹 内 茂 雄 (クラブ奉仕担当)
光 延 丈喜夫 (職業奉仕担当)
松 木 眞 吾 (社会奉仕担当)
矢 島 一 (国際奉仕担当)
青 木 恵太郎 (青少年奉仕担当)
星 野 達 夫
春 日 善治郎
塩 沢 堅 吉
小笠原 武 一
○光延丈喜夫, 小林俊雄, 富士原信夫, 北沢君重, 高木 勇, 鷺澤正一
○松木眞吾, 宮本 肇, 黒沢浩一, 宮崎一治, 仁科恵敏, 塚田喜幸

国際奉仕委員会
 会員選考委員会
 会員増強委員会
 親睦活動委員会

プログラム委員会
 出席委員会
 雑誌委員会
 広報委員会
 財団委員会
 職業分類委員会
 ロータリー情報委員会

○矢島 一, 藤井 裕, 北野善造, 小野由隆, 土屋磯司, 山口信行
 ○夏目幸一郎, 原 甲一, 石原俊輝, 大久保六郎, 宮本三郎, 今井千仞
 小林春男, 塩入治右衛門
 ○笠井邦夫
 ○岡宮照行, 浜崎 明, 伊藤正夫, 岩原良次, 春日英廣, 小松章人, 丸山永樹
 水島英明, 篠原寿人, 高橋俊博, 高波謙二, 佃 英哉, 鈴木五郎, 田中三彦
 稲田泰章, 青木元吉, 林 壮司, 土屋一英
 ○小林幸雄, 岡宮秀明, 丸山庸雄, 倉石邦男, 倉田 剛, 和田守也
 ○廣岡男也, 鹿熊 肇, 久保田 甫, 若麻績信雄
 ○小賀坂広治, 久保田丈平
 ○北野吉造, 橋本 浩, 宮下 東
 ○春日善治郎
 ○藤井基成 (1年), 佐治木友三郎 (2年), 林 昂 (3年)
 ○小出昭三 (1年), 宇都宮 元 (2年), 大日方忠夫 (3年)

1986~1987年

ガバナー 塚田和男
 ○印は委員長

会 長
 直 前 会 長
 会 長 エ レ ク ト
 副 会 長
 理 事
 理 事
 理 事
 理 事
 幹 事
 会 計
 S ・ A ・ A
 監 事
 職業奉仕委員会
 社会奉仕委員会
 国際奉仕委員会
 会員選考委員会
 会員増強委員会
 親睦活動委員会

プログラム委員会
 出席委員会
 雑誌委員会
 広報委員会
 財団委員会
 職業分類委員会
 ロータリー情報委員会

宮 本 忠 長
 草 薙 雄 進
 竹 内 茂 雄
 北 野 善 造 (クラブ奉仕担当)
 北 沢 君 重 (職業奉仕担当)
 橋 本 浩 (社会奉仕担当)
 藤 井 裕 (国際奉仕担当)
 星 野 達 夫 (青少年奉仕担当)
 塚 田 喜 幸
 黒 澤 浩 一
 富士原 信 夫
 榎 本 寛
 ○北沢君重, 廣岡男也, 宮下 東, 仁科恵敏, 土屋磯司, 和田守也
 ○橋本 浩, 鹿熊 肇, 小林幸雄, 光延丈喜夫, 塩沢堅吉
 ○藤井 裕, 青木恵太郎, 北野吉造, 岡宮照行, 小賀坂広治, 高木 勇
 ○夏目幸一郎, 石原俊輝, 原 甲一, 宮本三郎, 大久保六郎, 今井千仞
 小林春男
 ○笠井邦夫, 小笠原武一, 宮本 肇, 小林俊雄
 ○山口信行, 青木元吉, 林 壮司, 稲田泰章, 伊藤 實, 伊藤正夫, 金子昭彦
 小松章人, 黒田純一郎, 丸山永樹, 松任利衛, 森 啓, 中沢 勝, 鈴木五郎
 高波謙二, 滝沢芳一, 田中三彦, 土屋一英, 山岸弘照, 吉岡正紀
 ○鷺澤正一, 浜崎 明, 春日英廣, 水島英明, 高橋俊博, 矢島 一
 ○宮崎一治, 小出昭三, 倉石邦男, 倉田 剛, 岡宮秀明
 ○藤井基成, 松木真吾
 ○小野由隆, 久保田甫, 丸山庸雄
 ○黒沢浩一
 ○佐治木友三郎 (1年), 林 昂 (2年), 若麻績信雄 (3年)
 ○宇都宮 元 (1年), 久保田丈平 (3年)

1987～1988年

北 信 分 区 代 理
会 長 前 会 長
直 会 長 エ レ ク ト
会 副 会 長
理 事
理 事
理 事
理 事
幹 事
会 計
S ・ A ・ A
監 事
職 業 奉 仕 委 員 会
社 会 奉 仕 委 員 会
国 際 奉 仕 委 員 会
会 員 選 考 委 員 会

会 員 増 強 委 員 会
親 睦 活 動 委 員 会

プ ロ グ ラ ム 委 員 会
出 席 委 員 会
雑 誌 委 員 会
広 報 委 員 会
財 団 委 員 会
職 業 分 類 委 員 会
ロ タ リ ー 情 報 委 員 会

笠 井 邦 夫
竹 内 茂 雄
宮 本 忠 長
北 野 善 造
宮 本 肇 (クラブ奉仕担当)
矢 島 一 (職業奉仕担当)
丸 山 庸 雄 (社会奉仕担当)
光 延 丈 喜 夫 (国際奉仕担当)
塚 田 喜 幸 (青少年奉仕担当)
土 屋 磯 司
岡 宮 照 行
高 木 勇
草 薙 雄 進

○矢島 一, 青木恵太郎, 藤井基成, 鹿熊 肇, 久保田 甫, 塩沢堅吉
○丸山庸雄, 藤井 裕, 富士原信夫, 廣岡男也, 仁科恵敏, 土屋一英
○光延丈喜夫, 橋本 浩, 北沢君重, 松木眞吾, 宮崎一治, 山口信行
○夏目幸一郎, 石原俊輝, 原 甲一, 宮本三郎, 大久保六郎, 今井千仞, 小林春男
塩入治右衛門, 榎本 寛, 塚田和男
○笠井邦夫, 小笠原武一, 小林俊雄
○倉田 剛, 星野達夫, 伊藤 實, 金子昭彦, 北澤弘康, 小林 武, 黒田純一郎
森 啓, 中沢 勝, 小賀坂広治, 篠原寿人, 須田良夫, 滝沢芳一, 立石邦久
山岸弘照, 山崎嘉則, 吉岡正紀
○春日英廣, 青木元吉, 林 壮司, 伊藤正夫, 倉石邦男, 丸山永樹, 和田守也
○高橋俊博, 宮下 東, 水島英明, 高波謙二, 鷺沢正一
○岡宮秀明, 小林幸雄
○小松章人, 黒沢浩一, 田中三彦
○北野吉造, 宇都宮 元
○林 昂 (1年), 若麻績信雄 (2年), 小出昭三 (3年)
○久保田丈平 (1年), 小野由隆 (2年), 佐治木友三郎 (3年)

1988～1989年

会 長 前 会 長
直 会 長 エ レ ク ト
会 副 会 長
理 事
理 事
理 事
理 事
幹 事
副 幹 事
会 計
S ・ A ・ A
副 S ・ A ・ A
監 事
職 業 奉 仕 委 員 会
社 会 奉 仕 委 員 会
国 際 奉 仕 委 員 会
青 少 年 奉 仕 委 員 会
会 員 選 考 委 員 会
会 員 増 強 委 員 会
親 睦 活 動 委 員 会

北 野 善 造
竹 内 茂 雄
宮 本 肇
光 延 丈 喜 夫 (クラブ奉仕担当)
小 松 章 人 (職業奉仕担当)
土 屋 一 英 (社会奉仕担当)
鷺 澤 正 一 (国際奉仕担当)
土 屋 磯 司 (青少年奉仕担当)
小 野 由 隆
塩 沢 堅 吉
宮 崎 一 治
廣 岡 男 也
山 口 信 行 (ニコニコボックス担当)
宮 本 忠 長

○小松章人, 星野達夫, 伊藤 寛, 金子昭彦, 北沢君重, 久保田丈平, 岡宮照行
○土屋一英, 青木恵太郎, 北野吉造, 篠原寿人, 和田守也, 黒沢浩一, 森 啓
○鷺沢正一, 青木元吉, 高橋俊博, 岡宮秀明, 鹿熊 肇, 久保田 甫, 宮下 東
○土屋磯司, 高木 勇, 春日英廣
○夏目幸一郎, 石原俊輝, 原 甲一, 宮本三郎, 大久保六郎, 今井千仞, 小林春男
○笠井邦夫, 小笠原武一, 草薙雄進, 小林俊雄
○水島英明, 北沢弘康, 小林 武, 中沢 勝, 須田良夫, 滝沢芳一, 立石邦久

プログラム委員会
出席委員会
雑誌委員会
広報委員会
財団委員会
職業分類委員会
ロータリー情報委員会
姉妹クラブ友好促進委員会

相談役

山岸弘照, 山崎嘉則, 渡辺敬六, 小山弘行, 小山健英, 中村千春, 三橋友三郎
石井峯之, 福原恒夫, 真柄成一
○高波謙二, 富士原信夫, 伊藤正夫, 倉田 剛, 仁科恵敏
○倉石邦男, 丸山庸雄, 藤井 裕, 塚田喜幸
○小林幸雄, 林 昂, 小賀坂広治
○丸山永樹, 橋本 浩
○矢島 一, 松木眞吾, 宇都宮 元
○若麻績信雄 (1年), 藤井基成 (2年), 林 壮司 (3年)
○塚田和男 (1年), 竹内茂雄 (2年), 塩入治右衛門 (3年)
○北野善造, 小笠原武一, 竹内茂雄, 小林幸雄
篠原寿人, 小野由隆, 土屋磯司, 塩沢堅吉, 廣岡男也, 山口信行, 倉石邦男
水島英明, 高波謙二, 丸山永樹
塚田和男, 笠井邦夫

1989~1990年

○印は委員長

会長 長
直前会 長
会長エレクト 長
副会 長
副理 事
理 事
理 事
理 事
幹 事
副 幹 事
会 計
S・A・A
副 S・A・A
監 事
職業奉仕委員会
社会奉仕委員会
国際奉仕委員会
青少年奉仕委員会
会員選考委員会
会員増強委員会
親睦活動委員会

宮 本 肇
北 野 善 造
光 延 文喜夫
久保田 丈 平 (クラブ奉仕担当)
伊 藤 正 夫 (職業奉仕担当)
北 野 吉 造 (社会奉仕担当)
久保田 甫 (国際奉仕担当)
小 野 由 隆 (青少年奉仕担当)
塩 沢 堅 吉
富士原 信 夫
丸 山 庸 雄
山 口 信 行
高 橋 俊 博 (ニコニコボックス担当)
竹 内 茂 雄
○伊藤正夫, 橋本 浩, 小林幸雄, 松木眞吾, 宮下 東, 土屋一英
○北野吉造, 伊藤 實, 小松章人, 水島英明, 高木 勇, 小賀坂広治, 土屋磯司
○久保田 甫, 青木恵太郎, 廣岡男也, 宇都宮 元, 塚田喜幸, 鷺澤正一
○小野由隆, 倉石邦男, 仁科恵敏, 高波謙二
○夏目幸一郎, 石原俊輝, 原 甲一, 宮本三郎, 大久保六郎, 今井千仞, 小林春男
塚田和男
○小笠原武一, 草薙雄進, 宮本忠長, 小林俊雄
○丸山永樹, 須田良夫, 小林 武, 渡辺敬六, 小山健英, 小山弘行, 中村千春
三橋友三郎, 石井峯之, 真柄成一, 磯崎 昭, 岡部全延, 岩井 敏, 関 一郎
柳沢一夫, 守屋公一, 岩渕方明, 山口輝雄
○岡宮秀明, 中沢 勝, 篠原寿人, 滝澤芳一, 山岸弘照
○青木元吉, 北沢君重, 岡宮照行, 立石邦久, 矢島 一
○春日英廣, 宮崎一治, 若麻績信雄
○星野達夫, 北沢弘康, 倉田 剛
○鹿熊 肇, 林 昂, 和田守也
○藤井基成 (1年), 林 壮司 (2年), 藤井 裕 (3年)
○笠井邦夫 (1年), 塩入治右衛門 (2年), 竹内茂雄 (3年)
○宮本 肇, 北野善造, 塚田和男, 笠井邦夫, 小笠原武一, 竹内茂雄, 小林幸雄
篠原寿人, 小野由隆, 塩沢堅吉, 廣岡男也, 山口信行, 倉石邦男, 富士原信夫
高波謙二, 丸山永樹

プログラム委員会
出席委員会
雑誌委員会
広報委員会
財団委員会
職業分類委員会
ロータリー情報委員会
姉妹クラブ友好促進委員会

1990～1991年

○印は委員長

会長 前会長 エレクト
副会長
理事
理事
理事
幹事
副幹事
S・A・A
副S・A・A
監事
職業奉仕委員会
社会奉仕委員会
国際奉仕委員会
青少年奉仕委員会
ローターアクト委員会
会員選考委員会
会員増強委員会
親睦活動委員会

プログラム委員会
出席委員会
会報・雑誌委員会
広報委員会
R財団・米山財団委員会
職業分類委員会
ロータリー情報委員会
姉妹クラブ友好促進委員会

光延 丈喜夫
宮本 肇
久保田 丈平
小林 俊雄 (クラブ奉仕担当)
宇都宮 元 (職業奉仕担当)
篠原 寿人 (社会奉仕担当)
林 昂 (国際奉仕担当)
塩沢 堅吉 (青少年奉仕担当)
高木 勇
滝澤 芳一
鷺澤 正一
高橋 俊博
岡宮 秀明 (ニコニコボックス担当)
北野 善造

○宇都宮 元, 和田守也, 藤井基成, 宮崎一治, 丸山庸雄, 水島英明
○篠原寿人, 宮下 東, 伊藤正夫, 山口信行, 丸山永樹
○林 昂, 若麻績信雄, 小野由隆, 橋本 浩, 廣岡男也
○塩沢堅吉, 北野吉造, 矢島 一, 仁科恵敏, 春日英廣
○松木眞吾, 藤井 裕, 小山健英, 小山弘行, 中村千春
○夏日幸一郎, 石原俊輝, 原 甲一, 大久保六郎, 小林春男, 塚田和男
○小笠原武一, 草薙雄進, 笠井邦夫, 宮本忠長
○高波謙二, 石井峯之, 真柄成一, 磯崎 昭, 岡部全延, 岩井 敏, 関 一朗
柳澤一夫, 守屋公一, 岩渕方明, 山口輝雄, 岩井省吾, 五味澤一雄, 近藤健瀨
会津三郎, 彦坂慈良, 黒崎秀夫
○北澤弘康, 小松章人, 小林幸雄, 鹿熊 肇, 青木恵太郎
○中澤 勝, 久保田 甫, 三個友三郎, 小林 武
○岡宮照行, 土屋磯司, 倉田 剛
○倉石邦男, 青木元吉, 渡辺敬六
○塚田喜幸
○林 壮司 (1年), 土屋一英 (2年), 星野達夫 (3年)
○塩入治右衛門 (1年), 竹内茂雄 (2年), 北野善造 (3年)
○光延丈喜夫, 宮本 肇, 久保田丈平, 塚田和男, 笠井邦夫, 小笠原武一
竹内茂雄, 塩沢堅吉, 高木 勇, 山口信行, 高橋俊博, 北澤弘康, 倉石邦男
高波謙二, 中澤 勝, 滝澤芳一

1991～1992年

○印は委員長

会長 前会長 エレクト
副会長
理事
理事
理事
幹事
副幹事
S・A・A
副S・A・A
監事
職業奉仕委員会

久保田 丈平
光延 丈喜夫
小林 俊雄
松木 眞吾 (クラブ奉仕担当)
青木 恵太郎 (職業奉仕担当)
小林 幸雄 (社会奉仕担当)
廣岡 男也 (国際奉仕担当)
高木 勇 (青少年奉仕担当)
宮崎 一治
中澤 勝
高橋 俊博
岡宮 秀明
丸山 永樹 (ニコニコボックス担当)
宮本 肇
○青木恵太郎, 林 昂, 宮下 東, 藤井基成, 岡宮照行

社会奉仕委員会
国際奉仕委員会
青少年奉仕委員会
ローターアクト委員会
インターアクト委員会
会員選考委員会
会員増強委員会
親睦活動委員会

プログラム委員会
出席委員会
会報・雑誌委員会
広報委員会
ロータリー財団委員会
米山奨学会委員会
職業分類委員会
ロータリー情報委員会
姉妹クラブ友好委員会

○小林幸雄, 若麻績信雄, 伊藤正夫, 宇都宮 元, 土屋磯司
○廣岡男也, 和田守也, 北野吉造, 塩沢堅吉
○高木 勇, 林 壮司, 岩井 敏
○藤井 裕, 中村千春, 小山健英, 小山弘行, 関 一朗
○仁科恵敏, 倉石邦男, 春日英廣, 柳沢一夫, 黒崎秀夫
○宮本忠長, 石原俊輝, 原 甲一, 大久保六郎, 小林春男, 塚田和男
○小笠原武一, 草薙雄進, 笠井邦夫, 宮本 肇
○青木元吉, 須江卓男, 五味澤一雄, 近藤健瀨, 彦坂慈良, 吉田 隆, 鈴木浩一
丸田献次郎, 酒本多佳史, 鈴木義夫, 滝澤正明, 柳澤幸一, 藤沢正利
小座間 章, 土橋文行
○小林 武, 久保田 甫, 塚田喜幸, 山口輝雄, 鷺澤正一
○渡辺敬六, 篠原寿人, 橋本 浩, 岡部全延
○岩渕方明, 鹿熊 肇, 山口信行, 水島英明
○倉田 剛, 守屋公一, 滝澤芳一
○塩入治右衛門, 丸山庸雄
○小野由隆, 高波謙二
○土屋一英 (1年), 星野達夫 (2年), 小松章人 (3年)
○竹内茂雄 (1年), 北野善造 (2年), 矢島 一 (3年)
○久保田丈平, 光延丈喜夫, 小林俊雄, 松木眞吾, 宮崎一治

1992～1993年

○印は委員長

北信第2分区代理
会 長
直 前 会 長
会 長 エ レ ク ト
副 会 長
理 事
理 事
理 事
理 事
幹 事
副 幹 事
会 計
S ・ A ・ A
副 S ・ A ・ A
監 事
職業奉仕委員会
社会奉仕委員会
国際奉仕委員会
青少年奉仕委員会
ローターアクト委員会
インターアクト委員会
会員選考委員会
会員増強委員会
親睦活動委員会

プログラム委員会
出席委員会
会報・雑誌委員会
広報委員会
ロータリー財団委員会
米山奨学会委員会

小笠原 武 一
小 林 俊 雄
久保田 丈 平
松 木 眞 吾
藤 井 裕 (クラブ奉仕担当)
土 屋 一 英 (職業奉仕担当)
和 田 守 也 (社会奉仕担当)
鹿 熊 肇 (国際奉仕担当)
宮 崎 一 治 (青少年奉仕担当)
岡 宮 照 行
小 山 弘 行
岡 宮 秀 明
丸 山 永 樹
青 木 元 吉 (ニコニコボックス担当)
宮 本 肇
○土屋一英, 林 昂, 小林幸雄, 若麻績信雄, 土屋磯司
○和田守也, 藤井基成, 塩沢堅吉, 高橋俊博, 高波謙二
○鹿熊 肇, 宇都宮 元, 久保田 甫, 青木恵太郎, 伊藤正夫
○宮崎一治, 篠原寿人, 山口輝雄
○高木 勇, 渡辺敬六, 関 一朗, 酒本多佳史, 柳澤幸一
○仁科恵敏, 春日英廣, 岩井 敏, 彦坂慈良, 黒崎秀夫
○宮本忠長, 石原俊輝, 原 甲一, 大久保六郎, 小林春男, 塚田和男
○笠井邦夫, 草薙雄進, 宮本 肇
○滝澤芳一, 須江卓男, 鈴木浩一, 丸田献次郎, 鈴木義夫, 滝澤正明, 藤沢正利
土橋文行, 今井用一, 長原茂雄, 竹中富知男, 古澤直亮, 百瀬茂久, 夏目 潔
村田 進, 横田一尊
○丸山庸雄, 山口信行, 倉田 剛, 五味澤一雄, 近藤健瀨
○中村千春, 廣岡男也, 中澤 勝, 守屋公一
○倉石邦男, 林 壮司, 吉田 隆
○小山健英, 橋本 浩, 柳澤一夫
○小野由隆, 北野吉造
○塚田喜幸, 鷺澤正一

職業分類委員会
ロータリー情報委員会
姉妹クラブ友好委員会

○星野達夫（1年）、小松章人（2年）、小林 武（3年）
○北野善造（1年）、矢島 一（2年）、竹内茂雄（3年）
○小林俊雄、久保田丈平、松木眞吾、藤井 裕、岡宮照行

○印は委員長

1993～1994年

会 長 エ レ ク ト
直 前 会
副 理
理 事
理 事
理 事
幹 事
副 幹 事
計 画
S ・ A ・ A
副 S ・ A ・ A
監 事
職業奉仕委員会
社会奉仕委員会
環境保全委員会
国際奉仕委員会
青少年奉仕委員会
ローターアクト委員会
インターアクト委員会
会員選考委員会
会員増強委員会
親睦活動委員会

松 木 眞 吾
小 林 俊 雄
藤 井 裕
矢 島 一（クラブ奉仕担当）
篠 原 寿 人（職業奉仕担当）
星 野 達 夫（社会奉仕担当）
北 野 吉 造（国際奉仕担当）
岡 宮 照 行（青少年奉仕担当）
山 口 信 行
岩 井 敏
丸 山 永 樹
高 波 謙 二
中 澤 勝（ニコニコボックス担当）
久保田 丈 平

○篠原寿人、若麻績信雄、塚田喜幸、塩澤堅吉、高橋俊博、土橋文行
○星野達夫、宇都宮 元、鷺澤正一、鈴木浩一、倉石邦男
○小笠原武一、和田守也、鹿熊 肇、丸山庸雄、土屋磯司
○北野吉造、林 昂、伊藤正夫、林 壮司、岡宮秀明、五味澤一雄
○岡宮照行、倉田 剛、福岡宏光
○宮崎一治、藤澤正利、滝澤芳一、酒本多佳史、柳澤幸一
○仁科恵敏、春日英廣、今井用一、彦坂慈良、黒崎秀夫
○宮本忠長、大久保六郎、小林春男、塚田和男
○笠井邦夫、草薙雄進、宮本 肇
○渡辺敬六、高見澤好夫、二宮慶郎、島崎春彦、吉澤台介、石口 隆、樽尾高明
足立高雄、吉野浩視、白川英俊、滝澤正明、丸田献次郎、横田一尊、夏目 潔
倉田 修、小林淳生
○小山健英、竹中富知男
○関 一朗、百瀬茂久、長原茂雄、久保田 甫、柳澤一夫
○小山弘行、中村千春、鈴木義夫
○青木元吉、藤井基成、小野由隆
○高木 勇、北野善造
○青木恵太郎、廣岡男也
○小松章人、小林 武（2年）、橋本 浩（3年）
○竹内茂雄、小林幸雄（2年）、土屋一英（3年）
○松木眞吾、小林俊雄、藤井 裕、矢島 一、山口信行

○印は委員長

1994～1995年

会 長 エ レ ク ト
直 前 会
会 長 エ レ ク ト
副 理
理 事
理 事
理 事
幹 事
副 幹 事

藤 井 裕
松 木 眞 吾
矢 島 一
林 昂（クラブ奉仕担当）
久保田 甫（職業奉仕担当）
伊 藤 正 夫（社会奉仕担当）
丸 山 庸 雄（国際奉仕担当）
山 口 信 行（青少年奉仕担当）
鷺 澤 正 一
柳 澤 一 夫

会 計
S ・ A ・ A
副 S ・ A ・ A
監 事
職業奉仕委員会
社会奉仕委員会
環境保全委員会
国際奉仕委員会
青少年奉仕委員会
ローターアクト委員会
インターアクト委員会
会員選考委員会
会員増強委員会
親睦活動委員会

プログラム委員会
出席委員会
会報・雑誌委員会
広報委員会
ロータリー財団委員会
米山奨学会委員会
職業分類委員会
ロータリー情報委員会
姉妹クラブ友好委員会

高 波 謙 二
滝 澤 芳 一
渡 辺 敬 六 (ニコニコボックス担当)
小 林 俊 雄
○久保田 甫 五味澤一雄・林 壮司・星野達夫・鹿熊 肇・宇都宮 元
○伊藤正夫 小松章人・宮崎一治・篠原寿人・若麻績信雄
○小笠原武一 青木恵太郎・仁科恵敏・高橋俊博・和田守也
○丸山庸雄 藤井基成・倉田 剛・丸山永樹・小野由隆・土屋磯司
○山口信行 廣岡男也・岡宮秀明・塩沢堅吉
○岡宮照行 藤澤正利・彦坂慈良・横田一尊・吉澤台介
○春日英廣 今井用一・小山健英・丸田献次郎・夏目 潔
○宮本忠長 北野善造・小林春男・大久保六郎・塚田和男
○笠井邦夫 小林俊雄・宮本 肇
○小山弘行 石口 隆・飯田公一・岩田朋之・岩谷 毅・木村 明・倉田 修
・小林淳生・二宮慶郎・白川英俊・樽尾高明・滝澤正明・塚田芳樹・吉野浩視
○中村千春 黒崎秀夫・長原茂雄・竹中富知男・土橋文行
○岩井 敏 酒本多佳史・島崎春彦・鈴木義夫
○関 一朗 百瀬茂久・鈴木浩一・高見澤好夫・柳澤幸一
○中澤 勝 足立高雄・倉石邦男
○草薨雄進 塚田喜幸
○北野吉造 高木 勇
○小林 武・橋本 浩 (2年)・青木元吉 (3年)
○小林幸雄・土屋一英 (2年)・久保田丈平 (3年)
○藤井 裕 松木眞吾・矢島 一・林 昂・鷲澤正一

1995～1996年

○印は委員長

会 長
直 前 会 長
会 長 エ レ ク ト
副 会 長
理 事
理 事
理 事
理 事
幹 事
副 幹 事
会 計
S ・ A ・ A
副 S ・ A ・ A
監 事
クラブ奉仕委員会
出席委員会
会報・雑誌委員会
親睦活動委員会

会員選考委員会
会員増強委員会
プログラム委員会
広報委員会
職業分類委員会
ロータリー情報委員会
職業奉仕委員会

矢 島 一
藤 井 裕
小 野 由 隆
若麻績 信 雄 (クラブ奉仕担当)
藤 澤 正 利 (職業奉仕担当)
高 波 謙 二 (社会奉仕担当)
土 屋 磯 司 (国際奉仕担当)
鷲 澤 正 一 (青少年奉仕担当)
春 日 英 廣
関 一 朗
倉 石 邦 男
倉 田 剛
中 村 千 春 (ニコニコボックス担当)
松 木 眞 吾
○若麻績信雄
○彦坂慈良 樽尾高明・今井用一・小山弘行
○岩井 敏 高木 勇・石口 隆・鈴木浩一
○柳澤一夫 岩田朋之・石坂工児・武藤 浩・加藤良雄・飯田公一・坂本 强
・滝澤正明・綿引由紀則・草薨雄俊・清水 博・倉田 修・小林淳生・宮島 章
・木村 明・塚田芳樹・宮澤与一
○宮本忠長 大久保六郎・小林春男・北野善造・塚田和男
○笠井邦夫 草薨雄進・小笠原武一・宮本 肇・小林俊雄
○渡辺敬六 篠原寿人・二宮慶郎・島崎春彦・足立高雄
○滝澤芳一 酒本多佳史
○橋本 浩 青木元吉 (2年)・中澤 勝 (3年)
○土屋一英 久保田丈平 (2年)・林 昂 (3年)
○藤澤正利 北野吉造・高見澤好夫・仁科恵敏・岡宮照行・丸山永樹

社会奉仕委員会
環境保全委員会
国際奉仕委員会
ロータリー財団委員会
米山奨学会委員会
青少年奉仕委員会
ローターアクト委員会
インターアクト委員会
姉妹クラブ友好委員会

○高波謙二 小林幸雄・藤井基成・久保田 甫・小林 武
○青木恵太郎 和田守也・小松章人
○土屋磯司 宇都宮 元・塚田喜幸・宮崎一治・高橋俊博
○丸山庸雄 星野達夫
○鹿熊 肇 百瀬茂久
○鷺澤正一 塩沢堅吉・廣岡男也・岡宮秀明・土橋文行
○山口信行 吉澤台介・柳澤幸一・横田一尊
○黒崎秀夫 小山健英・鈴木義夫・丸田献次郎・夏目 潔
○矢島 一 藤井 裕・小野由隆・若麻績信雄・春日英廣

1996～1997年

○印は委員長

北信第2分区代理
会長
直前会長
会長エレクト
副会長
理事
理事
理事
理事
幹事
副幹事
会幹事
S・A・A
副S・A・A
監事
クラブ奉仕委員会
出席委員会
会報・雑誌委員会
親睦活動委員会

草薨雄進
小野由隆
矢島 一
小林幸雄
星野達夫 (クラブ奉仕担当)
廣岡男也 (職業奉仕担当)
仁科恵敏 (社会奉仕担当)
高橋俊博 (国際奉仕担当)
春日英廣 (青少年奉仕担当)
高波謙二
今井用一
小林 武
渡辺敬六
小山弘行 (ニコニコボックス担当)
藤井 裕

会員選考委員会
会員増強委員会
プログラム委員会
広報委員会
職業分類委員会
ロータリー情報委員会
職業奉仕委員会
社会奉仕委員会
環境保全委員会
国際奉仕委員会
ロータリー財団委員会
米山奨学会委員会
青少年奉仕委員会
ローターアクト委員会
インターアクト委員会
姉妹クラブ促進委員会

○星野達夫
○鈴木義夫 篠原寿人・塩沢堅吉・倉田 剛
○丸田献次郎 高木 勇・彦坂慈良・酒本多佳史
○中村千春 泉 澄俊・尾賀芳照・佐々木康進・石坂工児・寺島 滋・加藤良雄
・前田則雄・坂本 強・滝澤正明・草薨雄俊・清水 博・村田春樹・宮島 章
・宮澤与一・太田三喜男・小山雄悟
○宮本忠長 大久保六郎・小林春男・北野善造・塚田和男
○笠井邦夫 草薨雄進・小笠原武一・宮本 肇・小林俊雄
○柳澤一夫 島崎春彦・石口 隆・飯田公一
○倉石邦男 小山健英・柳澤幸一
○青木元吉 中澤 勝 (2年)・滝澤芳一 (3年)
○久保田丈平 林 昂 (2年)・若麻績信雄 (3年)
○廣岡男也 青木恵太郎・百瀬茂久・久保田 甫
○仁科恵敏 宇都宮 元・塚田喜幸・土屋磯司・鷺澤正一
○丸山永樹 和田守也・鹿熊 肇・岡宮照行・鈴木浩一
○高橋俊博 藤井基成・山口信行・土橋文行・夏目 潔
○松木眞吾 土屋一英
○宮崎一治 藤澤正利
○春日英廣 橋本 浩・丸山庸雄・岩井 敏
○横田一尊 岡宮秀明・武藤 浩・小林淳生・木村 明
○黒崎秀夫 二宮慶郎・関 一朗・倉田 修・塚田芳樹
○小野由隆 小林幸雄・矢島 一・星野達夫・高波謙二

1997～1998年

ガバナー・ノミニー候補 宮本忠長

○印は委員長

会長 前会長
副会長
理事長
理事
理事
幹事
副幹事
S・A・A
副S・A・A
監事
クラブ奉仕委員会
出席委員会
会報・雑誌委員会
親睦活動委員会

小林幸雄
小野由隆
仁科恵敏
土屋一英 (クラブ奉仕担当)
高木勇 (職業奉仕担当)
塚田喜幸 (社会奉仕担当)
橋本浩 (国際奉仕担当)
高波謙二 (青少年奉仕担当)
丸山永樹
柳澤幸一
渡辺敬六
中村千春
小山健英 (ニコニコボックス担当)
矢島一英

○土屋一英 丸山庸雄・今井用一・黒崎秀夫・丸田献次郎

○鈴木義夫 青木元吉・柳澤一夫

○関一朗 泉澄俊・出澤弘晃・尾賀芳照・佐々木康進・石坂工児・寺島滋
・鈴木孝和・前田則雄・家中隆・小山雄悟・平利行・清水博・草薙雄俊
・滝澤正明・村田春樹・竹村國彦・有賀政美・松本晋・太田三喜男・柳泰博
・山田康裕

○宮本忠長 大久保六郎・小林春男・松木眞吾・久保田丈平・北野善造・塚田和男

○笠井邦夫 草薙雄進・小笠原武一・宮本肇・小林俊雄

○小山弘行 藤沢正利・塩沢堅吉・岩井敏

○彦坂慈良 久保田甫・宮澤与一

○中澤勝 滝澤芳一 (2年)・倉田剛 (3年)

○林昂 若麻績信雄 (2年)・星野達夫 (3年)

○高木勇 百瀬茂久・宮崎一治・岡宮秀明

○塚田喜幸 鹿熊肇・山口信行

○土屋磯司 宇都宮元・廣岡男也・春日英廣

○橋本浩 藤井基成・鷺澤正一・土橋文行・倉石邦男

○藤井裕 和田守也

○岡宮照行 篠原寿人

○高波謙二 青木恵太郎・小林武・高橋俊博

○夏目潔 二宮慶郎・倉田修・宮島章・塚田芳樹

○横田一尊 武藤浩・加藤良雄・小林淳生・木村明

○小林幸雄 小野由隆・仁科恵敏・土屋一英・丸山永樹

会員選考委員会
会員増強委員会
プログラム委員会
広報委員会
職業分類委員会
ロータリー情報委員会
職業奉仕委員会
社会奉仕委員会
環境保全委員会
国際奉仕委員会
ロータリー財団委員会
米山奨学会委員会
青少年奉仕委員会
インターアクト委員会
ローターアクト委員会
姉妹クラブ促進委員会

1998～1999年

ガバナー 宮本忠長

○印は委員長

会長 前会長
副会長
理事長
理事
理事
幹事
副幹事
会

仁科恵敏
小林幸雄
鹿熊肇
和田守也 (クラブ奉仕担当)
岡宮照行 (職業奉仕担当)
藤澤正利 (社会奉仕担当)
塩沢堅吉 (国際奉仕担当)
丸山永樹 (新世代活動担当)
滝澤芳一
鈴木義夫
篠原寿人

S ・ A ・ A
副 S ・ A ・ A
監 事
クラブ奉仕委員会
出席委員会
会報・雑誌委員会
親睦活動委員会

会員選考委員会

会員増強委員会
プログラム委員会
広報委員会
職業分類委員会
ロータリー情報委員会
職業奉仕委員会
社会奉仕委員会
環境保全委員会
国際奉仕委員会
ロータリー財団委員会
米山奨学会委員会
新世代活動委員会
インターアクト委員会
ローターアクト委員会

小山 健 英
柳 澤 一 夫 (ニコニコボックス担当)
小 野 由 隆

- 和田守也
- 岩井 敏 青木恵太郎・小山雄悟・小林淳生・宮澤与一
- 青木元吉 石坂工児・渡辺敬六・塚田芳樹
- 酒本多佳史 出澤弘晃・小林 敬・永沢征治・鈴木孝和・普世芳孝・平 利行
・家中 隆・滝澤正明・村田春樹・竹村國彦・有賀政美・太田三喜男・柳 泰博
・山田康裕・田中精一・島田和佳・中山晴男・若麻績敏隆
- 小林春男 大久保六郎・草薙雄進・松本眞吾・笠井邦夫・久保田丈平・北野善造
・塚田和男・小笠原武一
- 小林俊雄 土屋磯司・高木 勇・鷺澤正一・小山弘行・関 一朗
- 高橋俊博 尾賀芳照・小林 武・草薙雄俊・木村 明
- 春日英廣 横田一尊
- 倉田 剛 百瀬茂久(2年)・二宮慶郎(3年)
- 若麻績信雄 星野達夫(2年)・土屋一英(3年)
- 岡宮照行 林 昂・高波謙二
- 藤澤正利 宮崎一治・岡宮秀明・清水 博
- 廣岡男也 藤井基成・真柄成一・夏目 潔
- 塩沢堅吉 宇都宮 元・久保田 甫・橋本 浩
- 塚田喜幸 宮本 肇
- 丸山庸雄 藤井 裕
- 丸山永樹 矢島 一・山口信行
- 丸田献次郎 倉石邦男・加藤良雄・彦坂慈良・柳澤幸一
- 中澤 勝 今井用一・中村千春・黒崎秀夫・倉田 修

1999～2000年

○印は委員長

会 長
直 前 会 長
会 長 エ レ ク ト
副 会 長
理 事
理 事
理 事
理 事
幹 事
副 幹 事
会 計
S ・ A ・ A
副 S ・ A ・ A
監 事
クラブ奉仕委員会
出席委員会
会報・雑誌委員会
親睦活動委員会

会員選考委員会

会員増強委員会
プログラム委員会
広報委員会
職業分類委員会

鹿 熊 肇
仁 科 恵 敏
青 木 恵太郎
篠 原 寿 人 (クラブ奉仕担当)
久保田 甫 (職業奉仕担当)
橋 本 浩 (社会奉仕担当)
廣 岡 男 也 (国際奉仕担当)
滝 澤 芳 一 (新世代活動担当)
渡 辺 敬 六
丸 田 献次郎
中 澤 勝
小 山 弘 行
黒 崎 秀 夫 (ニコニコボックス担当)
小 林 幸 雄

- 篠原寿人
- 夏目 潔 山口信行・関 一朗・倉田 修・太田三喜男
- 高橋俊博 小山健英・滝澤正明・木村 明
- 横田一尊 永沢征治・堀江和行・鈴木孝和・山口信英・平 利行・秋月治水
・竹村國彦・柳 康博・土屋延寿・山田康裕・田中精一・島田和佳・中山晴男
・若麻績敏隆・澁江正樹・生澤芳夫・渡辺達也・滝澤善五郎・岡田良一・大崎康治
- 草薙雄進 小林春男・松本眞吾・久保田丈平・北野善造・塚田和男・小笠原武一
・宮本忠長
- 土屋磯司 小林俊雄・高木 勇・春日英廣・柳澤一夫・岩井 敏
- 倉石邦男 塚田喜幸・出澤弘晃・小林淳生
- 中村千春 小林 武
- 鷺澤正一 丸山庸雄・柳澤幸一

ロータリー情報委員会
職業奉仕委員会
社会奉仕委員会
環境保全委員会
国際奉仕委員会
ロータリー財団委員会
米山奨学会委員会
新世代活動委員会
インターアクト委員会
ローターアクト委員会

○星野達夫 土屋一英（2年）・和田守也（3年）
○久保田 甫 宇都宮 元・丸山永樹
○橋本 浩 若麻績信雄・酒本多佳史
○宮崎一治 林 昂・藤井基成・岡宮照行
○廣岡男也 彦坂慈良・塚田芳樹
○倉田 剛 宮本 肇
○矢島 一 塩沢堅吉
○滝澤芳一 尾賀芳照
○加藤良雄 岡宮秀明・高波謙二・真柄成一・清水 博
○青木元吉 今井用一・鈴木義夫・草薙雄俊・宮澤与一

2000～2001年

○印は委員長

会 長
直 前 会 長
会 長 エ レ ク
副 会 長
理 事
理 事
理 事
理 事
幹 事
副 幹 事
会 計
S ・ A ・ A
副 S ・ A ・ A
監 事
クラブ奉仕委員会
出席委員会
会報・雑誌委員会
親睦活動委員会

青 木 恵太郎
鹿 熊 肇
久保田 甫
小 林 武（クラブ奉仕担当）
高 橋 俊 博（職業奉仕担当）
山 口 信 行（社会奉仕担当）
真 柄 成 一（国際奉仕担当）
渡 辺 敬 六（新世代活動担当）
中 村 千 春
木 村 明
青 木 元 吉
中 澤 勝
宮 澤 与 一（ニコニコボックス担当）
仁 科 恵 敏

○小林 武
○竹村國彦 滝澤芳一・岩井 敏・黒崎秀夫
○太田三喜男 丸山永樹・小山弘行
○倉田 修 池内孝郎・林 精彦・武井辰雄・岡宮昭夫・久保田靖彦・河北英夫
・原 徹爾・堀江和行・山口信英・大崎康治・森山 潔・滝澤正明・秋月治水
・岡田良一・永井真介・島田和佳・渋谷正樹・中山晴男・生澤芳夫・若麻績敏隆
・滝澤善五郎
○小笠原武一 小林春男・草薙雄進・久保田丈平・松木眞吾・塚田和男・宮本忠長
○高木 勇 小林俊雄・土屋磯司・鷺澤正一・春日英廣・関 一朗
○塚田芳樹 星野達夫・永澤征治・加藤良雄・鈴木孝和
○丸田献次郎 倉石邦男・土屋延寿
○丸山庸雄 小山健英（2年）・林 昂（3年）
○土屋一英 和田守也（2年）・篠原寿人（3年）
○高橋俊博 廣岡男也・柳澤一夫
○山口信行 宇都宮 元・小林幸雄・高波謙二
○出澤弘晃 若麻績信雄・倉田 剛
○真柄成一 矢島 一・橋本 浩・彦坂慈良
○宮崎一治 宮本 肇
○塩沢堅吉 塚田喜幸
○渡辺敬六 岡宮照行・夏目 潔
○柳澤幸一 岡宮秀明・鈴木義夫・横田一尊・田中精一
○今井用一 小林淳生・草薙雄俊・平 利行・山田康裕

会 員 選 考 委 員 会
会 員 増 強 委 員 会
プ ロ グ ラ ム 委 員 会
広 報 委 員 会
職 業 分 類 委 員 会
ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会
職 業 奉 仕 委 員 会
社 会 奉 仕 委 員 会
環 境 保 全 委 員 会
国 際 奉 仕 委 員 会
ロ ー タ リ ー 財 団 委 員 会
米 山 奨 学 会 委 員 会
新 世 代 活 動 委 員 会
イ ン タ ー ア ク ト 委 員 会
ロ ー タ ー ア ク ト 委 員 会

2001～2002年

○印は委員長

北信第2グループ ガバナー補佐
会 長
直 前 会 長
会 長 エ レ ク ト
副 会 長
理 事
理 事
理 事
理 事
幹 事
副 幹 事
会 計
S ・ A ・ A
副 S ・ A ・ A
監 事
クラブ奉仕委員会
出 席 委 員 会
会 報 ・ 雑 誌 委 員 会
親 睦 活 動 委 員 会

小 林 幸 雄
久保田 甫
青 木 恵太郎
土 屋 磯 司
出 澤 弘 晃 (クラブ奉仕担当)
倉 石 邦 男 (職業奉仕担当)
岡 宮 照 行 (社会奉仕担当)
宮 崎 一 治 (国際奉仕担当)
中 村 千 春 (新世代活動担当)
小 山 健 英
塚 田 芳 樹
倉 田 剛
関 一 朗
竹 村 國 彦 (ニコニコボックス担当)
鹿 熊 肇

○出澤弘晃
○木村 明 土屋一英・丸田献次郎・秋月治水
○池内孝郎 永澤征治・吉澤直亮・小林淳生
○夏目 潔 武井辰雄・岡宮昭夫・河北英夫・原 徹爾・加藤良友・大崎康治
・森山 潔・滝澤正明・高木二美・小森光修・小林隆重・渋谷正樹・永井真介
・生澤芳夫・若麻績敏隆・滝澤善五郎・竹内隆文
○小笠原武一 草薙雄進・久保田丈平・塚田和男・宮本忠長・矢島 一
○塚田喜幸 宮本 肇・小林俊雄・高木 勇・春日英廣・小山弘行
○真柄成一 丸山永樹・滝澤芳一・今井用一
○岩井 敏 星野達夫・宮澤与一
○林 昂 柳澤幸一 (2年)・橋本 浩 (3年)
○和田守也 篠原寿人 (2年)・小林 武 (3年)
○倉石邦男 宇都宮元・山口信行
○岡宮照行 塩沢堅吉・高橋俊博・鈴木孝和
○林 精彦 渡辺敬六・土屋延寿
○宮崎一治 廣岡男也・青木元吉・草薙雄俊
○高波謙二 若麻績信雄・中澤 勝
○鷺澤正一 仁科恵敏・柳澤一夫
○中村千春 横田一尊
○鈴木義夫 加藤良雄・山田康裕・田中精一・島田和桂
○彦坂慈良 岡宮秀明・山口信英・倉田 修・中山晴男

会 員 選 考 委 員 会
会 員 増 強 委 員 会
プ ロ グ ラ ム 委 員 会
広 報 委 員 会
職 業 分 類 委 員 会
ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会
職 業 奉 仕 委 員 会
社 会 奉 仕 委 員 会
環 境 保 全 委 員 会
国 際 奉 仕 委 員 会
ロ ー タ リ ー 財 団 委 員 会
米 山 奨 学 会 委 員 会
新 世 代 活 動 委 員 会
イ ン タ ー ア ク ト 委 員 会
ロ ー タ ー ア ク ト 委 員 会

2002～2003年

○印は委員長

会 長
直 前 会 長
会 長 エ レ ク ト
副 会 長
理 事
理 事
理 事
理 事
幹 事
副 幹 事
会 計
S ・ A ・ A
副 S ・ A ・ A
監 事

土 屋 磯 司
久保田 甫
塩 沢 堅 吉
塚 田 喜 幸 (クラブ奉仕担当)
永 澤 征 治 (職業奉仕担当)
廣 岡 男 也 (社会奉仕担当)
林 精 彦 (国際奉仕担当)
小 山 健 英 (新世代活動担当)
柳 澤 幸 一
夏 目 潔
真 柄 成 一
岩 井 敏
鈴木義夫 (ニコニコボックス担当)
青 木 恵太郎

クラブ奉仕委員会
出席委員会
会報・雑誌委員会
親睦活動委員会

会員選考委員会
会員増強委員会

プログラム委員会
広報委員会
職業分類委員会
ロータリー情報委員会
職業奉仕委員会
社会奉仕委員会
環境保全委員会
国際奉仕委員会
ロータリー財団委員会
米山奨学会委員会
新世代活動委員会
インターアクト委員会
ローターアクト委員会

○塚田喜幸 林 昂・横田一尊
○原 徹爾 吉澤直亮・滝澤芳一・中村千春
○中山晴男 宇都宮元・土屋延寿
○宮澤与一 河北英夫・三澤昌平・加藤良友・高木二美・谷口祐之・小森光修
・小林隆重・永井真介・生澤芳夫・竹内隆文・塚田哲郎
○小笠原武一 草薙雄進・久保田丈平・塚田和男・小林幸雄・宮本忠長・矢島 一
○春日英廣 宮本 肇・小林俊雄・高木 勇・宮崎一治・鷺澤正一・倉田 剛
・渡辺敬六
○今井用一 中澤 勝・関 一朗・木村 明
○小林淳生 土屋一英・岡宮秀明・倉田 修
○小山弘行 橋本 浩（2年）・池内孝郎（3年）
○篠原寿人 山田康裕（2年）・和田晶宜（3年）
○永澤征治 星野達夫・丸山永樹
○廣岡男也 仁科恵敏・高波謙二
○高橋俊博 青木元吉・彦坂慈良
○林 精彦 和田守也・岡宮照行
○柳澤一夫 若麻績信雄・岡宮昭夫
○鹿熊 肇 山口信行・鈴木孝和
○小山健英 武井辰雄・若麻績敏隆
○加藤良雄 大崎康治・島田和佳
○竹村國彦 山口信英・塚田芳樹・田中精一

2003～2004年

◎印は委員長 ○印は副委員長

会 長
直 前 会 長
会 長 エ レ ク ト
副 会 長
理 事
理 事
理 事
理 事
幹 事
副 幹 事
会 計
S A A
副 S A A
監 事
クラブ奉仕委員会
出席委員会
会報・雑誌・広報委員会
親睦活動委員会
会員選考委員会
会員増強・職業分類委員会
プログラム委員会
ロータリー情報委員会
職業奉仕委員会
社会奉仕委員会
環境保全委員会
国際奉仕委員会
ロータリー財団委員会
米山奨学会委員会

塩 沢 堅 吉
土 屋 磯 司
岡 宮 照 行
廣 岡 男 也（クラブ奉仕担当）
原 徹 爾（職業奉仕担当）
青 木 元 吉（社会奉仕担当）
関 一 朗（国際奉仕担当）
柳 澤 幸 一（新世代活動担当）
今 井 用 一
竹 村 國 彦
池 内 孝 郎
加 藤 良 雄
倉 田 修（ニコニコボックス担当）
久保田 甫
◎廣岡男也 ○土屋一英・宇都宮元
◎岡宮昭夫 ○篠原寿人・林 昂
◎河北英夫 ○倉田剛・岡宮秀明
◎木村明 ○竹内隆文・大羽武彦・林 正鷹・深田一政・篠田 智・谷口祐之
・永野健司
◎小林俊雄 ○小林幸雄・草薙雄進・久保田丈平・塚田和男・小笠原武一
・矢島 一
◎宮崎一治 ○鹿熊 肇・宮本肇・橋本 浩・鷺澤正一・高波謙二・吉澤直亮
◎横田一尊 ○岩井 敏・若麻績敏隆
◎渡辺敬六 ○宮本忠長・仁科恵敏・山口信行
◎原 徹爾 ○小山弘行・真柄成一
◎青木元吉 ○中澤 勝・若麻績信雄・丸山永樹
◎山田康裕 ○春日英廣・永澤征治・柳澤一夫
◎関 一朗 ○鈴木義夫・和田守也
◎滝澤芳一 ○高橋俊博・塚田喜幸・小山健英
◎青木恵太郎 ○夏目 潔・高木 勇・林 精彦

新世代活動委員会
インターアクト委員会
ローターアクト委員会
保健委員
家族委員
米山奨学生カウンセラー
交換留学生カウンセラー

◎柳澤幸一 ○彦坂慈良・加藤良友・永井真介
◎塚田芳樹 ○中山晴男・小林隆重・小林淳生・田中精一
◎宮澤与一 ○塚田哲郎・和田晶宜・田中眞二郎
土屋一英
竹内隆文
高木 勇
柳澤幸一

2004～2005年

◎印は委員長 ○印は副委員長

北信第2グループ ガバナー補佐
会 長
直 前 会 長
会 長 エ レ ク ト
副 会 長
理 事
理 事
理 事
理 事
幹 事
副 幹 事
会 計
S A A
副 S A A
監 事
クラブ奉仕委員会
出席委員会
会報・雑誌・広報委員会
親睦活動委員会

会 員 選 考 委 員 会

会員増強・職業分類委員会

プログラム委員会
ロータリー情報委員会
職業奉仕委員会
社会奉仕委員会
環境保全委員会
国際奉仕委員会
ロータリー財団委員会
米山奨学会委員会
新世代活動委員会
インターアクト委員会
ローターアクト委員会
保健委員
家族委員
ガバナー補佐幹事
交換留学生カウンセラー

矢 島 一
岡 宮 照 行
塩 沢 堅 吉
廣 岡 男 也
倉 田 剛 (クラブ奉仕担当)
河 北 英 夫 (職業奉仕担当)
丸 山 永 樹 (社会奉仕担当)
高 波 謙 二 (国際奉仕担当)
今 井 用 一 (新世代活動担当)
中 澤 勝
横 田 一 尊
岡 宮 昭 夫
鈴 木 義 夫
塚 田 哲 郎 (ニコニコボックス担当)
土 屋 磯 司
◎倉田 剛 ○柳澤一夫・滝澤芳一
◎真柄成一 ○宮澤与一・深田一政
◎小山弘行 ○永井真介・岡宮秀明
◎塚田芳樹 ○和田晶宜・竹村國彦・立岩久忠・池田延夫
・林 正鷹・篠田 智・紺屋好孝・堀籠義雄・北野敬造
・本田 勲・倉田英彦・轟 道弘
◎久保田丈平 ○宮本 肇・鹿熊 肇・塚田和男
・青木恵太郎
◎高橋俊博 ○小林俊雄・宮本忠長・小林幸雄・草薙雄進
・矢島 一・宮崎一治
◎夏目 潔 ○山田康裕・田中清一
◎小山健英 ○仁科恵敏・宇都宮元
◎河北英夫 ○原 徹爾・柳澤幸一
◎丸山永樹 ○林 精彦・篠原寿人・彦坂慈良
◎永澤征治 ○関 一朗・和田守也
◎高波謙二 ○渡辺敬六・加藤良雄・春日英廣
◎吉澤直亮 ○青木元吉・高木 勇
◎久保田甫 ○土屋一英・鷺澤正一
◎今井用一 ○若麻績敏隆・竹内隆文
◎中山晴男 ○木村 明・田中眞二郎・小林淳生
◎倉田 修 ○岩井 敏・永野健司・加藤良友
小林淳生
原 徹爾
柳澤幸一・竹内隆文
小山健英

2005～2006年度

◎印は委員長 ○印は副委員長

会長 前会長 エレクト
副会長
理事長
理事
理事
理事
幹事
副幹事
会幹事
S A
副S A
監事
クラブ奉仕委員会
出席委員会
会報・雑誌・広報委員会
親睦活動委員会

会員選考委員会
会員増強・職業分類委員会

プログラム委員会
ロータリー情報委員会
職業奉仕委員会
社会奉仕環境保全委員会
国際奉仕委員会
ロータリー財団委員会
米山奨学会委員会
新世代活動委員会
インターアクト委員会
ローターアクト委員会
保健委員
家族委員
米山奨学生カウンセラー
交換留学生カウンセラー

廣岡男也
岡宮照行
篠原寿人
永澤征治 (クラブ奉仕担当)
真柄成一 (職業奉仕担当)
宮崎一治 (社会奉仕担当)
滝澤芳一 (国際奉仕担当)
中澤勝 (新世代活動担当)
関一朗
山田康裕・塚田哲郎
永井真介
宮澤与一
紺屋好孝 (ニコニコボックス担当)
塩沢堅吉

◎永澤征治 ○丸山永樹・倉田 剛
◎田中眞二郎 ○河北英夫
◎青木元吉 ○岩井 敏・鈴木義夫
◎和田品宜 ○塚田哲郎・立岩久忠・紺屋好孝・北野敬造
・本田 勲・倉田英彦・轟 道弘・高見澤忠明・門前弘邦
・志賀重貴・高橋 賢・唐沢 明
◎鹿熊 肇 ○矢島 一・土屋一英・仁科恵敏・久保田甫
◎夏目 潔 ○竹内隆文・和田守也・小林幸雄
・青木恵太郎・春日英廣
◎原 徹爾 ○岡宮昭夫・高見澤忠明・永野健司
◎渡辺敬六 ○加藤良雄・塚田和男・宮本忠長・竹村國彦
◎真柄成一 ○柳澤幸一・宇都宮 元
◎宮崎一治 ○塚田芳樹・鷺澤正一・高波謙二
◎滝澤芳一 ○小山弘行・小山健英・岡宮秀明
◎高橋俊博 ○柳澤一夫・林 精彦
◎土屋磯司 ○今井用一・高木 勇
◎中澤 勝 ○木村 明
◎中山晴男 ○田中清一・志賀重貴
◎小林淳生 ○倉田 修・横田一尊
山田康裕
倉田 剛
今井用一
小山健英

2006～2007年度

ガバナー・エレクト 土屋磯司
◎印は委員長 ○印は副委員長

会長 前会長 エレクト
副会長
理事長
理事
理事
理事
幹事
副幹事
会幹事

篠原寿人
廣岡男也
宮崎一治
高木 勇 (クラブ奉仕担当)
河北英夫 (職業奉仕担当)
加藤良雄 (社会奉仕担当)
小山健英 (国際奉仕担当)
関一朗 (新世代活動担当)
夏目 潔
宮澤与一

会 計
S A A
副 S A A
監 事
クラブ奉仕委員会
出席委員会
会報・雑誌・広報委員会
親睦活動委員会

会員選考委員会
会員増強・職業分類委員会
プログラム委員会
ロータリー情報委員会
職業奉仕委員会
社会奉仕環境保全委員会

国際奉仕委員会
ロータリー財団委員会
米山奨学会委員会
新世代活動委員会
インターアクト委員会
ローターアクト委員会
保健委員会
家族委員会
米山奨学生カウンセラー

中山 晴 男
塚 田 芳 樹
竹 内 隆 文 (ニコニコボックス担当)
岡 宮 照 行

◎高木 勇 ○塚田和男 ・宮本忠長
◎青木恵太郎 ○宇都宮元・滝澤芳一
◎堀内武文 ○仁科恵敏・原 徹爾
◎山田康裕 ○瀬尾徳義・立岩久忠・倉田英彦・轟 道弘
・志賀重貴・高橋 賢・唐沢 明・木村二郎・北島義仁
・佐野幸男・堀内武文・赤松隆三・川原雄一・茂木通則・岩本 弘
・轟 光昌・三村俊雄
◎小林幸雄 ○土屋磯司・久保田甫
◎渡辺敬六 ○塩沢堅吉・鹿熊 肇・鷺澤正一
◎横田一尊 ○岡宮秀明・宮澤与一
◎矢島 一 ○高波謙二・永澤征治
◎河北英夫 ○青木元吉・塚田哲郎
◎加藤良雄 ○和田守也・真柄成一・倉田 剛
・田中 清一
◎小山健英 ○丸山永樹・永井真介
◎高橋俊博 ○和田晶宜・柳澤一夫
◎中澤 勝 ○土屋一英
◎関 一朗 ○鈴木義夫・春日英廣
◎岩井 敏 ○小山弘行・竹村國彦
◎紺屋好孝 ○柳澤幸一
北野 敬造
高見澤忠明
今井 用一

2007～2008年度

会 長
直 前 会 長
会 長 エ レ ク ト
副 会 長
理 事
理 事
理 事
理 事
幹 事
副 幹 事
会 計
S A A
副 S A A
監 事

宮 崎 一 治
篠 原 寿 人
高 波 謙 二
河 北 英 夫 (クラブ奉仕担当)
竹 村 國 彦 (職業奉仕担当)
渡 辺 敬 六 (社会奉仕担当)
原 徹 爾 (国際奉仕担当)
夏 目 潔 (新世代活動担当)
横 田 一 尊
永 井 真 介
鈴 木 義 夫
和 田 晶 宜
北 野 敬 造 (ニコニコボックス担当)
廣 岡 男 也

クラブ奉仕委員会
出席委員会
会報・雑誌・広報委員会
親睦活動委員会

◎河北 英夫 ○塚田 和男 ・宮本 忠長
◎関 一朗 ○小林 幸雄
◎高橋 俊博 ○岡宮 秀明 ・鷺澤 正一
◎中山 晴男 ○瀬尾 徳義 ・岩本 弘 ・川原 雄一
・茂木 通則 ・佐野 幸男 ・赤松 隆三
・轟 光昌 ・三村 俊雄 ・清沢 裕幸
・水谷 仁 ・曲渕 文昭 ・池田 和美

ガバナー 土屋磯司
◎印は委員長 ○印は副委員長

土屋ガバナー事務局
土屋 磯司
中澤 勝

竹内 隆文

会 員 選 考 委 員 会
 会 員 増 強 ・ 職 業 分 類 委 員 会
 プ ロ グ ラ ム 委 員 会
 ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会
 職 業 奉 仕 委 員 会
 社 会 奉 仕 ・ 環 境 保 全 委 員 会
 国 際 奉 仕 委 員 会
 ロ ー タ リ ー 財 団 委 員 会
 米 山 奨 学 会 委 員 会
 新 世 代 活 動 委 員 会
 イ ン タ ー ア ク ト 委 員 会
 ロ ー タ ー ア ク ト 委 員 会
 保 健 委 員 会
 家 族 委 員 会
 米 山 奨 学 生 カ ウ ン セ ラ ー

◎岡宮 照行 ○高木 勇
 ◎滝澤 芳一 ○久保田 甫
 ◎永澤 征治 ○加藤 良雄 ・立岩 久忠
 ◎倉田 剛 ○和田 守也
 ◎竹村 國彦 ○青木 元吉 ・仁科 恵敏
 ◎渡辺 敬六 ○真柄 成一 ・堀内 武文
 ◎原 徹爾 ○小山 弘行 ・丸山 永樹
 ◎青木恵太郎 ○宇都宮 元
 ◎小山 健英 ○岩井 敏
 ◎夏目 潔 ○春日 英廣
 ◎山田 康裕 ○唐沢 明
 ◎塚田 芳樹 ○北島 義仁
 今井 用一
 田中 清一
 中澤 勝

塩沢 堅吉
 矢島 一
 宮澤 与一
 塚田 哲郎
 柳澤 幸一
 倉田 英彦
 今井 用一

2008～2009年度

◎ 委員長 ○ 担当責任者

北信第2グループ ガバナー補佐
 会 長
 直 前 会 長
 会 長 エ レ ク ト
 副 会 長
 理 事
 理 事
 理 事
 理 事
 幹 事
 副 幹 事
 会 計
 S A A
 副 S A A
 監 事

岡 宮 照 行
 高 波 謙 二
 宮 崎 一 治
 丸 山 永 樹
 立 岩 久 忠 (会 員 増 強 担 当)
 宮 澤 与 一 (会 員 サ ー ビ ス 担 当)
 小 山 健 英 (奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 担 当)
 青 木 恵 太 郎 (財 団 担 当)
 横 田 一 尊 (新 世 代 担 当)
 原 徹 爾
 中 山 晴 男
 竹 村 國 彦
 田 中 清 一
 北 島 義 仁 (ニ コ ニ コ ボ ッ ク ス 担 当)
 篠 原 寿 人

会 員 増 強 委 員 会
 会 員 サ ー ビ ス 委 員 会
 出 席 担 当
 親 睦 担 当
 プ ロ グ ラ ム 担 当
 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 委 員 会
 財 団 委 員 会
 新 世 代 委 員 会

◎立岩 久忠 ・塚田 和男 ・宇都宮 元 宮本 忠長 ・矢島 一
 ・和田 守也 ・仁科 恵敏 ・久保田 甫 ・土屋 磯司 ・岡宮 照行
 ・廣岡 男也
 ◎宮澤 与一 ・塚田 芳樹 ・加藤 良雄 ・永井 真介 ・竹内 隆文
 ○真柄 成一 ・和田 晶宜 ・北野 敬造 ・倉田 英彦 ・北島 義仁
 ○塚田 哲郎 ・堀内 武文 ・赤松 隆三 ・瀬尾 徳義
 ○河北 英夫 ・茂木 通則 ・岩本 弘 ・轟 光昌 ・清沢 裕幸
 ・水谷 仁 ・曲渕 文昭 ・池田 和美 ・滝沢 信一 ・奥平 雅男
 ・西尾 昌紀 ・前田 暁史 ・立花 研司 ・土屋龍一郎 ・土橋 文行
 ・佐藤 忠幸 ・吉川 浩二
 ◎小山 健英 ・鷺沢 正一 ・岡宮 秀明 ・高橋 俊博 ・春日 英廣
 ・青木 元吉 ・小山 弘行
 ◎青木恵太郎 ・倉田 剛 ・中澤 勝 ・鈴木 義夫 ・夏目 潔
 ◎横田 一尊 ・渡辺 敬六 ・関 一朗

インターアクト担当
ローターアクト担当

◎ 委員長 ○ 担当責任者

会 直 会 副 理 理 理 幹 副 会 S 副 監	前 長	会 エ レ ク 会 幹 A S A	長 長 ト 長 事 事 事 事 事 事 計 A A 事	丸 高 原 真 鈴 河 宮 夏 塚 倉 田 中 奥 宮	山 波 柄 木 北 澤 目 田 田 中 山 平 崎	永 謙 徹 成 義 英 与 芳 英 清 晴 雅 一	樹 二 爾 一 夫 夫 一 潔 樹 彦 一 男 男 治	(会員増強担当) (会員サービス担当) (奉仕プロジェクト担当) (財団担当) (新世代担当) (ニコニコボックス担当)
---	--------	---	--	--	---	---	--	---

会 員 増 強 委 員 会	◎真柄 成一 ・和田 守也 ・岡宮 照行	・塚田 和男 ・仁科 恵敏 ・廣岡 男也	・宇都宮 元 ・久保田 甫 ・篠原 寿人	・宮本 忠長 ・土屋 磯司	・矢島 一
会員サービス委員会	◎鈴木 義夫	・竹村 國彦	・永井 真介	・和田 晶宜	・塚田 哲郎
出 席 担 当	○土橋 文行	・倉田 英彦	・瀬尾 徳義	・茂木 通則	・岩本 弘
親 睦 担 当	○北野 敬造	・曲渕 文昭	・池田 和美	・滝沢 信一	・西尾 昌紀
プログラム担当	○北島 義仁 ・佐藤 忠幸 ・井出 雅六	・奥平 雅男 ・久野 昌治	・前田 暁史 ・吉川 浩二	・立花 研司 ・平松 敏朗	・土屋龍一郎
奉仕プロジェクト委員会	◎河北 英夫 ・渡辺 敬六	・高橋 俊博 ・加藤 良雄	・春日 英廣 ・永澤 征治	・青木 元吉	・中澤 勝
財 団 委 員 会	◎宮澤 与一 ・横田 一尊	・鷲澤 正一	・岡宮 秀明	・小山 弘行	・岩井 敏
新 世 代 委 員 会	◎夏目 潔	・倉田 剛	・小山 健英		
インターアクト担当	○田中 清一	・関 一朗	・柳澤 幸一		
ローターアクト担当	○山田 康裕	・今井 用一	・立岩 久忠		
米山奨学生カウンセラー	・篠原 寿人				
青少年交換留学生カウンセラー	・関 一朗				

2010～2011年度

◎ 委員長 ○ 担当責任者

会長	前会長	会	長	長	原丸	山	徹	爾	
副会長	エ	レ	ト	永	渡	辺	敬	樹	
副理	会		長	勝	中	澤	清	六	(会員増強担当)
理			事	一	田	中	一	一	(会員サービス担当)
理			事	尊	横	田		一	(奉仕プロジェクト担当)
理			事	潔	夏	目		一	(財団担当)
幹事			事	夫	河	北	英	一	(新世代担当)
副会	幹		事	一	宮	澤	与	造	
			事	樹	北	野	敬	樹	
			計		塚	田	芳		

S A A 山 田 康 裕
副 S A A 奥 平 雅 男 (ニコニコボックス担当)
監 事 高 波 謙 二

会 員 増 強 委 員 会 ◎中澤 勝 ・塚田 和男 ・宇都宮 元 ・宮本 忠長 ・和田 守也
・仁科 恵敏 ・久保田 甫 ・土屋 磯司 ・岡宮 照行
・宮崎 一治 ・廣岡 男也 ・倉田 剛 ・篠原 寿人
会 員 サ ー ビ ス 委 員 会 ◎田中 清一 ・竹村 國彦 ・永井 真介 ・倉田 英彦 ・岩本 弘
出 席 担 当 ○茂木 通則 ・曲渕 文昭 ・西尾 昌紀 ・奥平 雅男 ・前田 暁史
親 睦 担 当 ○土橋 文行 ・立花 研司 ・土屋龍一郎 ・佐藤 忠幸 ・久野 昌治
プ ロ グ ラ ム 担 当 ○中山 晴男 ・吉川 浩二 ・平松 敏朗 ・井出 雅六 ・木内 充
・鷺澤 幸一 ・荒井 清 ・秋山 庄平 ・北澤 輝久
奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 委 員 会 ◎横田 一尊 ・鷺澤 正一 ・岡宮 秀明 ・小山 健英 ・関 一朗
・岩井 敏 ・柳澤 幸一
財 団 委 員 会 ◎夏目 潔 ・高橋 俊博 ・春日 英廣 ・今井 用一 ・永澤 征治
・立岩 久忠
新 世 代 委 員 会 ◎河北 英夫 ・青木 元吉 ・小山 弘行 ・鈴木 義夫
イ ン タ ー ア ク ト 担 当 ○塚田 哲郎 ・加藤 良雄 ・真柄 成一 ・北島 義仁
ロ ー タ ー ア ク ト 担 当 ○和田 晶宜
米 山 奨 学 生 カ ウ ン セ ラ ー ・篠原 寿人

2011～2012年度

◎ 委員長 ○ 担当責任者

会 長 渡辺 敬六
直 前 会 長 原 徹爾
会 長 エ レ ク ト 小山 健英
副 会 長 茂木 通則 (会員増強担当)
理 事 北島 義仁 (会員サービス担当)
理 事 鈴木 義夫 (奉仕プロジェクト担当)
理 事 今井 用一 (財団担当)
幹 事 柳澤 幸一 (新世代担当)
副 幹 事 田中 清一
会 幹 事 和田 晶宜
S A 計 宮澤 与一
副 S A A 永井 真介
監 事 曲渕 文昭 (ニコニコボックス担当)
丸山 永樹

会 員 増 強 委 員 会 ◎茂木 通則 ・塚田 和男 ・宇都宮 元 ・宮本 忠長 ・和田 守也
・仁科 恵敏 ・久保田 甫 ・土屋 磯司 ・岡宮 照行
・廣岡 男也 ・篠原 寿人
会 員 サ ー ビ ス 委 員 会 ◎北島 義仁
出 席 担 当 ○平松 敏朗
親 睦 担 当 ○佐藤 忠幸
プ ロ グ ラ ム 担 当 ○岩本 弘 ・倉田 英彦 ・曲渕 文昭 ・土屋龍一郎 ・吉川 浩二
・木内 充 ・鷺澤 幸一 ・荒井 清 ・秋山 庄平 ・北澤 輝久
・鈴木 明治 ・古村 泰規 ・滝沢 正徳 ・奥山 哲 ・下田 学
・篠田 諭 ・千野 貴文 ・原 敏雄 ・神津富治男 ・立花 宏之
奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 委 員 会 ◎鈴木 義夫 ・高橋 俊博 ・春日 英廣 ・青木 元吉 ・加藤 良雄
・小山 弘行 ・立岩 久忠
財 団 委 員 会 ◎今井 用一 ・岡宮 秀明 ・鷺澤 正一 ・倉田 剛 ・高波 謙二
・中澤 勝
新 世 代 委 員 会 ◎柳澤 幸一

インターアクト担当	○塚田 哲郎					
ローターアクト担当	○中山 晴男	・夏目 潔	・横田 一尊	・塚田 芳樹	・竹村 國彦	
	・山田 康裕	・真柄 成一	・河北 英夫	・和田 晶宜	・北野 敬造	
米山奨学生カウンセラー	・篠原 寿人					

2012～2013年度

◎ 委員長 ○ 担当責任者

北信第2グループ ガバナー補佐	篠原 寿人
会 長	小山 健英
直 前 会 長	渡辺 敬六
会 長 エ レ ク ト	今井 用一
副 会 長	岩本 弘 (会員増強担当)
理 事	茂木 通則 (会員サービス担当)
理 事	原 敏雄 (奉仕プロジェクト担当)
理 事	中澤 勝 (財団担当)
幹 事	宮澤 与一 (新世代担当)
副 幹 事	和田 晶宜
会 計	塚田 哲郎
S A A	田中 清一
副 S A A	北島 義仁
監 事	滝沢 正徳 (ニコニコボックス担当)
	原 徹爾

会 員 増 強 委 員 会	◎岩本 弘	・宮本 忠長	・和田 守也	・仁科 恵敏	・久保田 甫
	・土屋 磯司	・岡宮 照行	・宮崎 一治	・廣岡 男也	・丸山 永樹
会 員 サ ー ビ ス 委 員 会	◎茂木 通則				
出 席 担 当	○八木 公彦				
親 睦 担 当	○荒井 清				
プ ロ グ ラ ム 担 当	○鈴木 明治	・倉田 英彦	・曲渕 文昭	・土屋龍一郎	・鷺澤 幸一
	・北澤 輝久	・古村 泰規	・滝沢 正徳	・奥山 哲	・下田 学
	・篠田 諭	・千野 貴文	・神津富治男	・立花 宏之	・津谷 英治
	・増田 直樹	・本橋 良美	・荻原 勝		
奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 委 員 会	◎原 敏雄				
	・高橋 俊博	・春日 英廣	・青木 元吉	・加藤 良雄	・小山 弘行
	・鈴木 義夫	・中山 晴男			
財 団 委 員 会	◎中澤 勝				
	・岡宮 秀明	・倉田 剛	・高波 謙二	・岩井 敏	・柳澤 幸一
新 世 代 委 員 会	◎宮澤 与一				
イ ン タ ー ア ク ト 担 当	○佐藤 忠幸				
ロ ー タ ー ア ク ト 担 当	○山田 康裕	・夏目 潔	・横田 一尊	・竹村 國彦	・真柄 成一
	・永井 真介	・立岩 久忠	・北野 敬造		
名 誉 会 員	塚田 和男				
ガ バ ナ ー 補 佐 幹 事	塚田 哲郎				
ガ バ ナ ー 補 佐 副 幹 事	北野 敬造	・奥山 哲			

2013～2014年度

◎ 委員長 ○ 担当責任者

会 長	今井 用一
直 前 会 長	小山 健英
会 長 エ レ ク ト	横田 一尊
副 会 長	鈴木 明治 (会員増強担当)

理		事	山田 康裕 (会員サービス担当)
理		事	柳澤 幸一 (奉仕プロジェクト)
理		事	永井 真介 (財団担当)
理		事	中山 晴男 (青少年担当)
幹		事	塚田 哲郎
副	幹	事	奥山 哲
会		計	和田 晶宜
S	A	A	佐藤 忠幸
副	S	A	千野 貴文 (ニコニコボックス担当)
監		事	渡辺 敬六

会 員 増 強 委 員 会	◎鈴木 明治 ・宮本 忠長 ・和田 守也 ・仁科 恵敏 ・久保田 甫 ・土屋 磯司 ・岡宮 照行 ・宮崎 一治 ・廣岡 男也 ・丸山 永樹 ・篠原 寿人 ・原 徹爾
会 員 サ ー ビ ス 委 員 会	◎山田 康裕
出 席 担 当	○神津 富治男
親 睦 担 当	○田中 清一
プ ロ グ ラ ム 担 当	○鷺澤 幸一 ・倉田 英彦 ・土屋龍一郎 ・古村 泰規 ・滝沢 正徳 ・下田 学 ・篠田 諭 ・立花 宏之 ・津谷 英治 ・増田 直樹 ・千野 貴文 ・荻原 勝 ・八木 公彦 ・山崎 由和 ・山川 浩之 ・倉石 智典 ・小林 昌和 ・小松 哲夫
奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 委 員 会	◎柳澤 幸一 ・春日 英廣 ・加藤 良雄 ・鈴木 義夫 ・奥山 哲 ・高橋 俊博
財 団 委 員 会	◎永井 真介 ・岡宮 秀明 ・倉田 剛 ・中澤 勝 ・岩井 敏 ・鷺澤 正一 ・岩本 弘
青 少 年 委 員 会	◎中山 晴男
イ ン タ ー ア ク ト 担 当	○宮澤 与一
ロ ー タ ー ア ク ト 担 当	○北野 敬造 ・夏目 潔 ・竹村 國彦 ・真柄 成一 ・立岩 久忠 ・北島 義仁
名 誉 会 員	塚田 和男
米 山 奨 学 生 カ ウ ン セ ラ ー	和田 晶宜

2014～2015年度

◎ 委員長 ○ 担当責任者

会		長	横田 一尊
直 前 会		長	今井 用一
会 長 エ レ ク ト			夏目 潔
副 会		長	北島 義仁 (会員増強担当)
理		事	宮澤 与一 (会員サービス担当)
理		事	田中 清一 (奉仕プロジェクト)
理		事	北野 敬造 (財団担当)
理		事	土屋龍一郎 (青少年担当)
幹		事	山田 康裕
副	幹	事	滝沢 正徳
会		計	塚田 哲郎
S	A	A	鷺澤 幸一
副	S	A	奥山 哲 (ニコニコボックス担当)
監		事	小山 健英

会 員 増 強 委 員 会	◎北島 義仁 ・宮本 忠長 ・和田 守也 ・仁科 恵敏 ・久保田 甫 土屋 磯司 ・岡宮 照行 ・宮崎 一治 ・廣岡 男也 ・丸山 永樹 篠原 寿人 ・原 徹爾
会 員 サ ー ビ ス 委 員 会	◎宮澤 与一
出 席 担 当	○佐藤 忠幸
親 睦 担 当	○岩本 弘
プ ロ グ ラ ム 担 当	○真柄 成一 ・倉田 英彦 ・古村 泰規 ・奥山 哲 ・篠田 諭 増田 直樹 ・荻原 勝 ・八木 公彦 ・山崎 由和 ・山川 浩之 倉石 智典 ・小林 昌和 ・小松 哲夫 ・藤原 秀明 ・吉澤 俊一 堤 満弘 ・加藤 秀俊 ・浮田 稔博 ・関口 浪男 ・浜村九二雄
奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 委 員 会	◎田中 清一 ・高橋 俊博 ・春日 英廣 ・加藤 良雄 ・竹村 國彦
財 団 委 員 会	◎北野 敬造 ・鷺澤 正一 ・岡宮 秀明 ・倉田 剛 ・岩井 敏 柳澤 幸一
青 少 年 委 員 会	◎土屋龍一郎
イ ン タ ー ア ク ト 担 当	○中山 晴男
ロ ー タ ー ア ク ト 担 当	○立岩 久忠 ・中澤 勝 ・渡辺 敬六 ・永井 真介 ・和田 晶宜 鈴木 明治 ・千野 貴文 ・立花 宏之
名 誉 会 員	塚田 和男
米 山 奨 学 生 カ ウ ン セ ラ ー	和田 晶宜

正会員数 63名

2015～2016年度

ガ バ ナ ー 補 佐	小山健英
会 直 前 会 長	夏目 潔
会 長 エ レ ク ト	横田一尊
副 理 事 代 表	宮澤与一
理 事 幹 事	篠田 諭 (会員増強担当)
理 事 幹 事	柳澤幸一 (会員サービス担当)
理 事 幹 事	原田政和 (奉仕プロジェクト担当)
理 事 幹 事	田中清一 (財団担当)
理 事 幹 事	中山晴男 (青少年担当)
理 事 幹 事	佐藤忠幸
副 会 長	山田康裕
S A 副 監	土屋龍一郎
	倉石智典 (ニコニコボックス担当)
	今井用一
《会員増強委員会》	委員長 篠田 諭
委 員	和田守也 仁科恵敏 土屋磯司 岡宮照行 宮崎一治
	篠原寿人 渡辺敬六 原 徹爾
《会員サービス委員会》	委員長 柳澤幸一
委 員	出席担当：関口浪男 親睦担当：奥山 哲 プログラム担当：浜村九二雄
	永井真介 北野敬造 倉田英彦 岩本 弘 藤原秀明 山崎由和
	倉石智典 堤 満弘 浮田稔博 加藤秀俊 澤出剛治 中山昌樹
	鈴木一郎 愛甲宏幸 鎌倉孝光 吉川雅也 木内康富 山本英夫
《奉仕プロジェクト委員会》	委員長代理 原田政和
委 員	春日英廣 加藤良雄 竹村國彦 田中宏昌
《財団委員会》	委員長 田中清一
委 員	鷺澤正一 岡宮秀明 倉田 剛 中澤 勝 北島義仁
《青少年委員会》	委員長 中山晴男
イ ン タ ー ア ク ト 担 当	千野貴文 ローターアクト担当：荻原 勝
委 員	岩井 敏 和田晶宜 塚田哲郎 鷺澤幸一 渡辺宏幸
名 誉 会 員	塚田和男
交 換 留 学 生	岡宮照行
カ ウ ン セ ラ ー	鷺澤幸一
ガ バ ナ ー 補 佐 幹 事	奥山 哲
同 上 副 幹 事	原田政和

正会員数 62名

2016～2017年度

会 直 会 副 理 理 理 幹 副 会 S 副 監	前 長 エ レ ク 会	会 長 ト 長 事 事 事 事 計 A A 事	長 長 ト 長 事 事 事 事 計 A A 事	宮澤与一 夏目 潔 田中清一 柳澤幸一 (会員増強担当) 岩本 弘 (会員サービス担当) 土屋龍一郎 (奉仕プロジェクト担当) 中澤 勝 (財団担当) 中山晴男 (青少年担当) 鷺澤幸一 奥山 哲 佐藤忠幸 千野貴文 中山昌樹 (ニコニコボックス担当) 横田一尊
《会員増強委員会》 委			員	委員長 柳澤幸一 和田守也 仁科恵敏 土屋磯司 岡宮照行 宮崎一治 篠原寿人 渡辺敬六 小山健英 今井用一 原 徹爾
《会員サービス委員会》 委			員	委員長 岩本 弘 出席担当：愛甲宏明 親睦担当：萩原 勝 プログラム担当：倉石智典 永井真介 北野敬造 倉田英彦 北島義仁 篠田 諭 山崎由和 藤原秀明 堤 満弘 加藤秀俊 浮田稔博 浜村九二雄 中山昌樹 鈴木一郎 鎌倉孝光 木内康富 吉川雅也 山本英夫 田中宏昌
《奉仕プロジェクト委員会》 委			員	委員長 土屋龍一郎 春日英廣 加藤良雄 竹村國彦 関口浪男
《財団委員会》 委			員	委員長 中澤 勝 鷺澤正一 岡宮秀明 塚田哲郎
《青少年委員会》 委	インターアクト担当：		員	委員長 佐藤忠幸 山田康裕 ローターアクト担当：原田政和 岩井 敏 和田晶宜 渡辺宏幸
名 誉 会 員				塚田和男

正会員数 56名

2017～2018年度

会 直 会 副 理 理 理 幹 副 会 S 副 監	前 長 エ レ ク 会	会 長 ト 長 事 事 事 事 計 A A 事	長 長 ト 長 事 事 事 事 計 A A 事	田中清一 宮澤与一 篠田 諭 堤 満弘 (会員増強担当) 愛甲宏明 (会員サービス担当) 塚田哲郎 (奉仕プロジェクト担当) 永井真介 (財団担当) 佐藤忠幸 (青少年奉仕担当) 関口浪男 中山昌樹 鷺澤幸一 奥山 哲 鎌倉孝光 (ニコニコボックス担当) 夏目 潔
〈会員増強委員会〉 委			員	委員長 堤 満弘 副委員長 土屋龍一郎 鷺澤幸一 千野貴文 仁科恵敏 土屋磯司 岡宮照行 篠原寿人 渡辺敬六 今井用一 原 徹爾
〈会員サービス委員会〉 委			員	委員長 愛甲宏明 出席担当：田中宏昌 親睦担当：倉石智典 プログラム担当：千野貴文 北野敬造 倉田英彦 岩本 弘 土屋龍一郎 加藤秀俊 原田政和 中山昌樹 鈴木一郎 鎌倉孝光 吉川雅也 山本英夫 岩崎佳人 鈴木智也 石黒宏之 久保田誠 堀江 等 森田良平
〈奉仕プロジェクト委員会〉 委			員	委員長 塚田哲郎 春日英廣 加藤良雄 竹村國彦

〈財団委員会〉	委員長	永井真介
委 員	鷺澤正一	中澤 勝 山田康裕 北島義仁
〈青少年奉仕委員会〉	委員長	佐藤忠幸
インターアクト担当：	中山晴男	ローターアクト担当：荻原 勝
委 員	岩井 敏	横田一尊 和田晶宜
米山記念奨学生カウンセラー	倉石智典	

正会員数 51名

2018～2019年度

会 長	篠 田 諭
直 前 会 長	田 中 清 一
会 長 エ レ ク ト	岩 本 弘
副 理	田 中 宏 昌 (会員増強担当)
理 事	奥 山 哲 (会員サービス担当)
理 事	鷺 澤 幸 一 (奉仕プロジェクト担当)
理 事	塚 田 哲 郎 (財団担当)
幹 事	倉 石 智 典 (青少年奉仕担当)
副 幹 事	千 野 貴 文
副 会 計	荻 原 勝 男
S A	関 口 浪 人
副 S A	岩 崎 佳 俊 (ニコニコボックス担当)
監 事	加 藤 秀 与 一
〈会員増強委員会〉	委員長 田中宏昌
委 員	副委員長 堤 満弘 荻原 勝
	仁科恵敏 土屋磯司 岡宮照行 篠原寿人 原 徹爾
	渡辺敬六
〈会員サービス委員会〉	委員長 奥山 哲
委 員	出席担当：森田良平 親睦担当：堤 満弘 プログラム担当：岡宮秀治
	倉田英彦 荻原 勝 加藤秀俊 鎌倉孝光 吉川雅也
	石黒宏之 堀江 等 熊谷義孝 中村 孝 袖山榮輝
	宮下 明 木村昌彦 内海公博 篠原圭二 川浦俊樹
	仁科圭右 稲玉 弘 牧野元拓 和田博明
〈奉仕プロジェクト委員会〉	委員長 鷺澤幸一
委 員	春日英廣 加藤良雄 竹村國彦 和田晶宜 原田政和
〈財団委員会〉	委員長 塚田哲郎
委 員	鷺澤正一 中澤 勝 岩井 敏 山田康裕 永井真介
〈青少年奉仕委員会〉	委員長 倉石智典
インターアクト担当：	佐藤忠幸 ローターアクト担当：土屋龍一郎
委 員	横田一尊 夏目 潔 中山晴男 北野敬造
〈戦略計画委員会〉	委員長 篠田 諭
委 員	副委員長 田中清一 岩本 弘
	堤 満弘 関口浪男 田中宏昌 千野貴文 中山晴男
	奥山 哲

2019～2020年度

北信第2グループガバナー補佐	横 田 一 尊
会 長	岩 本 弘
直 前 会 長	篠 田 諭
会 長 エ レ ク ト	佐 藤 忠 幸
副 理	中 山 晴 男 (会員増強担当)
理 事	荻 原 勝 (会員サービス担当)
理 事	岡 宮 秀 治 (奉仕プロジェクト担当)
理 事	鷺 澤 幸 一 (財団担当)
理 事	土 屋 龍 一 郎 (青少年奉仕担当)
幹 事	奥 山 哲

副会 S 副 監	幹 A S A	事 計 A A 事	石 千 倉 宮 田	黒 野 石 下 中	宏 貴 智 清	之 文 典 明 (ニコニコボックス担当)			
〈会員増強委員会〉			委員長	中山晴男					
委			副委員長	石黒宏之	宮下 明	川浦俊樹			
			仁科恵敏	中澤 勝	加藤良雄	夏目 潔	宮澤与一		
			山田康裕						
〈会員サービス委員会〉			委員長	荻原 勝					
委			出席担当:	岩崎佳人	親睦担当:	森田良平	プログラム担当:	堤 満弘	
			倉田英彦	堀江 等	熊谷義孝	木村昌彦	内海公博		
			篠原圭二	仁科圭右	稲玉 弘	牧野元拓	和田博明		
			加藤 潤	小宮健一	前田春紀	久留嶋純	高見澤洋		
			宮原博之						
〈奉仕プロジェクト委員会〉			委員長	岡宮秀治					
委			土屋磯司	鷺澤正一	春日英廣	渡辺敬六	岩井 敏		
			塚田哲郎						
〈財団委員会〉			委員長	鷺澤幸一					
委			岡宮照行	原 徹爾	和田晶宜	関口浪男	北野敬造		
〈青少年奉仕委員会〉			委員長	土屋龍一郎					
インターアクト担当:			原田政和	ローターアクト担当:	袖山榮輝				
委			篠原寿人	竹村國彦	永井真介	田中宏昌			
〈戦略計画委員会〉			委員長	岩本 弘					
委			副委員長	篠田 諭	佐藤忠幸				
			田中宏昌	千野貴文	中山晴男	奥山 哲			
〈ガバナー補佐幹事/副幹事〉			幹 事	宮澤与一					
			副幹事	千野貴文	岡宮秀治				
〈米山記念奨学生カウンセラー〉			関口浪男						

2020～2021年度

会 直 会 副 理 理 理 幹 副 会 S 副 監	前 長 エ レ ク 会	長 ト 長 事 事 事 事 計 A A 事	鷺 岩 永 岩 堤 中 土 原 袖 加 奥 荻 川 篠	澤 本 井 崎 満 山 屋 田 山 藤 山 原 浦 俊 論	幸 弘 介 人 弘 男 一郎 和 輝 潤 哲 勝 樹 論	一 弘 介 (会員増強担当) (会員サービス担当) (奉仕プロジェクト担当) (財団担当) (青少年奉仕担当) 一 (ニコニコボックス担当)			
〈会員増強委員会〉			委員長	岩崎佳人					
委			副委員長	川浦俊樹					
			篠原寿人	仁科恵敏	渡辺敬六	竹村國彦	宮澤与一		
			田中清一						
〈会員サービス委員会〉			委員長	堤 満弘					
委			出席担当:	篠原圭二	親睦担当:	仁科圭右	プログラム担当:	宮下 明	
			倉田英彦	関口浪男	堀江 等	木村昌彦	稲玉 弘		
			小宮健一	前田春紀	高見澤洋	久留嶋純	牧野元拓		
			宮原博之	岡田義彦	太田洋介	上野修之	瀧川 浩		

		宮澤征爾					
〈奉仕プロジェクト委員会〉	委員長	中山晴男					
委	土屋磯司	鷺澤正一	春日英廣	中澤 勝	加藤良雄		
員	夏目 潔	和田晶宜	北野敬造				
〈財団委員会〉	委員長	土屋龍一郎					
委	岩井 敏	横田一尊	山田康裕	塚田哲郎			
員							
〈青少年奉仕委員会〉	委員長	原田政和					
インターアクト担当：	倉石智典	ローターアクト担当：	千野貴文				
委	岡宮照行	佐藤忠幸					
員							
〈戦略計画委員会〉	委員長	鷺澤幸一					
委	副委員長	岩本 弘	永井真介				
員	中山晴男	岩崎佳人	奥山 哲	千野貴文	袖山榮輝		

2021～2022年度

会	直	前	会	長	永	井	真	介				
会	長	エ	レ	ク	鷺	澤	幸	一				
副		会		ト	千	野	貴	文				
理				長	宮	下		明(会員増強担当)				
理				事	原	田	政	和(会員サービス担当)				
理				事	土	屋	龍一郎	(奉仕プロジェクト担当)				
幹				事	関	口	浪	男(財団担当)				
副				事	中	山	晴	男(青少年奉仕担当)				
会	幹			事	仁	科	圭	右				
S	A			計	篠	原	圭	二				
副	S	A		A	袖	山	榮	輝				
監				事	牧	野	元	拓				
					加	藤		潤(ニコニコボックス担当)				
					岩	本	弘					
〈会員増強委員会〉	委員長	宮下 明										
委	副委員長	塚田哲郎										
員	仁科恵敏	加藤良雄	堤 満弘	竹村國彦	篠田 諭	田中清一						
	倉田英彦											
〈会員サービス委員会〉	委員長	原田政和										
委	出席担当：	高見澤洋	親睦担当：	岩崎佳人	プログラム担当：	宮原博之						
員	川浦俊樹	久留嶋純	岡田義彦	太田洋介	瀧川 浩							
	上野修之	宮澤征爾	藪塚謙一	岡宮芳和	丸山 隆							
	齋藤英明	神田昭夫	佐藤英樹	武元忠雄	岸本秀晴							
	稲田芳久	神津富治男										
〈奉仕プロジェクト委員会〉	委員長	土屋龍一郎										
委	岡宮照行	鷺澤正一	春日英廣	中澤 勝	横田一尊	和田晶宜						
員												
〈財団委員会〉	委員長	関口浪男										
委	岩井 敏	宮澤与一	山田康裕									
員												
〈青少年奉仕委員会〉	委員長	中山晴男										
インターアクト担当：	奥山 哲	ローターアクト担当：	倉石智典									
委	渡辺敬六	夏目 潔	佐藤忠幸	北野敬造	荻原 勝							
員												
〈戦略計画委員会〉	委員長	永井真介										
委	副委員長	鷺澤幸一	千野貴文									
員	岩崎佳人	宮下 明	袖山榮輝	仁科圭右								
〈地区〉												
インターアクト委員会	奥山 哲											
ローターアクト委員会	倉石智典											
ライラ委員会	荻原 勝											
R財団地区補助金小委員会	岡田義彦											

2022～2023年度

北信第二グループガバナー補佐
会長 前 会 長
会 長 エ レ ク ト
副 会 長
理 事
理 事
理 事
幹 事
副 幹 事
会 計
S A
副 S A
監 事

岩 本 弘
千 野 貴 文
永 井 真 介
奥 山 哲 浩 (会員増強担当)
瀧 川 富 治 男 (会員サービス担当)
神 津 佳 人 (奉仕プロジェクト担当)
岩 崎 榮 輝 (財団担当)
袖 山 勝 (青少年奉仕担当)
萩 原 智 典
倉 石 智 純
久留嶋 圭 右
仁 科 圭 政 和
原 田 洋 (ニコニコボックス担当)
高見澤 幸 一
鷺 澤

名 誉 会 員

土 屋 磯 司 篠 原 寿 人

交換留学生カウンセラー

土 屋 龍一郎

米山記念奨学生カウンセラー

堤 満 弘

〈会員増強委員会〉
委 員

委員長 瀧川 浩
仁科恵敏 渡辺敬六 田中清一 篠田 諭 堤 満弘 宮下 明

〈会員サービス委員会〉
委 員

委員長 神津富治男
出席担当：宮澤征爾 親睦担当：藪塚謙一 プログラム担当：岡田義彦
倉田英彦 川浦俊樹 太田洋介 齋藤英明 神田昭夫 佐藤英樹
岸本秀晴 武元忠雄 稲田芳久 赤羽根俊幸 加藤久美子 小林正貴

〈奉仕プロジェクト委員会〉
委 員

委員長 岩崎佳人
春日英廣 夏目 潔 宮澤与一 加藤良雄 竹村國彦 北野敬造

〈財団委員会〉
委 員

委員長 袖山榮輝
岡宮照行 中澤 勝 岩井 敏 横田一尊 山田康裕

〈青少年奉仕委員会〉
委 員
インターアクト担当：

委員長 萩原 勝
関口浪男 ローターアクト担当：中山晴男
塚田哲郎 佐藤忠幸 土屋龍一郎 篠原圭二

〈戦略計画委員会〉
委 員

委員長 千野貴文
副委員長 永井真介 奥山 哲
瀧川 浩 倉石智典 宮下 明 仁科圭右

〈ガバナー補佐事務局〉
ガバナー補佐幹事
ガバナー補佐副幹事

奥山 哲
岩崎佳人 袖山榮輝 萩原 勝 仁科圭右

2023～2024年度

会 長
直 前 会 長
会 長 エ レ ク ト
副 会 長
理 事
理 事
理 事
幹 事
副 幹 事
会 計
S A
S A

奥 山 哲
千 野 貴 文
倉 石 智 典
袖 山 榮 輝 (会員増強担当)
仁 科 圭 右 (会員サービス担当)
鷺 澤 幸 一 (奉仕プロジェクト担当)
篠 田 諭 (財団担当)
篠 原 圭 二 (青少年奉仕担当)
神 津 富 治 男
岡 田 義 彦
堤 満 弘
佐 藤 英 樹

副 監	S	A	A	事	佐 藤 英 樹 (ニコニコボックス担当)
					永 井 真 介
名 誉 会 員					土 屋 磯 司
米山記念奨学生カウンセラー					倉 石 智 典
〈会員増強委員会〉					委員長 袖山榮輝
委 員					渡辺敬六 夏目 潔 宮澤与一 加藤良雄 田中清一 北野敬造
〈会員サービス委員会〉					委員長 仁科圭右
委 員					出席担当：塩沢 豪 親睦担当：原田政和 プログラム担当：加藤久美子
					倉田英彦 川浦俊樹 岸本秀晴 稲田芳久 小林正貴 棚橋裕弥
					吉村 繁 塩沢 豪 鹿熊 聡 若林順平 重石洋二 水澤文一
					小林宜範 鳥井清司
〈奉仕プロジェクト委員会〉					委員長 鷺澤幸一
委 員					仁科恵敏 岡宮照行 横田一尊 竹村國彦 岩本 弘 神田昭夫
〈財団委員会〉					委員長 篠田 諭
委 員					春日英廣 中澤 勝 岩井 敏 山田康裕 塚田哲郎
〈青少年奉仕委員会〉					委員長 篠原圭二
委 員					インターアクト担当：土屋龍一郎 ローターアクト担当：中山晴男
					荻原 勝 薮塚謙一 高見澤洋
〈戦略計画委員会〉					委員長 奥山 哲
委 員					副委員長 千野貴文 倉石智典
					袖山榮輝 神津富治男 岡田義彦

2024～2025年度

会 直 前 会	長	倉 石 智 典
会 長 エ レ ク ト	長	奥 山 哲
副 理 理 理 理 理 理 幹 副 会	長	袖 山 榮 輝
S 副 監	事	土 屋 龍 一 郎
	事	篠 田 諭 (会員増強担当)
	事	原 田 政 和 (会員サービス担当)
	事	薮 塚 謙 一 (奉仕プロジェクト担当)
	事	高 見 澤 洋 (財団担当)
	事	篠 原 圭 二 (青少年奉仕担当)
	事	岡 田 義 彦
	計	神 田 昭 夫
	A	神 津 富 治 男
	A	加 藤 久 美 子
	A	棚 橋 裕 弥 (ニコニコボックス担当)
	事	千 野 貴 文
名 誉 会 員		土 屋 磯 司
米山記念奨学生カウンセラー		鳥 井 清 司
〈会員増強委員会〉		委員長 篠田 諭
委 員		夏目 潔 田中清一 岩本 弘 鷺澤幸一 堤 満弘
〈会員サービス委員会〉		委員長 原田政和
委 員		出席担当：鹿熊 聡 親睦担当：塩沢 豪 プログラム担当：佐藤英樹
		倉田英彦 川浦俊樹 中山 潔 重石洋二 水澤文一 鳥井清司 山本博史
		関口泰久 山鹿 武 内藤太郎 干場明秀 関山岳大 久保田一臣 吉田武史
〈奉仕プロジェクト委員会〉		委員長 薮塚謙一
委 員		仁科恵敏 岡宮照行 渡辺敬六 横田一尊 宮澤与一 加藤良雄 竹村國彦

〈財団委員会〉 委 員	委員長 高見澤洋 春日英廣 中澤 勝 岩井 敏 山田康裕 永井真介 塚田哲郎 北野敬造
〈青少年奉仕委員会〉 委 員	委員長 篠原圭二 インタースタッフ担当：中村志穂 中山晴男 荻原 勝 仁科圭右 小林宣範 若林順平
〈戦略計画委員会〉 委 員	委員長 倉石智典 副委員長 奥山 哲 袖山榮輝 土屋龍一郎 神津富治男 岡田義彦

2025～2026年度

会 長	長 袖山 榮輝
副 理	副 倉石 智典
理 事	理 仁科 圭右
理 事	理 夏目 潔(会員増強担当)
理 事	理 神田 昭夫(会員サービス担当)
幹 事	幹 中山 潔(奉仕プロジェクト担当)
幹 事	幹 中山 晴男(財団担当)
幹 事	幹 高見澤 洋(青少年奉仕担当)
幹 事	幹 篠原 圭二
副 会 長	副 加藤 久美子
S A	S A 岡田 義彦
S A	S A 鹿熊 聡
監 事	監 若林 順平(ニコニコボックス担当)
	監 奥山 哲

名 誉 会 員 土 屋 磯 司

米山記念奨学生カウンセラー 鳥 井 清 司
青少年交換留学生カウンセラー 土 屋 龍一郎 中 村 志 穂

〈会員増強委員会〉 委 員	委員長 夏目 潔 田中清一 岩本 弘 鷺澤幸一 篠田 諭
〈会員サービス委員会〉 委 員	委員長 神田昭夫 出席担当：内藤太郎 親睦担当：関口泰久 プログラム担当：塩沢 豪 倉田英彦 川浦俊樹 棚橋裕弥 鳥井清司 山本博史 山鹿 武 干場明秀 関山岳大 久保田一臣 吉田武史 吉田秀樹 池田明弘 吉澤 茜 谷 拓也 坪井敬二 加藤洋平 中村幸司 津川章久 夏日慶太郎 緒方 誠
〈奉仕プロジェクト委員会〉 委 員	委員長 中山 潔 仁科恵敏 岡宮照行 渡辺敬六 横田一尊 宮澤与一 竹村國彦 原田政和
〈財団委員会〉 委 員	委員長 中山晴男 春日英廣 中澤 勝 岩井 敏 山田康裕 永井真介 塚田哲郎 北野敬造 千野貴文
〈青少年奉仕委員会〉 委 員	委員長 高見澤洋 インタースタッフ担当：中村志穂 土屋龍一郎 荻原 勝 神津富治男 小林宣範
〈戦略計画委員会〉 委 員	委員長 袖山榮輝 副委員長 倉石智典 仁科圭右 夏目 潔 岡田義彦 篠原圭二